

# みんなくりポジトリ

国立民族学博物館 学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

## The Diary of Hisakatsu Hijikata (Ⅲ)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2012-01-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 土方, 久功 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15021/00000972">https://doi.org/10.15021/00000972</a>

## 土方久功日記 第15冊

1929年12月15日～1930年7月13日（昭和4年～5年）

### 解説

この第15冊には、昭和4年（1929）12月15日から昭和5年（1930）7月13日までが収められている。この第15冊のはじめ、12月15日、久功は、パラオ本島（バベルダオブ島）の北端に近いガラルドの公学校で彫刻を教えながら、ガラルドおよびその周辺で民族調査を行っていた。パラオでの生活にも慣れ、その活動は旺盛であった。調査の様子は、『日記』に克明に記されている。翌年1月には、本島の東海岸中央部にあるマルキョクの公学校へ移った。

この15冊の中で、最も大きな出来事は、久功が南洋庁の嘱託を辞めたことであろう。昭和5年（1930）6月12日、夕食後、伏田パラオ支庁長を訪ね、6月いっぱいまで役所を辞めたい旨を伝える。慰留はされなかったようである。7月1日の『日記』には、「愈々今日ヨリ役所ヲ止メル。」と書かれていて、ほっとした様子がうかがえる。

あれほど望んでいた嘱託の仕事を、1年余であっさりと止めたのは理解しがたいことであるが、『日記』を読んで行くと、役所を辞めなくなった気持ちが分からないでもない。

昭和5年（1930）1月5日、公学校のあるガラルドから南洋庁があるコロールへ戻り、翌朝、郵便局で伏田支庁長に逢った。すると、「先日ノビナスデ、少シ待テト云ッテヤッタ筈」と言われ、その日のうちに、カモメ丸でガラルドに引き返した。その翌々日にガラルドで講習生等の修了式を行い、9日、再びコロールに戻ってきた。そして、夕方、支庁長の所へ行くと、子供達の作品展を中止して、直ちにマルキョクへ行けと命じられた。翌々日には、仕方なく久功は、カモメ丸でマルキョクへ発った。このような酷い扱いを受けて、久功は腹を立てたと思われるが、どういう訳か、『日記』には、何も書かれていない。

同じようなことは、3月にも起きた。このとき、久功はマルキョクの公学校で教えていたが、22日、コロールの南洋庁から石井氏が来て、「明日、講習生の修了式をし、賞品を与える事になった」と言う。久功は、『日記』に「実ニ乱暴タ」と書いている。それで、29日には、マルキョクを発ち、コロールに戻った。

それで、4月から再び、コロールの公学校で彫刻の講習を始めることとなったのだが、講習生はあまり集まっていない。彫刻の講習も実に退屈で、教える方も、教えられる方も、共に意味を感じていなかったように見える。『日記』には、講習に関しては、ほぼ毎日、「朝、続キ、午後、続キ」と書かれているのみである。久功の、うんざりしている気持ちが表れているようである。

おそらく、この頃には、役所の自分に対する扱いの酷さと、彫刻の講習をすることにほとんど意義を見出せない事により、役所を辞めようとする考えていたと思われる。6月いっぱいまで辛抱したのは、恐らく、1年間は勤めよう、という久功なりの心遣いがあったのではなかろうか。

また、2月2日には、南洋庁の職員、金井新吉から、久功を立腹させる手紙を受取った。

「金井氏ヨリノ親展書見セラル。キタナラシイ下品キッタ手紙。」

『日記』には、手紙の具体的な内容には触れられていないが、久功には、堪えがたいものであったことは間違いない。『日記』には、他にこのような記述を見ることはない。これも、南洋庁の嘱託を辞めるに至る一つの要因になのであったのであろう。

5月27日の海軍記念日に、中沢佑（久功の妹・英子の夫）の乗った軍艦がコロールに入港した。翌日、中沢佑は、久功を訪ねた。1年3ヶ月ぶりの再会であった。久功は公学校の生徒、講習生を連れて、軍艦那智を見物した。翌28日、軍艦足柄で佑と昼食を共にし、園遊会が終り、夕食をとった後、寝る迄ゆっくり話をした。

6月いっぱい役所を辞めた久功は、7月8日、杉浦佐助とともに、コロールを発ち、パラオ本島のはるか南にあるペリリュー島へ向かった。ペリリューでは、半月余の短い滞在ではあったが、島に伝わる数多くの神話、説話を採集することが出来た。しかし、ペリリューには、キリスト教が村中に広まっている村もあった。7月13日の朝、ガシヤスを出、西海岸にあるガルケヨックルに行った。ところが、村に入ったら、ここは村中キリスト教一村に広がっていたため、どこの家にも寄らず、隣村のフクラブルーへ廻った。この村にはキリスト教が広がっていなかったためか、多くの伝承を採集することが出来た。

なお、この第15冊から、日記本文は横書きとなる。

〔表紙〕

〔15 千九百二十九年十二月十五日ヨリ 千九百三十年七月十三日迄〕

昭和四年

HISAKATSU. H.]

〔見返し〕

〔黄菊白菊〕

其乃外乃名波無久毛加奈 (嵐雪)]

〔見返し裏〕

〔mkel 古村→Tūran 神〕

漁ニ行ッテ Ongor ノ実ヲ拾ッタハ, Kaiyon, Ngeyon ノ二人ダッタト云フ。

Ongor ヲ植エタ所ハ Kngnciyūch ト云フ所ダト云フ。 (augawaki)]

〔欄外に記す〕

〔16. 2 参照 1929〕

〔欄外に記す〕

〔ブソヨコトオラカルノ伝説〕

昔, イミリーキノカ<sup>△</sup>ルコロノ女ガ<sup>78)</sup> 蛸ノ実ヲ産ンダガ, 蛸ノ実ヲ産ンダ事ヲ耻ヂテ海ニ棄テテシマッタ。蛸ノ実ハ流レテ Obchal ノ海岸ニ来タ。其ノ時, ウルルム・オンノ者達ガ魚ヲ取りニ行ッテ居タ処, 一人ノモノガ tharao デ掬フト, 蛸ノ実ガ入ッテ来タ。ツマラナイ蛸ノ実ナノデ捨テタガ, 又次ノ者ノ tharao ニ入ッタ。又捨テルト又, 三人目ノ者ノ tharao ニ入ッタ。三人目ノモ□□ノハ, 此ノ蛸ノ実ヲ取ッテ置クト, ソレカラ大變ニ沢山魚ガ取レタ。デ家ニモッテ帰ッテウルルム・オンノ akeg ニ植エタ。Ongol ハ大キクナッタガ, 其ノ Ongol カラ大キナ Bsoyocho ガ生レタ。アマリ大キナ Bsoyocho ナノデ, Urrm-ong ノ人々ハ気味悪ク思ッテ, Olai ヲ行ッテ此ノ蛇ヲ追ッタ。— krbeyang ノ atao ノ曲リハ此ノ時, 蛇ガ逃ゲタ跡ダト云ハレル。

.....Ngarachabetan ノ Ngalmsachaū ト云フモノガ, アコールノ Eramkūti ノ処ニ金ヲ借りニ行ッタガ, エラムクティ<sup>(生)</sup>ノ処ニモ相憎金ガナカッタ。Ngalmsachaū ハ何ウシテモ金ガ要ルノデ, ソレデハアルコロニ借りニ行クト云フ。エラムクティハソレヲキクト, アルコロニハ大キナ Bsoyocho ガ居ルカラ止メタ方ガイダロウ, ト云ッタガ, Ngalmsachaū ハカマハズニ出カケテ行ッタ。ソシテ Choūran (コウラン) [Korobak ト云フ所トモ云フ。] 迄行クト, 果シテ大キナ Bsoyocho ガ出テ来テ, カ<sup>△</sup>ルムサカウハ呑マレテシマッタ。

Choūran ノ者ハ又, Olai ヲ行ッテ蛇ヲ追ッタ。蛇ハ今度ハ Chonlei ノ Ngaltmach [Iratmach<sup>(欄外に記す)</sup> ダトモ云フ。] ニ行ッテ therimnt ノ木ニ棲ンダ。一人ノ男ハイツモ此ノ木ノ下ニカヌーヲ置イタガ, Bsoyocho ノ糞ガイツモカヌーノ中ニ落チテ居タ。此ノ糞ヲ洗ッテ漁ニ出ルト魚ガ少シモ取レナカッタガ, 糞ヲ洗ハズニ出ルト, イツモ大漁ダッタ。

村ノ者が其レヲ妬ンデ、Abouūch ニマジナヒヲ云ツテ抛ゲタノデ、Bsoyocho ハ何処ヘ  
カ行ツテ了ツテ再ビ姿ヲ見セナカッタ。Bsoyocho ハ Ngalmsachaū ヲ呑ンデカラ人間  
ノ子ヲ生ンダ— Orachal ト云フ。

Bsoyocho ハ其レカラ Ngalmattiu ノ Omtūbt ニ行ツタガ、其処デモ Olai デ<sup>逃</sup>追ハレ  
タノデ、Orachal ハ親蛇ヲカヌーニ乗セテア<sup>ン</sup>ガウルニ行カウトシタガ、ペリリュウノ  
先ノマカヤ<sup>プ</sup>ノ浅瀬ニ来カカルト、海ノ中デ物ヲハツツテ居ル音ガシタノデ、舟ヲ親蛇  
ニ持ツテ居テ貫ツテ海ノ中ニ入ツテ行ツタ。

ソウスト、海ノ中デ神達ガ大キナ石デ、アバイヲハツツテ居タ、皆ハ石ノ粉ヲ吹ク  
度ニ眼ニ粉ガ飛ンデ困ツテ居タ。

Orachal ハソコデ、神々ノ処ヘ行ツテ、「ドウカアバイノ造り方ヲ教ヘテクレナイカ、  
ソシタラ石ノ粉ガ吹イテモ眼ニ入ラナイ事ヲ教ヘテ上ゲルカラ.....」ト云ツタ。ソコデ  
神々ハ Orachal ニ Abai ノ造り方ヲ教ヘ、オラカルハ石ノ粉ヲ吹ク時ハ必ず眼ヲツプ  
テ吹ク様ニ教ヘテヤツタ。— 此ノ a-Bai ガ後ニアルコロ<sup>ン</sup>ノ Baīh r ūlchaū ニ持ツテ  
行カレタノデ、現ニアル石ノ列柱ガソレダト云ハレル。—

Orachal ハ、母蛇ヲツレテペリリュウニ行き、人間共ニアバイヲ造ル事ヲ教ヘタガ、  
Bsoyocho ガ病氣ニナツタノデ、a-Imirik ニ帰ツテ来タ。更ニ Ngaspan ニ来タ時ニ愈々  
死期ガ近ヅイタノデ、Ngeraoīh ノモノ達ガ御馳走ヲモツテ来タガ、Bsoyocho ハ未ダ  
死ナナカッタノデ、Arbaīhermangīh ニツレテ来タガ、其処デ死ンダノデ、齋ヒヲシ、  
Melengiok ノ Ulbosan ニ行ツテ葬ツタ。其ノ葬ツタ家名ヲ Erabsoyocho ト云フ。

Orachal ハ其レカラ Ochūūl agangīh ニ行き、Och-el a Chaliīh ノ所ニ行ツタガ、Och-  
el a Chaliīh カラ「<sup>〔瘧〕</sup>檳柑ノ実ガ落チテモ拾ツテハナラナイ」ト云ハレタノラ、キカナ  
イデ拾ツタ処、足ノ<sup>〔瘧〕</sup>裏ニ石ガツイテ離レナカッタ。Orachal ハ星ヲ渡ツテ a-Imirik ノ  
albotal ニ降りテ来タ。死期ガ近イタノデ、Kīhlūkl ト云フ Mnengeshi カラ Mngūūl ヲ  
貫ツテ飲ンダガ、足ノ裏ニツイタ石ガダンダン<sup>〔瘧〕</sup>拵ガツテ、腰迄モ石ニナツタ。

Orachal ハ、天デ拾ツタ<sup>〔瘧〕</sup>檳柑ヲ其ノ Mnengeshi ニヤツタガ、其レガ Chūl Chūl aihtlt  
ト云フ金ニナツタト云フ。Orachal ハ遂ニ石ニナツタガ、其ノ村ヲ Orachal ト云フ。

(ビッタール伝承)

ビッタールハ現在アルコロ<sup>ン</sup>ノ最高齢者デアル。

〔一頁白紙〕

十五日 日曜日

雨、殆ド終日降ツタリ止ンダリ。朝カラ出カケタガ、雨ニ降ラレテ一向何処ニモ行カ  
レナカッタ。アカラ<sup>〔瘧〕</sup>ップノ方ニ行カウトシタラ、旧カ<sup>△</sup>スパンノ大酋長アルクミシ<sup>〔瘧〕</sup>ッ  
プガ居タノデ雨待チ乍ラ、上リコンデ話ヲキク。

	家名	称号
Ngarpan ēwiṯh Rūbak	a-Ingilai	Archmishik
	Aṯharangabian	Arblchūū
	a-Shinges	a-Sochowas
	Etteeṯh	a-Rūbeyan
	Ngalbapablai	a-Lachaiman
	a-Iṯhochol	a-Ochelṯhikohi
	a-Iōlshinges	a Riṯhep
Ngaspan 小村	Ngalṯhūbch	
	Yimiohi	
	Nglochob	
	a-Rois	
	a-IKishis	
	Aūwan	

〔欄外に記す〕  
[[16.153] ヲ見ヨ]

〔欄外に記す〕  
[カ<sup>△</sup>スパン日本人]

○昔 Ngaspan ニハ日本人ガ<sup>79)</sup> 居タト云フ伝承ガアル。日本人ノ居タ村ハ Almaṯhangm ト云ツタガ、其処ノモノハ勢力ガアッテ、非常ニ横暴ダッタ。雨ガ降ルト a-chaṯho ヲハ イデアブッテ行ツタリシタ。或時、方々ノ村ノモノガ集ッテ漁ニ出ル時、他村ノモノ達ハ唐辛子ヲ沢山食ベテ行ツタノデ、海岸迄行クト、吐イタリ腹痛ヲ起シタリシタ。Almaṯhangm ノモノハ、斯ンナ病人ヲツレテ行ッテモ仕方ガナイカラト云ッテ、舟カラオロシテ行ツタ。皆ガ出テ行ツタ後デ、是等ノ病人共ハ Almaṯhangm ニ行ッテ留守ノ家ニ火ヲツケタ。日本人達ハ沖カラ自分達ノ村ガ焼ケタノヲ知ッテ、其儘何処ヘ行ツタモノカ、帰ッテ来ナカッタト云フ。

〔欄外に記す〕  
[信仰]

ソコールノ家ニビッタールガ居タノデ寄ル。

昔ハ家々ノ神 (KeKelel chaliṯh, mokngétel chaliṯh) ガ信仰□サレタモノデ、村ノ神々 (Klou chaliṯh, ūngil chaliṯh) ハ一向信仰サレナカッタ。其レガ最近ニナッテアルコロノ Tmodaṯh ト云フ者ガ若イ身デ<sup>パラオ</sup>中ニアル石神ヲ現ハシテカラ (Tmodaṯh ハカルボスデ死ンダ。Koṯhep ハ Tmodaṯh ノ一味デアッタ) 急ニ Klou chaliṯh ノ□信

仰が盛ニナリ、カ<sup>△</sup>クラオカラコンレイ迄ノ北部ハ家々ノ小神ヲ全廢シテ、皆此ノ石ノ神ノ信仰ニ移ッタノダソウデアル。

Tmodaĥハ非常ニ若クッタニモ不拘、各地ノ石像神ニ就イテ知ッテ居タ。マルキョクノ或ル石ナドハ、倒レテ普通ノ石ノ様ニナッテ居タノヲ、神デアルト主張シ、起セバキツ顔ガアルカラト云ッテ起サセタ処、果シテ顔ガアッタトモ云フ。

ソナ訳デ、罵民ハ、Tmodaĥハ神カラキイタノダトモ云ヒ、神ダッタトモ云フテ居ルノデ、少シバカリ系図ヲ□キイテ見ルト、父ハNgrilノ第二ルバクEratey obchデアリ、母ハアコールノ第二ルバクEramkūfi（現村長）ノ妹デアッタ。

ビッタールト三人デアルタ<sup>△</sup>ンノ家ニ行ッタ。雨ガヒドク降ッテ来ルシ、腰ハ痛イシ、枕ヲ出シテ貫ッテ寝テシマフ。

〔欄外に記す〕  
〔小神〕

アルタ<sup>△</sup>ンノ家ノ昔ノ神（家ノ神）ヲキイタラ、名前ヲChocho-ongilト云ッテUngiūs（マムシノ様ナ小サナ蛇）ヲ以テ神体トシタト云フ。〔頭痛〕

又、Banノ家ノ向フノChoĥnlĭノ家ノ神ハ、Obibngelト云ッテ、神体ハalĥhil bsoyochoダッタト云フ。夜ニナルト、声ガスルノデ、「何カ食ベタイノデスカ」トキクト、豚ガ食ベタイ、トカ、ベッコウガ食ベタイト云ッタモノダソウデ、早クサガシテ供ヘナイト病人ガ出ルト信ゼラレタソデアル。

其他、a-Ōchlト云フ家ニハTamachaiトManganchūiト呼バレタ石神ガアッテ、□腐ッタ魚ヲ供ヘテ祈ルト願ガキカレタト云フ。

其他海ノ神デ

Fherakemim

a-Chashiū

a-Sachallachei（海、悪神）

Fheromchliyūch

a-Būnlech 等ハmoknget l chaliĥダト云フ。

十六日 晴

朝、子供達、続キ、

午後、子供達、鶏ヲサガシニ行キ休ミ。

拓殖課ノ四条氏来。

〔欄外に記す〕  
〔N1. 72 参照〕

theleb（deleb<sup>80</sup>）＝暗イ時又ハ月夜ニ見エル

人ノ顔ヲシテ夜家ニ入ッテクル。是レヲ見タモノハ、ホーイホーイト呼ブ。

ペリリユーノ女デアコールニ嫁ニ来テ居ル thalman ト云フモノハ、常ニ  
theleb ヲ見ルガ、モウ恐レナイト云フ。

Anggūūch = 夜 amthūū ノ葉ニノッテ飛ブト云フガ見エナイ。

Ū-bla-abo-ū = 犬ノ様ナ猫ノ様ナ顔ヲシテ夜、森ヤ畑ヲ歩ク人ガアルト、木ノ枝ヤタピオ  
Obleabo カノ葉ヲ折ルト云フ。

十七日 晴,

朝, 子供達, 続キ, 最後ノ一品

午後, 子供達, 続キ

夜, カラーデル, オルゲンレル, カデボウ, トモタッドヲツレテ, アカマンヲ取りニ  
行ク。月ガ遅イノデ, 其間アデメンガルノ前デ角力ヲサセタリシテ待ッテ居ル。月ガ高  
クナッテカラ, ガビンク<sup>△</sup>ルノ方マデ行ッテ海ヲ皆デ探シテ来タガ,<sup>(生)</sup>相憎クチットモ居  
ナイ, オルゲンレイガーツトツタキリ。

十二時前帰ッテクル。

十八日 晴,

朝, 子供達, 続キ,

午後, 子供達, 続キ,

夕方, 野元サンニバス。

十九日 晴,

朝, 子供達, 続キ, 午後迄, 続ケテヤル。

夕方, 野元氏来, ウナギ釣, 三人ガ皆針ヲトラレテ了フ。

晩, カラーデル, エセベイ, トモダッドヲツレテ, ウナギ釣り, 駄目。

廿日 晴,

朝, 子供, 続キ,

午後四時頃, 支庁長, 今見氏来。□迎ヘニ行キシガ, ガボットニテ逢□フ。夜, 酒。

廿一日 晴, 小雨,

朝, 子供達, 続キ

夕方, 野元氏ノ所ヨリ迎ヘガ来タノデ行キ, 支庁長, 今見氏等ト会食, 村ヨリ大キナ  
ボックスガ来テ居タノデ, 試食。

夜, 杉野, 大沢君来テ, 酒ノンデ酔ッテ寝テシマフ。



廿二日 日曜 晴，夕方，小雨。

朝，早く，オルゲンレル，トモダッドト海ニ行ク。

九時過ぎ，支片長等ヲ送ッテ，カ<sup>△</sup>ボクドノアタオ迄行ッテクル。

午後，カラーデル，オルゲンレイト田圃ノ小川ヲカヒ取り，小蝦□五六十。夜，ウナギ釣り，駄目。

廿三日 雨。

朝，子供達，続キ，

午後，子供達，続キ，

夕方，野元氏来。ウナギ釣り一匹。

## 発信

川上親恒，江波知彰，倉橋弥一，久顕，川路柳虹，土方久敬，小城タカ子，

〔欄外に記す〕  
〔童話，濟〕

### ● Alchūn ト Apeyab トノ話，

或時，陸ノ蟹ト鼠<sup>81)</sup>ガ二人テ薪ヲ取りニ行キマシタ。スルト，途中ニ Ongol ノ木ガアリマシタ。二人ハ実ヲ取ッテ食ベヨウトシマシタガ，蟹ハ木ニ登ロウトスルト，ツマヅイテ鋏ガ折レテ下ニ落ちテ了ヒマシタ。鼠ハ上手ニ木ニ登ッテ蛸ノ実ヲ取りマシタガ，散々囓ンデ汁ヲ吸フト，皮ヲムイテ小便ヲヒッカケテ，ソレヲ水道ニ捨テマシタ。蟹ハ水ニ入ッテ，ソノ小便ノカカッタ Ongol ノ実ヲ拾ッテ嚙ミマシタ……

二人ハソレカラ薪ヲ取りニカ□カリマシタガ，蟹ガ云ヒマスニハ，

「ネエ君，君ハ薪ヲ拾ヒ集メテクレ給へ，僕ハソレヲ東ネテシバルカラ…… 帰ル時ニハ二人デー東ツツカツイデ帰ルノダヨ」

「ソレハヨカロウ」，鼠ハスグニ讚成シマシタ。〔終〕

デ，鼠ハドンドン薪ヲ拾ッテ来マス。蟹ハソレヲ東ネテハシバリマシタガ，一ツノ束ハヨクシバリ，一ツノ方ノ束ハシバル時ニ木ノ根ヲカラゲカラゲ一緒ニシバリ込ンデ置キマシタ。

「サア，帰ルトシヨウ」

蟹ハ自分ノ束ヲカツイデサッサト帰ッテシマヒマシタ。

鼠ハ自分ノ分ヲカツガウトスルト，重タクテ何ウシテモカツグ事が出来マセン。シラベテ見ルト，木ノ根ガ沢山シバリ込ンデアリマスノデ，鼠ハスッカリホドイテ，シバリ直シテカツイデ帰リマシタ。蟹ハトックニ帰ッテ来テ居マシタ。二人は御飯ヲ食ベテ寝マシタ。

(カラーデル談)

(欄外に記す)

[lbolb ト云フモノヲ何ンナモノカキイテ見タガ、更ニワカラナイ、之ハドウシテモ外国モノデ、wolf デアラウ。]

● Chaamin ト Lbolb トノ話。

或所ニ親子ノ山羊ガアリマシタ。子供ハ五人アリマシタガ、或時母親ハ田圃ニ行ク時、五人ノ子供達ニ云ヒマシタ。

「斯ウシテ戸ヲシメテ置クカラ、決シテ誰ガ来テモアケテハイケマセン、オ母サンガ帰ッテ来たら手ヲ入レルカラ、ソシタラ開ケナサイ。ソレ迄ハ誰ガ来テドンナ事ヲ云ッテモ決シテ開ケテハイケナイノダヨ。」

母親ハヨク子供ニ云ヒキカセテ戸締リヲシテ田圃ニ行キマシタ。スルト其ノ留守ニ lbolb ト云フモノガ来テ手ヲ入レマシタ。子供達が見ルト手が白イノデ、「オ前ハ□□オ母サンデハナイカラ開ケテヤラナイヨ…… 手が白イヂヤナイカ」ト云ッテ開ケマセンデシタ。スルト、今度は lbolb ガ手ヲ黒クスツテ来テ又手ヲ入レマシタ。子供達は、今度ハ母親ダト思ッテ戸ヲ開ケルト lbolb ダッタノデ、テンデニアハテテカクレヨウトシマシタ。一ツハ ūlchngal ノ下ニ、一ツハ Kiwal ノ中ニ、一ツハ Klok ノ中ニカクレマシタガ、アトノニツハ逃ゲオクレテ、柱ノ根ニスクンデ居リマシタ。lbolb ハ直グニコノ□二人ヲミツケテ呑デ了ヒマシタガ、ソレカラ ūlchngal ニツマヅイテ引ックリカヘスト、又一人出タノデ、ソレモ呑デシマヒマシタ。ソシテ lbolb ハ、家ノ後ニ出テ寝テ了ヒマシタ。

ソノウチニ本当ノ母親ガ帰ッテ来テ手ヲ入レテ「オ母サンガ帰ッタヨ」ト云ヒマスノデ、Klok ノ中ノガミツケテ直グニ出テ来テ戸ヲ開ケマシタ。Kiwal ノ中ノモ出テ来テサッキノ lbolb ノ話ヲシマシタ。

「デ、lbolb ノ奴ハ何処ニ行キマシタ？」母親ガキキマス、<sup>ト</sup>「オ母サン、家ノ後デ寝テ居ルノデスヨ…… ホラ、スースー云フ息ガキコエルデセウ？」

ソコデ母親ハオレスト針ト糸トヲ持ッテ、子供達ニハ石ヲサガサセテ持ッテ来サセマシタ。ソシテ、lbolb ノ寝テ居ル処ニ行ッテオレスデ腹ヲ断チキッテ、呑マレタ三人ノ子供達ヲ出スト、今度ハ其ノカハリニ石ヲツメテ置イテ、針ト□糸デオ腹ヲ□<sup>縫</sup> [縫] ヲ置キマシタ。

lbolb ハ目ガサメテ喉ガ喝<sup>渴</sup>イタノデ川ニ水ヲ飲ミニ行キマシタガ、水ヲ飲マウトシテコゴムト、オ腹ニ石ガ入ッテ居テ重イノデ、ノメッテ川ノ中ニ落チテ死ンデ了ヒマシタ。

(カラーデル談)

(此ノ話ハ山羊ガ出テクルシ、時計ガ出テクル処ヲ見ルト、歐洲人ノ話デアロウ、独乙ノ話ノ匂ヒガスル様デモアル)

二十四日 晴，夕方雨。

朝，子供達，続キ，

午後，子供達，今日デ終リナノデ，作品ニ札ヲハラセル。

〔欄外に記す〕  
〔童話，民話，カ<sup>△</sup>ットミラキコイ〕

● Sochōl ト云フ子供ガ<sup>82)</sup> Ngatmirakikoi ト云フ虫ヲ飼ッテ居リマシタ。Ngatmirakikoi ト云フノハ，貝ノ中ニ居ル小サナ蟹 〔欄外に記す〕 [a chalm el a kikoi] ノ様ナ虫デス。始メ椰子ノ殻ノ中ニ入レテ飼ッテ居マシタガ，ドンドン大キクナルノデ，今度ハアキムノ殻ノ中ニ入レマシタガ，又直キニ入ラナクナツタノデ，又，器ヲ変ヘマシタガ，又入ラナイ様ニ大キクナリ，トウトウ家ニモ入ラナイ様ニナリ，果シレズ大キクナリマシタ。

其ノ時分，パラオヲ吞ンデシマフ様ナ大キナ Bsoyocho ガ居テ，ソノ蛇ニ三匹ノ子蛇マデアッテ，パラオハモウノマレテシマヒソウデシタノデ 〔欄外に記す〕 [モウ半分程モノマレテ了ヒマシタ。]，此ノ Bsoyocho ドモヲ退治シヨウト思ッテ，此ノ大キナ Ngatmirakikoi ニ相談致シマシタ。スルト，Ngatmirakikoi ガ Sochōl ニ云ヒマスニハ，「arinth ヲ切ッテ笛ヲ作ッテ毎日吹キナサイ，ソウスルト蛇ガ怒ッテ来マスカラ，ソシタラ退治シマセウ」。

ソコデ子供ハ笛ヲ作ッテ毎日吹イテ居マスト，始メニ小蛇ガ出テ来テ，「ソんなニ笛ヲ吹クト，今ニ親蛇ガ怒ッテ来ルカラ，ヨスガイイ。デナイトドンナ事ニナルカワカラナイゾ」ト云ヒマシタ。

ソコデ，ウマク行ツタ思ッテ Ngatmirakikoi ガ出テ行ッテ，小蛇ノ頭ヲ鋏デチヨン切ッテ了ヒマシタ。

子供ガ□笛ヲ吹イテ居マスト，又次ノ小蛇ガ出テ来マシタノデ，Ngatmirakikoi ハ又戦ッテ前ノ様ニ首ヲ切ッテ了ヒマシタ。三番目ノ小蛇モ斯ウシテ退治シテ了ヒマシタガ，終ヒニハ親蛇ガ怒ッテ出テ来マシタ。今度ハ Ngatmirakikoi モナカナカタヤスクハ行キマセン。散々戦ヒマシタガ，トウトウ鋏ガ折レテ了ヒマシタ。デ今度ハ masekyū (人魚) ニタノンデ Sochōl ヲ或ル村ニ wasai (斧) ヲ取りニツレテ行ッテ貰フ事ニシマシタ。子供ハ人魚ノ背中ニ乗ッテ其ノ村ニ wasai ヲ取りニ行キマシタガ，帰ル途中，人魚ノ背中ヲ□□ wasai デイタツラヲシマシタノデ，人魚ガ怒ッテ，アノ鼻デ大キナ息ヲ吹キマシタ。ソレデ，子供ハ吹き飛バサレテ，アンカ<sup>△</sup>ウル迄飛ンデ行ッテ i (洞穴) ノ中ニ落ちマシタガ，岩ノ上ダト思ッテ座ッテ居マスト，ソレガ岩デハナクテ，□ Chamūdokl ト云フ魚ノ背中ダツタノデ，Chamūdokl ガ怒ッテ跳ネ飛バシマシタ。Sochōl ハ今度ハ木ノ上ニ□□抛リ上ゲラレテ，木ノ上ニ座ッテ居マシタ。

Ngatmirakikoi ハ wasai ガ来ナイノデ，masekyū ニ尋ネルト，サツキノ始末ナノデ，又，人魚ニ探シニ行ッテ貰ヒマシタ。人魚ハアングウルニ行ッテ Chamūdokl ニ聞イテ，木ノ上ニ居ル Sochōl ヲツレテ帰リマシタ。ソコデ Ngatmirakikoi ハ其ノ wasai デ，トウトウ親蛇ヲモ退治テ了ヒマシタ。子供ガ七日カカッテ，其ノ大蛇ヲ頭カラ尾マデ断チ

割ルト、今迄ニ飲ンダ村ヤ村ノモノガ出テ来マシタ。人々ハ髪ノ毛ガ白クナッテ居マシタガ、是レニヨッテ、又村々ガ完全ニ出来ルヨウニナリマシタ。

(カラーデル談)

●昔、Chonlei ノ iyūngl ニ<sup>83)</sup> 一人ノオ婆サンガアリマシタガ、身ヲ洗ヒニ行ッテ飛ビ越エルト、ソノ婆サンガ masekyūū ニナリマシタ。ソシテ川ヲ下ッテ海ニ出テ、岩山ニ行ッテ、一週間程スルト、子ヲ胎ンデ人魚ノ子供ヲ産ミマシタ。人魚ハタロ芋ノ花ヲ持ッテ居マス。口ノ下ニアケヤムモモッテ居マス。人魚ハ、人間ノ子デス

(スマン談)

●猫ノハジメ<sup>84)</sup>

Ngeklaο 一人ノオ婆 〔欄外に記す〕 □□□□ adūklaο (家) サンガアリマシタガ、其ノオ婆サンハ Chattūū ト mangalengel トヲ生ミマシタ。婆サンハ猫ダノ蛇ダノヲ生ンダ事ヲ耻ヂテ、子供ノ 〔欄外に記す〕 □□猫ヲ棄テマシタ。スルト mangarengel ハ猫ヲツレテ海岸ニ出テ、猫ヲ頭ニノセテ海ヲ泳イデ Oqūiθ ト云フ罵ニツレテ行キマシタ。而シテ a-ben ヲ作ッテ入口ノ処ニ猫ヲ座ラセテ、魚ヲトッテ二人デ其レヲ食ベテ居マシタ。其レヲ Oqūiθ ノ muengeshi ガミツケテ椰子ノ実ヲ持ッテ行ッテヤリマシタ。而シテ、mangarengel 〔欄外に記す〕 [Eratei] ニ云ッテ猫ヲ貰フ事ニシマシタ。シマ蛇ガ云ヒマスニハ、「此ノ猫ヲツレテ行クノハヨロシイガ、持ッテ行ツタラ、椰子ノ実ヲムイタ時ニハ猫ニモ少シヤリ、又此ノ様ニシテ、a-ben ヲ作ッテ魚ヲトッテアナタモ食ベ、猫ニモ食ベサセテヤッテ下サイ」。而テ蛇ハ海ニ入ッテ了ヒマシタ。

其レカラ Oqūiθ ノ島ニハダンダン猫ガ □ 殖エ、其ノ猫ガヤップマデモ殖エテ渡リマシタ。Oqūiθ ト云フ罵ハ、mogemog 罵ノ近クダト云ヒマス。

昔ヤップノ者達ガ バラ オニ来テ居テ、食事ヲシテ居ルト、鼠ガ盛ニ飛ビハネテ居マシタ。デ、ヤップノ者ハ、斯ンナ鼠達ハ自分達ノ所ノ猫サヘアレバ、直グニ取レルト云ヒマシタノデ、バラ オノ者ハ、早速 a-chayap ヲ出シテ、ヤップ迄猫ヲトリニ行ツタト云ヒマス。

〔欄外に記す〕  
[アベヤサ<sup>△</sup>ルサイ 済]

● Abeyaθhalsai

或時、十二三位ノ子供ト十才位ノ子供トガ二人デ □□ 薪ヲ取りニ行キマシタ。スルト Abeyaθhalsai ト云フモノガ舞ッテ来マシタノデ、子供達ハ自分ノ取ツタ薪ヲドンドン投ゲツケマシタガ、薪ガ無クナッテ了ツタノデ、今度ハ wasai (斧) ヲ投ゲマシタ。スルトニツトモ Abeyaθhalsai ニ取ラレテシマッタノデ、家ニ帰ッテ来テ、Ngel-ao ト云フ七十位ヒノオ爺サンニ其ノ話ヲシテ、何ウカシテ wasai ヲ取り返セナイダロウカト云ッテキキマシタ。

オ爺サンガ云フニハ、「朝ニナツたら、舟ヲ出シテ Abeyathalsai ノ所ニ行ケバ返シテ貫ヘルヨ」ト云□ヒマスノデ、翌日朝、舟ヲ出シテ Abeyathalsai ノトコロニ行キマシタ。

スルト、Abeyathalsai ハ二人ニ御飯ヲ出シテクレマシタガ、芋デモ魚デモ何デモ指ノ先位ヒ、少シツツシカクレマセンデシタ。ソレガ、又食べテモ食べテモナクナラナイノデシタ。

□ Abeyathalsai ハ何シニ来タノカト云ヒマスノデ、wasai ヲ取りニ来タノダト答ヘマスト、ソレナラ一ツハ Kiwal ノ上ニアル、一ツハ A-chap (クド) ノ上ニアルカラト教ヘテクレマシタノデ、ソレヲ貫ツテ帰りマシタ。帰ル時ニ Abeyathalsai ガ云フニハ、二人トモ、etitaoluchs ノ村ヲ通ル時ニハ、決シテ横見ヲシタリ、lottimith (チュ、ト口ヲナラス事) ヤ alongol (ウム、ト小サナセキラスル事) ヲシタリシテイケナイヨト教ヘテクレマシタ。二人ノ子供ハ忘レテ etitaoluchs ノ村ヲ通ル時ニ横見ヲシマス、Tokotonngl (鼻ナシ) ト Ashehes (□□□) <sup>足ナヘ</sup> [悪性ノ皮膚病] <sup>〔欄外に記す〕</sup> トガ出テ来テ嫁ニシテクレト云□ツテ□□□□□ツイテ来ルノデ、子供達ハ biskan デナグツテ、ヤット逃ゲテ来マシタ、  
(カラーデル談)

二十五日 雨降ツタリ止ンダリ。

朝、子供達、続キ、

夕方、子供達トテニス。海岸デ asohol ヲ拾ツテクル。

<sup>〔欄外に記す〕</sup>  
[首狩風習ノ有無]

先達、ア・マラエル爺カラガラスマオト□□□□アルコロントノ戦争ノ話ヲ聞イテミタ。ガラスマオト<sup>コンレイトハ仲ガ</sup>□□□□□□□アルコロントハ仲ガ悪カッタ。ガラスマオノモノガ或時二人デカヌーニノツテコンレイニ行クト、海岸デ三人ノ子供ガ遊ンデ居タ。デ二人ハ上ツテ行ツテ子供達ニ食物ヲヤルカラ舟ニ来ナイカト云ツタガ、嫌ダト云ツタノデ、一人ガ後ロカラー一人ノ子供ヲプロットコデナグリ殺シテ□首ヲツテ引上げ、ガラスマオニ帰ツタ。ソシテ村中デ盛ニ踊ツタト云フ。..... [ガラスマオノモノバ首ヲモツテカ<sup>△</sup>ボクドノガルウオノアバイニ来テ踊ツタノデアル。而テ首ハアボウクノ木ニツルシテ帰ツタ。]

スルト今度ハアルコロンカラ戦争ガ来テ、ガラスマオノモノノ首ヲニツツテ帰ツテ盛ニ踊ヲシタ。ソコデ、又ガラスマオカラ戦争ヲ出シテアルコロンノ者ノ首ヲ一ツトツテ来タト云フ。ソコデガラスマオカラ大キナ金ヲ贈ツテ仲直リヲスル事ニナツタガ、金ヲ持ツター団ガノリコムトアルコロンデハアバイニ招イテ盛ニ馳走ヲスル、ケレドモ其等ノ馳走ニハ Olai ガシテアルト云フノデ、ドンナニ沢山ノモノガ出テモガラスマオノモノハ一口モ食ハズニ一夜ヲ明カシテ帰ツタモノダソーダ。此ノ一行ニハア・マラエル自身モ加ツテ知ツテ居ルト云フ。其レカラ次ニハアルコロンカラ金ガ来ルガ、今度ハガラ

スマオノモノガアバイニ招ジテ馳走スル。ト、アルコロンノモノ達ハ、一口モ食ハナイデ全ジ様ニ一夜ヲアカシテ帰ッタト云フ。金ハ一人ノルバクガ持ッテ居テ、アテ<sup>△</sup>ヤンカ<sup>△</sup>ルニ入□□リ、向フカラモ一人ノルバクガ其レヲ受ケ取りニ来ルノダト云フ。

斯ナ事モアッタト云フ。アルコロンノモノガ単身カ<sup>△</sup>ラスマオトアタオニ乗りコンデ来ルト、其処ニ爺サンガ一人居タガ、アルコロンノモノト知ルト、キット身構ヘテ何時デモ来イト云ハンバカリダッタ。□スルト、アルコロンノモノハ憐レッポイ声ヲ出シテ、決シテソナ悪イ気デハナイ、腹ガヘッテ仕方ガナイノダカラ、何か食ベルモノヲクレ、ト云フノデ、爺サンモ可<sup>〔寛〕</sup>哀ソウニ思ッテアバイニツレテ行き、馳走ヲシテヤッタ。アルコロンノモノハ其ママ二日モ三日モ客ノ様ニシテアバイニ居タガ、ガラスマオノモノガ一人デ漁ニ出タノヲ知ルト、跡ヲツケテ海ニ出テ、其ノ男ヲ殺シテ首ヲトッテ帰ッタト云フ。

何ノ為ニ斯ナニ只一人ノ首ヲトッテ行くノカ？

私ハコレヲ首狩ノ風習ノ痕跡ダト思フノダガ。上ノ話デモワカル様ニ、首ヲ取ルト云フ事ハ、戦争或ハ圧軌ノ結果デハナクシテ、寧ロ其ノ源因ヲナシテ居ルノdeal。而テ、ホンノ子供ノ首デモイイノdeal。首ハ神ニ捧ゲル躰ニ必要ナノdeal。

〔欄外に記す〕

[a machal]

先達、ビッタールニ昔ノパラオノ通信ヲキイテ見タ。ソレハ檳榔樹ノ実又ハア・カブ<sup>イ</sup>ノ葉等ニ結ビツケタ、細イ椰子□縄dealガ、其ノ種々ノ結ビ方ニヨッテ種々ノ意味ヲ伝ヘルノdeal。之ニツイテハ、□結繩ノ風習トシテモ少シ沢山例モアツメ、意味、<sup>〔起源カ〕</sup>紀元等モ調べテ見ナケレバナラナイガ、今四ツ五ツアル<sup>時</sup>□モノノ中ノ一ツノ説明ハ次ノ様ダッタ。

自分ノ村デハ長イ事ヲ取ツタ事ガナイノデ、体面上面白クナイ——此ノ意味ハ色々ニトレルガ——カト云ッテ従来ノ敵国？ト戦ヲ開ク程ノ勢力モ今ハナ□イ、(ツヅメテ云ヘバ、戦争ハノゾマシクナイガ、首ガ一ツホシイノdeal)、ソナ時ニ一ツノ村ノ酋長カラ、朋国？ノ酋長ニアテテ持タセテヤル通信deal。デ、其ノ意味ハ、私ノ村デ一ツ首ガホシイノダガ、村ノモノノ首ヲトル訳ニハ行カナイ、貴殿ノ方ノモノヲ誰カ一人犠牲ニシテ、自分ノ村ノ為ニ首ヲ一ツトラセテクレナイカ、ト云フノdeal。此ノ通信ヲ□受ケタ酋長ハ若シ承知シ兼ネル時ハ、縄ノ結ビ目ヲホグシテ持タセテヤル。承知シタ場合ニハソノママ全ジ使ニモタセテカヘス。□而シテ何かウチアワセヲシテ何等カノ□法方デ自分ノ村ノヤクザ者ヲ一人、他村ノ犠牲トシテ与ヘルノdeal。

此ノ説明ハ、先ノ首狩ノ意味ヲ裏書スルモノノ様ニトレルト思フ。

二十六日 晴，雨，不定，

朝，子供達，続キ，

晩、竹野氏ノ処ヨリ迎へ来、雨止ムヲ待ッテ行キ、酒。

二十七日 雨、降ッタリ止ンダリ、  
朝、子供達、最後、アバイ掃除。  
夕方、竹野氏来、山鶏デ スキヤキ、酒。

二十八日 晴、  
朝カラ子供達、オルゲンレイ、イラロイス、オレイクヲツレテ、ガラカベタンニ行ク。メセクセイ、イヤカル、セ<sup>△</sup>ンルンムル、ボウメルト等待ッテ居ル。各ピスカン、釣針ヲモッテ川上ニウナギヲ取りニ行ク。チットモ居ズ。  
ガラーデル、スマン、カテボウ等ハ杉浦君ガツレテ、海ニ魚、蟹取りニ行ク。  
晩ハ、イツモノ子供達ハアルコロニ帰り、カハリニ講習生等全部家ニ来テ、遅ク迄遊ビ、トマル。

二十九日  
ガラーデル、オルゲンレイトア・ブレルデ海ニ出タガ、潮ガ満チテ来テ了ッテ居タノデ、魚一尾トツタダケテ帰ッテクル。杉浦君来、宿、  
野元氏、夕方、帰ッテ来ル。

三十日 晴、小雨。  
朝、子供達ノ作品値段ツケ。  
午後、竹野氏ノ処ニテ皆デ半日酒。  
夜、アマズノ家ニ行ッテ遊ンデ食事。

三十一日 晴、  
杉浦君ト二人デ朝カラ荷造り、家ノ掃除。  
午後、杉野君モ来テ、門松モ立派ニ立ツ。  
晩、野元サンノ処ニバス、長井氏来テ居ラレル。  
帰ルトヂキ野元サン見エル。杉野、杉浦君、酒飲ミ。

発信 大橋慶龍、大江安之介、松平新吉、佐藤朝山、建畠大夢、三澤寛、  
竹田与作、中井良三郎、

〔一頁白紙〕

## 昭和五年 1930

元日 晴，曇，夜風，

朝，学校ニテ式，会食後，野元氏宅ニテ会食，三時頃ヒキ上げ，ア・マズノ家ニ行ク。  
ヂキ帰り，杉野，杉浦君トシゲベルト，ア・ルミルウヲツレテ海ニ行キ，永イコトツカ  
ツテクル。

✓椰子風ニ 酒少シ足ラズ 初日出。

### 二日

朝，子供達ノ□作品荷造り。

ソレヨリ野元氏，竹野氏，杉野氏等ト，カイドリニ行クツモリデ，オイメイノ方ニ出  
タガ，一向イイ川ガナイノデ，引カヘシ，又，ガボクドヘ行ク方ノ田圃ノ川ヲヤル。ウ  
ナギ二尾，ソロー十程，エビ六七十。晩，ソレラトアヒルヲ一羽ツブシテ，竹野氏ノ処  
ニ持ッテ行ク。長井氏モ居リ，野元氏モ来ル。

終日風烈シ。

三日 晴，朝一寸荷造り，

午後，野元氏，竹野氏ト子供達ヲツ□レテ海ニ行キ，貝，小魚ナド□取ッテ来ル。

野元氏ノ処デ皆デ料理シテ夕食。

### 四日

十時頃ヨリ子供達ニ荷物ヲ運バセル。十二時頃，自分達モ一緒ニアウロンニ行キ，ア  
バイデ弁当，カラーデル，シロウヲツレ，カヌーニテ漁。魚ハ一尾ノミ，アキム沢山。  
夕方，アウロンノ波止場デ釣。

夜，野元氏ノ処ニテ夕食。(野元サンノ奥サン，今日ノビナスニテ，コロールヨリ帰ル)

### 五日

朝，野元氏ノ処ニテ食事。

八時半頃，アウロンニ出，ビナスヲ待ッテ荷物ヲツミ，十時近クナッテ出ル。杉野君，  
村石君，見送りニ来テクレル。バウメルト，カラーデル，二人ツレテ来ル。コロールニ  
着キ，安達サンノ処ニ到着クト，雨ニナル。雨ノ晴間ニ波止場カラ荷物ヲ運バセル。

バウメルト，カラーデルヲ活動写真ニヤル。安達サンノ処ニ宿ル。



#### 六日

朝、郵便局ニ行き、支庁長ニ逢フト、先日ノビナスデ、少シ待テト云ッテヤツタ筈。今日、金井氏が賞品ヲモッテガラルドニ行クカラ、一緒ニ行ッテクレトノ事。直グニ波止場ニ出タガ、金井氏居ズ、学校ヨリ電話ヲカケテ待ツ。一時間余シテ金井氏来、オクレテ奥サン、子供サンモ来ラレ、皆カモメ丸ニテガラルドニ来ル。アウルンニ上ルト雨。自分ハ□野元氏ノ処へ、金井氏等ハ南賀へ。

#### 七日

終日足悪ク、ブラブラ。

#### 八日

午前十時、講習生等修了式。

#### 九日

朝十時頃、金井氏一行トアウロンヨリビナスニテコロールニ出、安達氏ノ処ニ宿ル。夕方、支庁長ノ処ニ行ク。展覧会中止、直チニマルキョクニ行ケトノ事。石井氏訪問、夕食ヲ御馳走ニナル。高松氏、松田氏ノ処ニ寄り、九時過ぎ帰ル。

#### 十日

午前中、役所。午後、講習日誌整理。

#### 十一日

朝、一寸役所ニ行き、食料品等買ヒ集メ、カモメ丸ニテマルキョクニ来ル。ボウメルト、カラーデル、イヤカルハ、ミドリ丸ニテ西ヨリ帰ス。アルクライノ家ニ宿ル。

#### 十二日 日曜 晴、曇、雨、

朝、寫田氏ノ処ニ行カウトシテ出テクルト、途中デ逢ヒ、一所<sup>(緒)</sup>ニ一寸駐在所ニ行き、後、寫田氏ノ処ニ行ク。杉浦君ニハ其ノ間ニ家ヲ移ッテ置イテ貰フ。ビールヲ御馳走ニナリ、□昼食ヲ御馳走ニナッテ、二時過ぎ帰り、一寸寝タラ、寫田氏ノ処カラバスガ出来ルカラトノ事デ、又行ッテクル。

夜、稲氏ガ来ラレル。

#### 十三日

ジメジメト雨が降り続ケルノデ、家ノ中ニゴロゴロシテ居ル。風邪ヲ引イタガ、咽ガ

痛クテ頭が重クテ仕方ガナイ。ガラルドカラハ荷物ガ来ナイ。午後三時前ニナッテ晴レタノデ、杉浦君ト村ヲ一廻リシテ来ル。夜ハ隣リノ爺サント、沖縄ノ人ト来テ、九時半迄モ喋ッテ行ク。

十四日 晴。一寸暫クブリデノ快晴デ気持ガイイ。

朝ノウチ、ペルシャンノ方ニ新道ヲ暫ラク歩イタガ、面白クナイノデ引カヘス。午後二時頃カガラルドカラ荷物ガ来ル。一片付キカタヅイタ処ニ、先生ノ奥サン達ガ子供ヲツレテアソオルヲトリニ行クト云フノデ、一緒ニ行ッテ拾ッテクル。夕方、寫田氏ノ処ニバスニ行ク。夕食後、杉浦君ト駐在所ニ行ク。ビールヲ馳走ニナル。

十五日

晴、朝、駐在所ニ行ク。講習生等十九名集ル。十時過ぎ、講習生等(本科三年男生十四名共)学校ノ教室ニ集メテ始業ノ挨拶ヲシ、後一般ノ方ダケアバイニ集メ、皆ニテアリユーヲ切りニ行ク。

午後、アバイノバタバタ。夕方、カモメノ野元君来、夕食。

夜、校長ノ所ニバスニ行き、十時頃マデ話シテ来ル。

〔欄外に記す〕  
〔受信 秋庭義次、倉沢量世〕

十六日

晴、朝、子供達、一寸彫刻ノ話ヲシ、後、山ニカプウイヲ取りニ行ク。午後、子供達、話ヲシ、新道ノ端迄ツ<sup>△</sup>ウ<sup>ル</sup>ヲ切りニ行ク。

夕食後、杉浦君トトモルノ家ニ遊ビニ行ク。

女神

Malegiok Rūbak 順位	}	Alklai	.....	家神	□□□□□□□□□□	armen
		Erachomaran		家神,		Obakrbil
		Arūlūchīh	.....	家神,		<u>Oīhal Merech</u>
		Ngilchngil	.....	家神,		<u>Ōchl Ayagth</u>
		Sakarūlion				
		Tikaīhasao				
		Arakatao				
		Olichon				
		Erattakao				
		Eraman				
Ngatmikei						

〔欄外に記す〕  
 [此ノ伝承ニハ誤ガアル。ゴマカシガアル。アルールクツ<sup>△</sup>ノ家神ガヌレ・エルデアル事ハ、種々ノ神話ガ説明スル。後ニ七ルバクヲ書ク。]

バラオ中、他村ハ皆七人ノ Rūbak ヲ定メタガ、Malengiok ノミハ、上ノ十一名ノ Rūbak ガアツタ。Alklai ハ所謂総酋長デアリ、Erachomaran ハ十名ノ Rūbak ノ長デ、Rūbak 達ノ決議ハ Erachomaran ヲ経テ、Alklai ニ伝ヘラレタト云フ。

Alklai ヲ始メ各 Rūbak ハ、各特定ノ Koblil カラ出タモノデ、決シテ他家カラ出ル事ナク、相続法ハ長ヨリ弟ニ、以下ハ母系継承デアッタラシイ。

◎ Alklai ノ代数ハ、現在ノ Alklai モコモテ十五 [八] 代ト云ハレルガ、順位ハ次ノ様デアル。

- 第一代 Tangasakel
- 第二代 Cholakirūm
- 第三代 Kaltūch
- 第四代 Ocholangas
- 第五代 Tomōl
- 第六代 Eracharaman
- 第七代 Soilūchl
- 第八代 Rūl
- 第九代 Tellei
- 第十代
- 第十一代
- 第十二代
- 第十三代
- 第十四代
- 第十五代

〔欄外に記す〕  
 [(N. I. 7 参照)]

男	{	Okmi	Chandbechel (Erachal)	mreēhel
			Ngala Teleptakl 老	Eraketh
			Ngala Kaū 壮	Chāthalbai
			Ngala bois 若	Mologois

Ngalaklūch	{	Ngala Keai	老	Ngala ochūla ī hachū
		Ngala Basas	壮	Rul
		Ngala Malankāth	若	Tellei
女	Okmi	{	老	
壮				
若				
Ngalaklūch	{		老	
			壮	
			若	

Chandbechel ノ長ハ (女ノ方モ) 総ベテ Alklai ノ一家ノモノデアッタ,

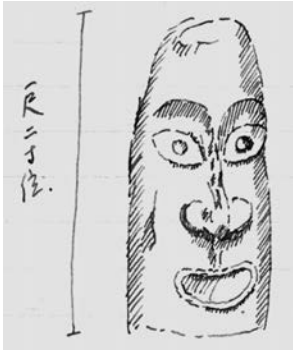
男	{	Chandbechel (Elang)		
		Ngala Tongwan	老	Alklai
		Ngala mocholocho	壮若	Tomōl
女	{		老	
		壮, 若		

十七日 晴, 朝, 昼, 驟雨  
朝, 子供達, マルテリヨン,  
午後, 学校ニ行キ, アバイノ絵ウツシ,

十八日 晴, 時々, 小雨,  
朝, 子供達, 砥石擦ラセ,  
午後, 子供達, ヅウルニテ筆立。  
晩, 島田氏宅へバス。

十九日 日曜日 晴, 時々, 小雨。  
朝, 杉浦君トバイル マルキヨクノ方カラー廻リシテ来ル。村ノモノ, ボラ取りニ出テ, 村ニハ氣ノキイタ者一人モナシ。午後三時頃ヨリ, 稲氏ノ処ニ行キ, ビールヲ御馳走ニナリ, 日暮迄御邪魔シテ来ル。

[欄外に記す]  
 [受信 金井属, 野崎雄次, 中沢佑, 本多正震, 八幡一郎]

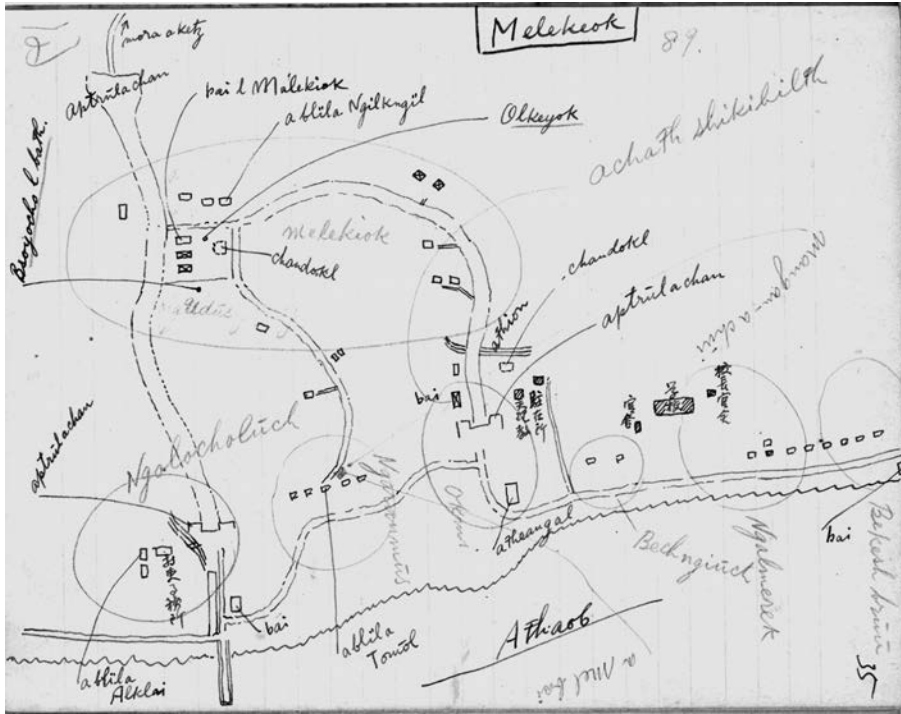


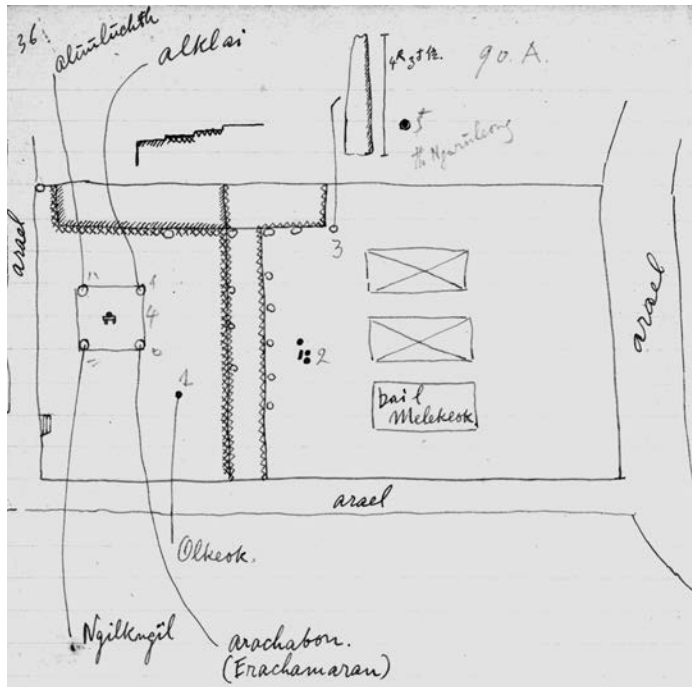
Olkeyok (angalk ra Mirath)

(□)所  
 Ngalachaboklニ Mirath ガ居テ, Amiyūns, Choreor,  
 Almonongūi, A-Imilik ト, コノ Olkeyok ラ生ンダト云  
 フ。

(二十八日ノ記参照) 43

(二月二日ノ記) 48





二十日 晴，夕方，小雨，毎日東風烈シ，  
朝，子供達，道具砥ギ，  
夕方，校長ノ処ヘバス，十時過ぎ迄話シコンデ了フ。

二十一日 晴，  
朝，子供達，灰落，夕方，校長ノ処ニバス  
午後，子供達，筆立，田中ト云フ人，来宿，

二十二日 晴，  
朝，田中君ニ髪ヲカッテ貰フ。  
朝，子供達，「家」  
夕方，校長宅ヘバス，

二十三日 晴，夜小雨。  
朝，子供達七時迄ヤリ，ブラキョスヲ取りニ行ク。  
午後，子供達，筆立続キ，四五名出来ル。  
夕方，海ニ入ル。夜，子供達ヲ集メテ踊ラセル。

二十四日 雨, 後晴,  
朝, 子供達 (別) 灰落  
午後, —

夜, 子供達ガ十四五人モ来テ, ベランダノ前デサンザン踊ッテ行ッタ。男ノ子供達ハバナノ枯葉ヲ頭カラ体中ニツケテ, 興ニ乗ッテイツマデモ続ケテ何扁デモ全ジ踊ラクリカヘス。

久々デ死ンダ様ニ風ノナイ夜, 引汐ノ海ニ星ガ映ッテ居ルノヲ見タ。

二十五日 晴, 暮方, 雨。  
朝, 子供達, 続キ,  
午後, 子供達, カヌー, 家,

夜九時頃, エラサカツ△イノ家ニ行ッテ見タガ, 留守ダッタノデ, 其ノ先ノ方ニ行ッテ見ルト, 爺サンガ三人バカリ集ッテ居タノデ寄ッテ見ル。中ノ一人ガナカナカ話シクワシイノデ, 明晩来テ貰フ事ニシテ帰ッテクルト, 其ノ爺サンガデキニ裏ノ家ニ来タノデ, 裏ノ家ニ行キ, 十二時過ぎ迄話ヲキイタリシテ居ル。

二十六日 日曜日 晴,

朝九時過ぎ, 裏ノイヤカツ△ニ案内シテ貰ッテ Ngelwosocho ノ家ニ行キ, 学校ノ裏カラ akegニ出テ a Rōis merech ヲ見, イヤカツ△ト別レテ, akegヲ一廻リシテ melekiokニ出, Alklai ノ所ニ下リテ帰ッテクル。

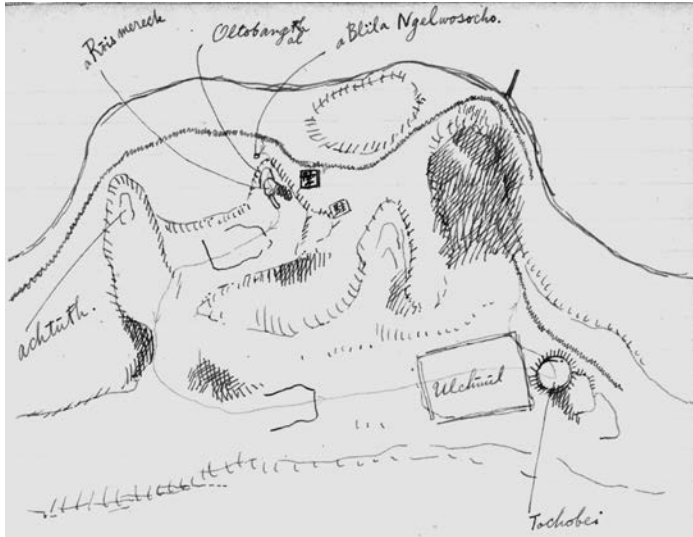
発信 松尾氏 松尾氏ヤップニ転勤。

[欄外に記す]  
[Tēthei bnūgūt]

Ngelwosocho ノ家ハ<sup>85)</sup> 神様関係ノ旧家デ, 昔ハ此処等全体ヲ mreezel シテ居タ。今デモ Rōis merech ハ此ノ家ヲ支配シテ居ルノデアル。

Ngelwosocho ノ家ノ adosonngl ノ中央ニ沢山ノ blūchs ノ真中ニ一ツノ石ガアル。名ヲ Tēthei bnūgūt ト云ハレル。ソレカラ向ッテ真直グ左, odoronngl ノ際ニモ一ツノ石ガアルガ, 是レハ Tēthei muūngūt ノ mthūal ダト云ハレル。ソレカラ, Rōis merech ニ行クト, 余リ大キクナイ幾ツカノ石ガアルガ, 是等ハ Tēthei muūngūt ノ手ヤ足ダト云ハレル。

昔, Ngelwosocho ノ家ノ者ガ海ニ出タリ, 畑ニ行ッタリシテ留守ニナルト, 誰カ来テハ芋ヲ食ベタリ, <sup>[魚カ]</sup>食ヲトツタリ, ア・カブイヲトツテ, ア・ボウクヲカランダリスル。家ノ者ガ帰ッテクルト, ア・ボウクヲカンダ赤イ唾ガアル。始メハ誰カ親類ノ者デモ来タノカト思ッテ居タガ, アマリ不思議ナノデ, 或日, 子供ヲ spalo ニ入レテ Arean ノ上ニ乗セテ置イタ。



スルト、皆が出テ行ッテ後デ、Tēthei bnūngūtガ、足ヨ来イ、手ヨ来イト呼ンデ、手足ヲ集メ、人間ノ様ナ体ニナッテ家ノニ入ッテ来テ、芋ヤ魚ヲサガシテ食べ出シタ。其処デ spalo ノ中カラ見テ居タ子供ガ Tēthei bnūngūt ト呼ブト、Tēthei bnūngūt ハ元ノ様ナ石ニナッテ了ッテ、其後ハモウ足ヲ呼ビ手ヲ呼ブ事モナク、芋ヲ食ヒ魚ヲ食ヒ、ア・ボウクヲ囓ム事モナクナッタト云フ。

此ノ話ハ此ノ前ニ、Tēthei bnūngūt ナルモノノ話ガアル筈ダト思ハレルガ、イヤカツ<sup>△</sup>ハ是レニツイテハ何モ知ラナイ。

〔欄外に記す〕  
〔Chōthalmerech. tochobei ノ女神ノ名ハ thelemelekiok.〕

Rōis merech ニハ、昔 Chōthalmerech ト云フ男神ガアッテ tochobei ノ方マデ<sup>〔帯〕</sup>ニ支配シテ居タガ、tochobei ノ Althil a chaliṭh ト夫婦ニナッテ、tochobei ノ方ハ其ノ althil a chaliṭh ニヤッタノダト云フ。

此ノ神処、神名ニ因ンデ此下ノ処<sup>〔帯〕</sup>ニ一体ヲ Ngalmerech ト呼ブノデアル。

Ngelwosocho ノ家ハ丁度ガラルドノ Ngattocholon ト全ジ様ニ昔カラノ旧家デアラシク、マルキョクガ現在ノマルキョクニナル以前ニハ、Rōis merech ヲ信仰ノ中心トシタ、此ノ Ngalmerech ガ旧村ノ中心デアッタラシイ。

二十七日 晴

朝、子供達、Merech.

午後、バイノ絵ニ色ツケ。夕方、アルクライ来ル。

少シ話ヲキイタガ、アマリ面白イ話モキカ□レナカッタ。



〔欄外に記す〕  
[Alklai]

アルクライノ元ノ出ハアルモノグイカラ出タト云フ。アルモノグイカラ、北ト南ト二手ニナツテ、□一方ハコンレイヲマハツテ、ガラルドノ方ニ出（ガラルドニオリタモノハアアマツ<sup>△</sup>ニナツタト云フガ、コレハ何ウダカ）、南ヲマハツタモノノウチ、或ルモノハ、コロールノカ<sup>△</sup>ルミツ<sup>△</sup>ニ上ツテ□酋長ナツタ、或物ハコイグルニ上ツタ。而シテアルクライノ祖先ハ此ノマルキヨクニ入ツタ。マルキヨクニハ、Sachalūlion ト云フ酋長ガ居タノデ、アルクライノ祖先ハ此ノ酋長ノ家ニ厄介ニナツタ。Sachalūlion ガ死ンダ時、実子ハ悪イ子ダツタノデ、母親ガ Sachalūlion ニセズニ、一家ヲ立テサセ、Alklai ノ祖先ハ大變ニヨク働イタノデ、是レニマルキヨクノ酋長ヲ譲ツタノダト云フ。（矢張りオルワシカ<sup>△</sup>ル系ダト云ツテ居ル）

因ニ此ノマルキヨクノ Alklai ノ一家ハ其後全族間ニ於テ、互ニ Alklai ニナランガ為ニ闘争シタモノデ、現ニアルクライガ名前ヲ挙ゲテ数ヘタ所デハ、七人ノ Alklai ガ同族ノ為ニ殺サレテ居テ、病氣等デ命ヲ終ツタモノハ五名ニ過ギナイ。

二十八日 晴、  
朝、子供達、続キ、  
午後、子供達中止、一斉ニ板平彫。  
夜、エラツタカオ来ル。

〔欄外に記す〕  
[Olkeok]

十九日ノ処、参照。〔34〕

Olkeok ハ Mirāth ノ子デアルガ<sup>86)</sup>、パラオデハ乳ヲ咬ンダリスル子ヲ Olkeok [Tkeyok] I angalk トイフ。デ此ノ Olkeok ハ Mirāth ノ乳ヲ□咬ンダノデ、Mirāth ガ Olkeok ト云ツタノダト云フ。

因ニキョロキョロト、アチコチ向ク子供ヲ Shochoreol angalk [→ Shūūreol] ト云フ。Choreol ノ名ハ是レカラ出タ。

又、シブシブト寝タ様ナオトナシイ子ヲ miyūns angalk [→ mngishingū] ト云フ。Aimiyūns ノ名ハ是レカラ出タ。

a Imirīk ハ女ノ子ダツタ。（————→ Mirāth）

〔欄外に記す〕  
[Ngalangsan ノ大墓 〔17, 159〕ニ在リ]

昔、Ngalkmowan ト云フ大男（神）ガ<sup>87)</sup>、海ノ石ヲ□手玉ニ弄ンデ海ヲ歩イテマルキヨクニ来タ。ソレヲ、マルキヨクノ者達ハ Trübū thl ト Ilaot トデ毒ヲ作ツテ食ハセタ。Ngalkmowan ハ Ngalangsan 迄行ツテ苦ンデ死ンダ。……。

後ニ Ngalkmowan ノ母ノ Ittaūweei ト云フ神ガ Ulochōcho ヲモツテ来タガ、（其ノ

Ulochōcho ガハゼタ所デ子供ガ殺サレタト云フ……)

マルキョクニ来ルト、其ノ Ulochōcho ガハゼタ。Ittaūweei ハ言ツタ、「マルキョクト云フ所ニハ何時迄モ善イ事ト悪イ事トガ交ル交ル来ルダロウ」、マルキョクハ其故ニ決シテ善イ事が続カズ、常ニ善悪ガ廻リ廻ッテ来ルノデアル。

因ニ Ngalkmowan ノ墓ト云フノガ Ngalangasan ニアルソウダガ、何デモ何十間カアル非常ニ大キナモノダト云フ。

二十九日 曇、午後雨、止ンデ曇、

朝、子供達、続キ、エラツタカオ、今日ヨリ来ル、

夜、エラツタカオノ所ニ話ヲキキニ行ク。

Ngibthai 寫ニ老婆神 Chadbsongl ト云フガアツタ。家ノ前ニ Amthūu ノ大キナ木ガアリ、洞ガアリ、汐ガフキ、魚ガ降ル事、村ノ者ガ切ツタ為ニ寫ガ沈ム事ハ、「mthūu Ngibthai」ノ話ノ如シ。〔116頁〕

〔欄外に記す〕  
[apkaū]

Chadbsongl ハ其ノ後、Ngalanalachalaki ノ Ngalachaboki ト云フ家ニ来テ Apkaū ト云フ名ニナツタ。

Apkaū ハ Orakilū (望月) ノ夜ニ大瀧ガ来ル事ヲ予言シテ、子供 ( ) ニ Olngotoki [olngotl] ヲ作ラセ、長ク長ク綱ヲツケサセタ。而シテ品物ヲ乗セ自分モソレニ乗ツタ。

果シテ大海嘯ガ来タガ、綱ガ切レテ、Apkaū ハ Rois-Almonongūi ノ Chashil ト云フ木ニカカッテ死ンデ居タ、

ソコヘ神様 ( ) ガ来テ Shis ノ葉デ撫デテ甦生サセタ。而テ此時カラ Miraθ ト云フ名ニナツタ。而テ四人ノ子供ヲ生ンダ。

1. Aimiyūns (mngishingūl a ngalk)
4. Choreol (Shūreol a ngalk)
3. a Imirik
2. Olkeyok (Tkeyok l ngalk)

而テ Chūusel (子袋) ガ Alcholon [= Ngabiūl] ダト云フ。

Melekiok ハ元岩山ノ Ngalmizyū ニ居タガ、Kiūl ト云フ悪神ガ居テ、晩一人、朝一人、人間ヲ食ベタノデ、今ノ Melekiok ニ逃ゲテ来タノデアツタ。其時一人ノ婆サンガ取残サレテ、砂浜デ泣イテ居ルト、其処ヘ Ngalon chol ノ Ochela chaliθ ガ来テ、悪神 ( ) ヲ退治テ婆サンヲ Melekiok ニツレテ来テクレタ。デ礼トシテ Ochela chaliθ ニ Ngūlbosan ヲ与ヘタ。Ochela chaliθ ハ現ニ Ulbosan ノ村ノ神デアル。

[欄外に記す]

[Bongolmlík が天カラ持ッテ来タト云フ, Chabthwol, Bthülwal ト云フニツノ a üdoud が Ongiwal ノ wasai 家ニアルト云フ。]

Melekiok ノ Alüchs ノ女 [←thelamelekiok.] ガ chayanggal ニ mangaril (占) ノ上手ナモノガアルト聞イテ, Chayanggal へ行ッテ占ッテ貰ッテ。スルト, 天カラ Bongolmlík ト云フ神様が汝ノ家ニ降リルト聞イテ, 再ビ帰ッテ来タ。Bongolmlík ハ果シテ降ッテ…… Uliman ノ Fhaisekerel ガ Melekiok ニ来テ (Fhaisekerel ハ戦争デ死ンデ甦生シテ Melekiok ニ来タノダト云フ) 夫婦ニナッタ。Fhaisekerel ノ弟分ガ四人アッタ。

Alongōsocho

than than chapiül …… 女

Karasūs

Chalaṭhashial.

其ウチ, than than chapiül ハ大變ニ物嫌ガアッタノデ, 箱ニ入レテ<sup>流ニ</sup>海ニ流シタ。箱ハ Ngashias ノ Ngabünngl ノ atao ニツイタ。人々が箱ヲ割ロウトスルト, 中デ声ガシタノデ, 逃ゲテ帰ッテ。其処デ Rūbak ノ Eraongol ガ若シ人ダッタナラバ, 自分ノ子供ニスル。若神ダッタラ自分ノ家ノ神ニスルト云ッテ箱ヲ割ルト, 女ダッタノデ子供分ニシタ。

than than chapiül ハ妊ンデ, Melekiok ニ帰ッテ産ヲシタガ, 生ンダノハ人間ノ子デナクテ, 死ンダ蛇ダッタノデ, Ulrion ニイケタ。

後再ビ Peliriū ニ帰ッテ沢山ノ子供ヲ産ンダ。Peliriū ニハ其ノ血統ノモノガ沢山アル。

三十日 朝雨, 後晴,

朝, 子供達, 続キ,

午後, 子供達, 板彫続キ,

三十一日 晴,

朝, 子供達, 十時半迄ヤリ, アリュウ, カプウイヲ切りニ行ク。

午後, ドウレイヲツレテ杉浦君ト海ニ行ク。夕方, バス,

夜, エラサカツ<sup>△</sup>イノ所ニ話ヲキキニ行ク。

受信 平寫雄一郎

二月

一日 晴, 小雨,

朝, 子供達, アテ<sup>△</sup>ヤンガル人形。

午後, 子供達, 板彫二枚目。

二日 日曜日 晴,

朝, エラサカツ△イノ処ニ話ヲ聞キニ行ク。皆アバイニ行ツタノデ, 帰ツテクルト, 稲氏ニ逢ヒ, 稲氏, 家ニ来ラル。二時過ぎ迄話シ, 三時過ぎアバイニ出カケテ見ル。

夜, 校長宅ニバス。

金井氏ヨリノ親展書見セラル。キタナラシイ下品キッタ手紙。

〔欄外に記す〕  
[Olkeok,]

アバイノルバク達ニオルキョックルヲクレト云ツテヤル, ルバク達アキレカヘツテ首ヲ横ニフリ, アワテフタメイテ, Mirañ ノ子ダト白状スル, マルキョクニモ神ハアル! ワカリキッタ事ダガ。

~~~~~  
Olkeok ハ Mirañ ノ子デアル。Mirañ ハ何ト云ツテモ神話ノ中ノ大立物デアル。エラサカツ△イニ依レバ, カ△ラスマオノモノガ Olkeok ヲ盗ンデ行ツタノハ, 今カラホンノ三年位前ノ話ダソウデ, カ△ラスマオノ村ノ者達が計画的ニヤツタモノデハナク, Alran ト云フ者が一個人デヤツタモノダソウデ, 心持ハ, Mirañ ハ天ニ昇ツテ居ル, デ Olkeok ヲ守リスレバ, Mirañ ガ喜ブト云フノデアル。(此ノ言ヒ方カラスレバ, Olkeok 石其物が神ナノデアツテ, 人間ガ刻ンダ碑デモ像デモナク, 此ノ人面石コソ Mirañ ガ直キ直キニ産ンダ子神ナノデアル。現ニガラルド, アルコルン以来, 信者ハ数々ノ石ヲ決シテ人間ガ作ツタモノトハ信ジナイノデアル。)

Alran ハ単身マルキョクニ乗り込ミ, Olkeok ヲ赤イ布デ包ンデカヌーニツンデ行ツタノデアル。Ngaklao カラ Ngesan ニ運ビ, ソシテ Ngarachmao ニ持ツテ行ツタ。

昔ナラバ, Ngarachmao ヲツブシテ了フ位ヒノ戦争ヲスルカ, Abachal ヲ添ヘテ帰シテ来ルカシナケレバ, ヲサマラナイ事ダト云フ。

Melekiok デハ Ngala-mocholochol ノ Chaldbechel デ, Chabechel ヲ出シテ取りニ行ク事ニナツテ居タノヲ, Alklai ト Alakaboū トノ二人ガ, 其ンナ事ヲシテ神様ダ信仰スルモノダトサレテハヨクナイト云フノデ, 駐在所ノ手ヲ借りテ取りモドシタ次第ダツタノデアル。□□而テ大寫巡查ガワザワザ Ngarachmao カラ此ノ神様ヲ取りカヘシテ, 今ノ処ニ置イタモノデアル。(エラサカツ△イ)

三日 晴, 小雨

朝, 子供達, 続キ,

午後, Bai l melekiok. ニ梁絵ヲトリニ行ク。

四日 晴,

朝, 子供達, 続キ,

午後、子供達、merech 平彫、

五日 雨、

朝、子供達、続キ、

六日 晴、

朝、子供達、種々ザルカイ、

午後、子供達、続キ

晩、エラサカツ△イノ所ニ話ヲキキニ行ク。

〔欄外に記す〕

〔Chōthalmerech ノ前身〕

昔々カ△ラルドガ強クテ<sup>88)</sup>、アルコロンガ弱カッタ。デ神様が憐ンデアルコロンヲ強クシテヤロウト思ッテ一人ノ人間ヲ降サレタ。其ノ次第ハ、Och-ela Chalīth ガ天カラ降ッテ来テ、a-Ibchl ノ Kaptūi ト云フ家ノパンノ樹ノ būchūi (実ノ側ニアル花) ノ中ニ自分ノ一部ヲ生ミツケテ、自分ハ Manganran ノ Ulrūshian ト云フ家ニ居タガ、羽ガアッテ舞ヒ歩イタ。

būchūi カラ生レタ子ハ、其ノ家ノオ婆サンニ育テラレテ thrūsōng-ai ト呼バレタガ、ドンドント大キクナリ、非常ニ強クナッタ。

Ulrūshian ニ居タ Och-ela Chalīth ハ誰モガ其ンナ大神デアルトハ知ラナカッタ。而テ其ノ家ニ近ヅイタ者達ガ死ンダリシタノデ、人ヲ食フ悪神ガ居ルヨウニ伝ヘラレテ居タ。thrūsōng-ai ハ此ノ話ヲ聞イテ、婆サンガ止メルノヲキカナイデ、Ulrūshian ノ家ニ行ッタ所、其処ニモオ婆サンガ居テ、今悪神ガ留守ダガ、今ニ帰ッテ来ルトオ前モ死ンデシマフカラ早く帰リナサイト云ッタ。thrūsōng-ai ハドウシテモ悪神ニ逢フノダト云ッテ待ッテ居タ。スルト悪神ガ帰ッテ来テ、前ノパンノ樹ニトマッタノデ、thrūsōng-ai ハ tiwal (投ゲ木) ヲ投ゲヨウトスルト、悪神ハ其レガ thrūsōng-ai デアル事ヲ知ッテ云フニハ、俺ニ tiwal ヲ投ゲテハイケナイ、俺ノ羽ヲヤルカラ、オ前ハ此ノ Ulrūshian ノ家ヲ守レ、俺ハ他処ニ行クカラ、ト云ッテ羽ヲクレテ何処カへ行ッテシマッタ。thrūsōng-ai ハ Era-Ulrūshian ト云フ酋長ニナッタ。

〔欄外に記す〕

[[45 頁]]

悪神ハアカラップノ Roisan ニ来テ Och-ela-Roisan ニナッタ。Uliman ニ来テ thaisekerei ニナッタ。Thaisekerei ハウリマンノ波止場デ alūchs ノ女、thelamelekiok ヲ妻ニシテ — thelamelekiok ハ mangaril ヲシテ貫ヒニ、Ngaynngal ニ行ッテ帰ッテ来タ処ダッタ — 緒ニ Melekiok ニ来テ Chōthalmerech ニナッタ。

a-Ibchl ニハ Kaptūi ノ家ノ跡ニ四基ノ立石ガアル。alūchs ノ家ト云フハ、 Bai l

melekiok カラ Okmi ノ方ニ降りテ来ルト今、左手ニ二軒ノ廢<sup>家</sup>屋ガアル、其ノ一ツデア  
アル。

〔欄外に記す〕  
〔パラオ七神〕

始メニ天ノ神<sup>89)</sup>、Och-ela ayangth ガ居タ。Ochela ayangth ガ Periliū ノ Galiyap ノ  
海ニ一ツノ Akim ヲ生シタ。

Akim カラ Latmngichai ガ生レタ。Latmngichai ハ海ニ居タガ妊ンデ子ヲ産マウトシ  
タガ、女〔陰〕部ガナクッタノデ、産ム事ガ出来ナイデ困<sup>[ママ]</sup>ンダ。母ノ Akim ガ brithel  
ヲ呉レタノデ、其レヲ<sup>□</sup>陰部トシテ子ヲ生ンダ。Obochaith 女神デア。 (Obochaith ハ  
人間ノ祖デア。人間 a-chaith ト云フ言葉ハ Obochaith カラ出タノデア。)

Obochaith ハ a-Tūran ト云フ神ヲ生ンダ。a-Tūran カラ chūwap 女神ガ生レタ。……  
chūwap ハドンドン大キクナツタ。始メ座ラセタガ、マダマダ大キクナルノデ、次ニハ  
蹲ラセタガ、更ニ大キクナツテ場所ヲ取ルノデ立ツテ貫ツタ。食物ハ棒ノ先ニツケテ与  
へ、棒ヲ継ギ足シテ与ヘタガ、更ニ大キクナツテ、イヨイヨ始末ニオヘナクナツタノデ、  
Latmngichai ニ相談シタラ、足下ニ薪ヲツンデ焼クガイイト云フ。ソコデ足下ニ薪ヲツ  
ミ上ゲルト<sup>K W A P</sup> □□□□ <sup>C H N P</sup> □□□□ chūwap ガ上カラ何ヲスルノカトキク。少シ火ヲ焚コ  
ウト思フノデ、足ガアツクナイ様ニ薪デカクシテ置クノダ。スルト chūwap ハ既ニ焼カ  
レル事ヲシツテ居テ、omelaol<sup>a</sup> ! ト云ツタ。Omelaol ハ「欺キ」ノ意デア。火ハ焚カ  
レタ。chūwap ハ倒レ<sup>□</sup>テ Palao ノ土ニナツタ。Palao ノ名ハ Omelaol カラ出タノダ。  
<sup>A N G Y A U I</sup> □□□□□□□ Angeaül ト Periliū トハ元一ツデアアツタガ、chūwap ガ倒レタ時ニツ  
ニワレタ。「マタグ」ノ古語ハ ayaül (マタギ) meyaül (マタグ)。今ハ mlaül ト云フ。  
Angyaül ノ名ハ ayaül カラ出タ。Chūwap ハ一方ノ歩ハ ngaldororocho ヲ踏ミツケタ。  
踏ミツケル事ヲ throrocho ト云フ。ngalthrorocho ノ名ハ throrocho カラ出タ。因ニ  
Pelaū ノ地ハ<sup>K U</sup> □□ chūwap ノ体デア。<sup>G A T</sup> □□□ Ngatkip ハ<sup>□</sup>陰部デアリ、Alcholon ハ  
頭部デア。Alcholon ノ ēwith brūū ハ両耳、両目、両鼻孔ト口ダト云ハレル、(a-Imirik  
ガ陰部ダト云ハレルノハ誤伝デ、a-Imirik ガ Miraith ノ娘デア。事カラ誤ラレタノダト  
云フ)

Obochaith カラ更ニ<sup>男</sup>Och-ela Chaliith ト<sup>男</sup>Erachomchūū ト<sup>女</sup>thilamlümms トガ生レ  
タ、(Bilmeyai ハ Thilamlümma ノ娘ダト云)

(四年十一月十二日記参照)〔14, 104〕

七日 晴,

朝、子供達、続キ,

午後、学校ニ行キアバイノ絵ウツシ。

晩、校長ノ処ニ行ク。医員西川氏来テ居ラレ、稲氏モコラル。

[欄外に記す]

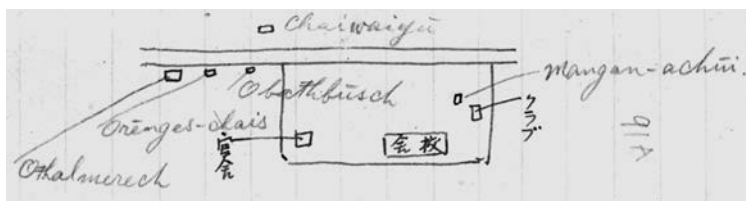
[口碑 Choŋhalmerech ト Nira-chaishal]

或時、Choŋhalmerech ト<sup>90)</sup> □□□ Ngilachāishal ト漁ニ出タ。Ngilachaishal ハ<sup>i</sup>□<sup>r</sup>□<sup>r</sup> tehūū (マグロ) ヲ一尾トツタガ、Choŋhalmerech a 小サナ Chūm ヲ一ツ取ツタダケダツタ。

Choŋhalmerech ハ Ngilachāishal ガサンザン水ヲモグッテ出テ来タ時ニ、何ウダ tchūū ト Chūm トドッチヲ取ルカトキイタガ、tchūū ト云フ時ハ小サナ声デ云ヒ、Chūm ト云フ時ハ大キナ声デ云ツタ。Ngilachāishal ハ永イコト水ヲモグッテ居タノデ、目ガ痛クテ急ニハ物ガ見エナカッタノデ、Chūm ト大キナ声デ云ハレタノヲキイテ、ボンヤリ俺ハ Chūm ニスルヨト云ツタ。ソコデ Oŋhalmerch ハ tchūū ヲモッテ帰ツタ。Ngilachaishal ハ帰ッテカヌ一ノ中ヲ探シタガ何モノイ、ヨクヨク見ルトタツターツ小サナ Chūm (ヤドカリ) ガ一ツ入ッテ居タノデ、兎モ角其レヲモッテ Rois Chaishal ニ帰ツタガ、Chūm ヲ其処ニ捨テテ云ツタ。「オ前ノ様ナモノヲ食ベテモ仕方ガナイカラ捨テテヤル、ソノカハリオ前ハ此処デ踊ノアル時ニハ俺達ノ食物ニナレヨ」

今デモ Rois Chaishal ニハ Chūm ガ居ル。

Oŋhalmerch ト Ngilachaishal トデ Rōismerech ヲ造ッテ居ル時ニ、Periliū カラ Bath-lūlchaū ヲ造リニ行ク「東隊」ガ此処ヲ通ツタノデ、Oŋhalmerch ガ□云ツタ。一ツ此処ヲ造ルノヲ手伝ツテクレナイカ、此処ガ濟ンデカラ行ツタライイ。其処デ一部ノモノハ、此処ニ上ッテ一緒ニ Rōis-merech ヲ造ツタガ、tūtao ヤ a-malk ガ鳴イテ夜ガ明ケタノデ、思フ様ニ出来ズ、omūltla baīh, mora ayangīh. Orēnges-ais, Mangan-achūi, Chaiwaiyū ハ其ノ石デアル。



八日 曇，東風，一時驟雨。

朝，子供達，続キ，

午後，子供達，各自異リタルモノヲ扱バシム。

夕刻，稲氏ノ処ニ行キ，夕飯ヲ馳走ニナル。

発信 寫村米子, 久頭, 荒居徳亮, 金子九平次, 土方愛子, 江波知彰

九日 日曜日 晴

朝, エラサカツ<sup>△</sup>イガ, 都合ガヨカッタ案内シテ貫フツモリテ訪ネタガ駄目, □oliūノ廢村ノ話ヲ聞イテ, 我々ダケデ行ク事ニスル。学校ニ稲氏ヲ誘ッタガ, 忙シソウナノデ, 九時過ギ我々ダケデ出カケル。バイ ル マルキヨクカラアケツニ出テプラプラ歩ク。天氣ガスバラシク好ク, 空ガ蒼ク蒼ク, <sup>[雲]</sup>曇ガ白ク白ク, 眺ガヒロク広ク, 風ガアッテ。山々ニハ雲ノ影ガオゴソカニ動キ, 海ハウルウイノ小鳥カラリーフガゾット開イテ居ルノデ, 白イ浪ガ霞ム迄向フ□ニ続イテ居ル。稍シバラク行クト, 敷石道ニ出, 一軒ノ家ニ日本人ガ居タノデ寄ル。Oliūハ既ニ過ギテ, 此処ハNgelwiklノ廢村ノ由, 畑ニシタバカリノホリカヘシタ土ニハ, オロカンノ片ヤ, 捨テラレタ貝ヤ, 豚, 魚ノ骨迄沢山チラカッテ居ルノデ, 暫クソコヲ見テ歩イタガ, 変ッタモノトテモナイ。人家ノ跡ノKaldūklハ幾ラデモアル。ソレカラ下ニ降りタ処ガ現在ノNgelwiklノ村デ, 四五軒家ガアルト聞イテ降りテ行ク。教ヘラレタ家ニ行クトサイサンガ居タ。暫クNgelwiklノ話ヲ聞キ, サイサンノ兄ガChaishal迄行クガ, 行カナイカト云フノデ, テ<sup>○</sup>イオカンヲ貫ッテ腹ヲコシラヘテ, 一緒ニ行ク。途中, ガラウスノアバイヲノゾイタラ, 婆サン達ガノドカニ編物ヲシテ居タ。カイシャルニ入ルト, アバイニハ老人達ガ皆集ッテ居タガ, 何カ話ガアルト云フノデ, 案内者モ得ラレソウニナイノデ婦ロウカト思ッタガ, 村長ガアバイノ話ヲシヨウト云フノデ, アバイニ入ル。話一向駄目ナノデ, カ<sup>△</sup>ラウスニ帰ッテ来テ, サキノアバイ, ア・イルルクノアバイデ婆サン達カラ梁ノ絵ノ話ヲキキ, 絵ヲウツシテ暫ク休ミ, 日暮前ニプラプラ帰ッテ来ル。

[欄外に記す]  
[Aüchel 神話, [N1. 4] [50]]

AlcholonノUlūshianト云フ家ニ<sup>91)</sup>Aüchelト云フ神ガアッテ, 空ヲ舞ッテハNgaraldニ戦争ニ来タ。Ngaraldデハ其ノ為ニ何回トナクAlcholonノ戦争ニ勝ツ事ガ出来ナカッタガ, 長イ事何ノ為ニ敗レルノカ解ラナカッタ。ダガ, 遂ニ空ニ羽ノアル人ガ居テハ矢ヲ投ゲル事ガワカッタ。Ngaraldノモノハ, イヨイヨコレニハカナハナイト思ッタ。或時, 又Alcholonカラ戦争ガ来タノデ, Ngaraldノモノ達ハ皆逃ゲ出シタ。其ノ時NgaklaoノAracheüütト云フ子供ガカヌーノ中ニ一人隠レテ見テ居ルト, Alcholonノ者達ハ皆ヲ追ッテ行カウトスル。其ノ中カラ一人ノモノガ羽ヲヒロゲテ舞ヒハジメタノデ, 其ノ子供ハウロヨコデウツタ。スルト其ノ矢ガAüchelノ乳ノ下ニササッテ, Aüchelハ落ちて来タ。

当時ハOngiwalトMelekiokトガAlcholon側ニツキ, CholeorトAlmonongüiトガNgaraldニ加勢シテ居タノデアル。

デ, Ongiwalノ者ガAüchelヲ介抱シテOngiwalニツレテ行ツタ。ダガ, Aüchelガ



云フニハ、「今度ハ自分モ何ウシテモ助カル訳ニハ行カナイ、何ウカ死ヌ前ニ Alcholon ノ婆サンニ逢ハセテクレ」ト云フ。

其処デ Ongiwal ノ Kaldbechel ガ守ッテ四人ノモノデ□担イデ、Ngarachmao ノ a kegニ行ッテ一泊シ、其処デ別レテ Aüchel ハ更ニ Alcholon ニ運バレタ。其シテ婆サンノ看護ヲウケテ死ンダ。

婆サンハ何ウシテモ死体ヲ地ニ埋ケルニ忍ビナイデ、<sup>レ</sup>コモニ包ンデ火ニカザシテ、燻製ノ様ニシテ自分ノ側ニオキ、他人ガ死ネバ同ジ様ニ Aüchel ノ死体ヲ出シテハ歎キ、□食物ガアレバ生キタ人ノ様ニ食物ヲ供ヘテ、且テヤメナカッタ。シマヒニ自分モイヨイヨ弱ッタノデ、自分ノ大事ニシテ居タ田ノ芋ヲオコシテ死体ヲウメテ、死ンダト云フ。

(是レニハ、長イ Chasools ガアル)

(欄外に記す)  
[親不孝ノ Tebai ノ話、テバイノ母ノ名ハ thilamaṭharaṭh.]

Ongiwal ノ話デアル<sup>92)</sup>。

Karakashwali ト云フモノニ tebai ト云フ子供ガアッタガ、大キクナッテ Ngülwickl ノ女ト夫婦ニナリ、Ngülwickl ニ行ッテシマツタキリ、親ノ事ナドマルデ忘レテシマヒ、便リモシナケレバ何□一ツ世話モシナカッタ。或時 tebai ハ akegニ行キーツカヌーヲ造ツタガ、出来上ツタノデ、村ノ者達ニ手伝ッテ貫ッテ山カラ出サウトスルト、田ノ中ニ落ちテシマツテ、幾ラ皆デカラ合ハセテモ少シモ動カナカッタ。(其ノ落ちタ田ハ今ノ tokomel 家ノ前ノ田ダト云フ)

其処デ mangaril ヲシテウカガツテミルト、オギワルニ行ッテ親ノ Karakashwali ヲツレテクレバイト云フ事ダツタノデ、tebai ハ Oniwal ニ行ッテミルト、Karakashwali ハ只一人貧シク暮シテ居タ。屋根モスツカリ破レテ、爐ノ所ダケツクロツテアル。其ノ下デ Karakashwali ハスツカリ年ヲトツテ寝テ居タ。tebai ガ起スト、爺サンハ起キテ不思議ソウナ顔ヲシテ tebai ヲ見タ。

「一体オ前ハ誰ダ？」

「私ハ tebai デス」

「何ダ、tebai ダツテ？ 俺ハマタ tebai ハモウ何処カデ死ンデ了ツタモノト思ッテ居タ。デ、何ダツテ今頃帰ッテ来タノダ」

「ドウカ私ト一緒ニ Ngülwickl 迄来テ下サ。<sup>〔イ脱カ〕</sup> 実ハ私ハカヌーヲ造ツタノデスガ、田ニ落ちテシマツテ、村中ノモノニ手伝ッテ貫ッテモ動かウトモシナイノデス」

「サウカ、ダガソレハ駄目ダ、俺ハモウ年ヲトツテシマツテ、力モナイ、俺ガ一人行ッタ処デ何ノタシニナルモノカ」

Karakashwali ハ相手ニシナカッタガ、tebai ハタツテ頼ンデ一緒ニ来テ貫ツタ。

Karakashwali ハ村ノ者達ヲ集メテ綱ニツカセ、自分ハシスヲ片手ニモツテ木ニ呼ビカケタ。

akūlekoi rekaū e tebae

Kede meged me Kolloi

akūlekoi rekaū e tebae

a medam a bengūngaū

a karekar bkies

□□□ e ngaka Karakashwali

ngak a Karakashwali

me kekmal mo ūngil e kerekang

(或ハ次ノ様ニ伝ヘルモノモアル。

Akūlekoi ra kaū

kede meged mo kolloi

□□□□ adeoibon <sup>〔欄外に記す〕</sup> [始メノ音頭, <sup>ワガ</sup> Olbishig a] mosongei tebae  
<sup>〔欄外に記す〕</sup>  
Akoū ūeme [akūlekod] e □□ dekeyū ū kon

A Karakar bkies

Ngak a Karakasiwali)

皆ガ力ヲ合ハセテ引クト, 安々トカヌーガ出タト云フ。

(トコメル家老人談)

<sup>〔欄外に記す〕</sup>

[a-kabūi ノ始メ]

昔, Ngūlwikl ニ<sup>93</sup> Karai ト云フ人ガアッタガ, 大変ニ信心ノ深い人デ, 常ニ Mo-ngrngl-owalk 神 (Ulwowalan ?) ヲ称ヘテ居タ。Karai ハ毎日 a thion l maḥaran デ体ヲ洗ッタガ, Aliūs ノカイトノヲ必ズ捧ゲテハ Mo-ngrangl-owalk ノ名ヲ称ヘテデナクテハ体ヲ洗フ事ヲシナカッタ。或時何時モノヨウニシテ体ヲ洗ッテ居ルト, 其処ヘ Mo-ngrngl-owalk 神ガ人間ノ姿ニナッテ来テ云フニハ,

「オ前ハ毎日何故 aliūs ノカイトノヲ捧ゲテハ神様ノ名ヲトナヘルノカ」

「私ハ何一ツ神様ノモノデナイモノハナイト思ッテ居リマスノデ, ソレデ必ズ神様ニオ供ヘシテ後, オサガリヲ戴クノデス」

スルト神様が云フニハ, 俺ガ其ノオ前ガ毎日称ヘル神ダ。オ前ハ善イ人間ダカラ天ニツレテ行ッテヤロウ。ト云ッテ一緒ニ天ニツレテ行ッテ立派ナ家ニ招キイレテ, 沢山ノ御馳走ヲシテクレタ。而テ帰ル時神様ハ「オ前達ノ食物トシテコレヲヤルカラ」ト云ッテ a-Kabūi ト Chadbsongl トラクレタノデ, 帰ッテ来テ, 其レヲ家ノ前ニ植エタ。今モ其処ニ<sup>堪</sup>□絶エズテアルト云フ。

Maḥaran ノ aḥion ニハ Karai ガ始メテ, a bouč ヲ嚙ンデ唾ヲシタ為ニ赤クナッタ石ガアルト云フ。

(Tokomel 家老人談)

十日 晴

朝, 子供達, 続キ,

午後, アバイノ絵, 色着ケ,

十一日 紀元節 曇, □□夕方ヨリ雨。

九時ヨリ学校ニテ式, 十一時頃マデ話シテ居ル。

午後三時頃ヨリバイ ル マルキョクノ方ニ出, 婆サンノ処ニ行ッテ上リコンデ居ルト雨ニナル。止ミ間ヲ見テ帰ッテ来タガ, 又降ラレテビチョ濡ニナッテ帰ル。

〔欄外に記す〕  
〔Oliūノ滅亡。〕

昔, NgaloncholニOch-ela Chalīthガ居タ<sup>94)</sup>。(人間ニナッテ人間ノ仲間ニハイッテ), 或時Och-ela Chalīthハ皆ヲツレテUlbosanノ前ニmkbūthヲ取りニ来タ。(Ulbosanノ前ニmkbūthノ寄ル所ガアル) Ochela ChalīthハOūchfhūal(立乾)式デ鱒ヲ取ッテ居タト云フ。

其頃Oliūト云フ所ガ勢力ガアッテ——Oliūハ今ハ全クノ廢村ニナッテ一軒モ家ガナイ。melekiokカラNgūlwīkニ行ク途中ニ□地名ダケ残ッテ居ル——□□□Ngūlbosanノ者達ハイツモイヂメラレテ居タ。例ヘバNgūlbosanノ女達ガOliūトノ堺ノ方ニ田ヲ造リニ行クト, 必ズOliūノ者達カラ五日ツツ止メ置カレテMongolニサレタ。Oliūノ者ハ□□Ulbosanニ来テモ雨ナド降ルト, ドノ家デモカマハズ, 屋根ノa-chaṭhoヲトッテ傘ニシテ行ツタ。□遂ニハNgūlbosanノ者達ハ食ベルモノモナクナッテ, Chūlūkb(芋ノ葉ノ煮タノ)ヲsūmms(クシ)ニサシテ乾シテ, aṭhaob(海水)トtitimml(木ノ実)トデソレヲ食ベテ居タ。

丁度Och-ela Chalīthガ鱒ヲトッテ居ル所ヘ, Ulbosanノ□酋長Ngatmicheiノ娘ガ海ニヤッテ来タ。Och-ela Chalīthガ見ルト, 娘ハsūmmsニūlūkbヲサシ□タノヲ持ッテ居ルノデ, 娘ニ対ツテ其レヲ一体ドウスルノカト尋ネタ。スルト娘ハ「私達ハ毎日<sup>〔ママ〕</sup>是レヲ斯ウシテ食ベ□テ居ルノデス」ト云ッテ, Ngūlbosanノ村ガ永イコトOliūノモノカライヂメラレテ居ルコト, ケレドモOliūハ強イノデ何ウニモ仕方ノナイ事ヲ話シタ。スルト, Och-ela Chalīthガ云フニハ, Uthūchl m-ēwith。(「七ニシテ返セ」ト云フ様ナ意味ダソーデアル) 処ガ娘ハ何ノ事カワカラナイノデ, 家ニ□帰ッテ父ノNgatmicheiニ其ノ話ヲシタ。ダガ, □父モ何ノ事カ解ラナイノデ, 又二人シテ海岸ニ出タ。

「アナタハ誰デスカ」ト云フト, Och-ela Chalīthハ「私ハthilamelkothト云フモノダ。何カ用カ」ト云フ。ソコデ親子ノモノガ, サッキノUthūchl m-ēwithト云フノハ, 何ノ事カワカラナイノデ来タノダト云ッテ, 村ノ事状ヲ話シテ助ケテクレト訴ヘタ。Och-ela Chalīthガ云フニハ, 此処ノ海ヲ呉レルナラバ, Oliūヲ平ゲテヤロウト云フ。

Ngatmichei ハ喜ンデ、ソレハ安イ事ダカラ、海ハ上ゲルカラ是非 Oliū カラ自分□達ノ村ヲ救ツテクレトタノ□ンダ。

スルト Och-ela Chalīth ハ orakūrūū (望月) ノ夜ニ akeḡニ来テ待テ、Oliū ヲ平ゲテ行クカラ」ト云ヒノコシテ別レタ。

望月ノ夜ニ Och-ela Chalīth ハ皆ノモノヲツレテ来テ、Oliū ヲ攻メタ。Oliū ノモノハ逃ゲテ、obūlch ノ村ニ行ツタ。

Och-ela Chalīth ノ一隊ハ引上ゲテ来テ、Ocharoch (万歳、戦勝祝) ヲヤツテ踊ツタ。Ocharochハ助ケラレタ者達カラ、相当ノ礼ガ出ル迄続ケテヤルノダソーデアル。Ulbosan ノモノハ金ヲ出スカラト話シタガ、一向止メナイデ踊ヲ続ケルシ、又娘達ヲヤルカラト交渉シテモ、一向受ケナイデ踊リツヅケルノデ、何ウシテイイノカワカラナカッタ。

踊ノ連中ハ omthilūm, othimthn (オ前ガ□云ツタンダ、オ前ガシタンダ) ト云フ囃デ踊ツテ居ル。其レヲ Ngatmichei ノ娘ガ聞イテ、海岸ノ約束ヲ思ヒ出シテ父ニ話シタノデ、父モ合点シテ、Ulbosan ノ前ノ海ヲヤルカラト交渉スルト、Och-ela Chalīth ハ直グ承諾シテ帰ツタ。其ノ海ノ境トシテ、Ngalonchol ノ者ガ来テ、tholt (鉄木) ト angas (メリケン松) トヲ植エタノダト云フ。

因ニ Oliū ノモノハ aūlon カラ来タモノダト云フ。

Oūchthūal ノ事ハ又、a-Ilwai トモ云フ。Oliū ト Ngūlwikl トハ友朋デアッタ。望月ノ夜ヲ約シタ時ニハ、teiyakl (結繩) ヲ以テ日ヲ定メタト云フ。

Ngelan ニ Och-ela Chalīth ト Ngatmichei トガ逢ツタト云フ Chaldūkl ガアル。

(エラサカツ<sup>△</sup>イ)

(次頁) (十三日記参照)

十二日 東風烈シク、終日曇。

朝、子供達、続キ。此処ノモノ何一ツロクナモノ出来ズ、ガツカリスル。

東風吹キツツケ、海ハノバツニゴーゴート□鳴リ、椰子ノ葉ハザーザーウナリ、耳ガ鳴ツテ居ル様デ不快。

十三日 東北風烈シク、終日曇。頭重シ。

朝、子供達、続キ。

午後、子供達、merech 終リ、平彫、丸物、

晩、matharang-aīh 爺サンニ来テ貰ツテ、ウルボサンノ話ヲ聞ク。matharang-aīh ハ今年トツテ耳ガキコヘナイガ、ウルボサンノ出デ、ウルボサンニ就テハ随一ノ物識リデアアル。

[欄外に記す]  
[Ulbosan ノ縁起物語、]

Olwanngal ノモノガ昔<sup>95)</sup>, Kayanngal ノモノニ非常ナ圧迫ヲ加ヘタ。(コノ事ハ既ニ何度カ書イタ) デ, Kayanngal ノモノハ魚ヲ食フテハナラヌト云フ事ニナツテ居タノヲ, ngũthbugũl (ク<sup>△</sup>ッヴブク<sup>△</sup>ール) ト云フ者ノ子供ガ生魚ヲ食ベタ。Olwanngal ノモノガ, 其ノ子供ノ手ヲ嗅イデ魚ヲ食フタ事ヲ知ルト, Kabrũuch (今ハナイガ昔大キナカスーデ Kabrũuch ト呼バレタノガアッタ) ニ帆ヲカケ, マストノ尻ノ下ニ其ノ子供ノ手ノ平ヲカワセテオルワンガルニ帰ッタ。子供ハ其レガ為ニ死ンデシマッタ。Ngũthbugũl ハ非常ニ氣持ヲ悪クシテ, Ngaspan ニ来タ。Ngathpan ノ Ngalmeĩhangĩh ト云フ atao ニ来ルト, カ<sup>△</sup>スパンノモノガ, tharao ヲモツテ魚ヲトリニ来タノデ, 一緒ニ魚ヲトリ, 今度ノ出来事ヲ皆ニ話シテ氣持ノ悪カッタ事ヲ告ゲタ。スルト皆ハ Cholmeĩhabĩhũu ト云フ者ガ大變ニ Olai ガ上手ダカラ, 行ッテ olai ヲシテモラッタラヨカロウト教ヘテクレタノデ, ク<sup>△</sup>ーヴブク<sup>△</sup>ールハ其処ヘ行ッテ Olai ヲシテ貰ッタ。Cholmeĩhabĩhũu ハ arũũthl (烏帽子貝) ヲクレテ, 「コノ arũũthl ニハ olai ガシテアルカラ, コレデ海ノ水ヲ汲ンデカケテヤレ」 ト云ッタ。Ngũthbugũl ガ aptira-msei ト云フ所迄来テ, 其ノ□貝デ海ノ水ヲ掬ツテカケルト, 今ノ Ultoi ノ瀉ガ陸カラ別レタ。ソレカラ昔ノカ<sup>△</sup>クラオ (□□□アルコロシノ先キ) ニ行ッテ又海ノ水ヲ掬ツテカケルト, 旧カ<sup>△</sup>クラオ〔欄外に記す〕 [alngkaklao] (現ク<sup>△</sup>ルコル瀉 [ノトナリ]) ガ瀉ニナツテ陸カラ別レタ。

ソレカラカヤンカ<sup>△</sup>ルニ帰ッテ又潮水ヲ掬ムト, オルワンカ<sup>△</sup>ルガ沈ンデシマッタ。(オルワンカ<sup>△</sup>ルノ話参照)

オルワンカ<sup>△</sup>ルノモノハ Och-el-blũu ト云フ砂浜ニ流レツイ□タガ, 又波ガ来テ Och-el-blũu ガ沈ンダノデ, Ngalonchol ヘ行ッタ。

(是レカラ, 十一日ノ記, 「Oliũ ノ滅亡」ガツヅクノデア。ガ僅カニ相異ガアルカラ, 相異ダケヲ書ク事ニスル。)

即チ, 前ノデハ Ngũlbosan ノ村人ガ Ngalonchol ノ者ニ Ngũlbosan ノ前ノ海ヲ与ヘタトナツテ居ルガ, 之ハ誤リデ, Ngeran ノ者ガ Ngũlbosan ノ地ヲ与ヘタノデア。即チ現在 Ngũlbosan ノ者ハ, 自分達ノ祖先ガ Ngeran ヲ助ケタ礼トシテ Ngũlbosan ヲ得テ Ngalonchol カラ移ッテ来タノダト云フノデア。

前ノ最後ニ書イタ様ニ, Ngeran ニ伝説ノ Kaldũkl ガアルノダカラ, 此ノ方ガ正シイダロウ。

今一ツハ, Och-ela Chaliĩh ノ変身 thila-melekokt ト云フノデアアッタガ, □此ノ伝承者ニヨレバ, thila melekokt デハナクテ, chobochobachal ト云フ名前ダッタトイフ。



コロールノ方デハ a Ibadũul ガ未ダ全ク勢力ナク, Alakabesang, Albödl, Ngalwith ニ圧迫サレテ困ツテ居タ。デ a Ibadũul ハ Adalabai ヲ使ハシテ Ngalonchol ニ援助ヲ乞ウタ。ソコデ Ngalonchol ノモノガ Ngalakabesang 始メ Albödl, Ngalmith ヲ討チ, 報酬トシテ Koreol カラ Arabachet ノ地ヲ貰ッテ移リ住ンダ。

(時代が丁度一致スルモノカ如何カワカラナイガ、Ngalonchol ノ者ハ半分ハ Ngūlbosan ニ移リ、半分ハ<sup>A I</sup> arabake<sub>g</sub>ニ<sup>□□</sup>移ッタノダト云フ)

デ、後<sup>K r e o l</sup> <sup>□□□□</sup> Koreol ト Malekiok トガ互ニ戦フ様ニナツテカラモ、Ngūlbosan ト Arabachet トハ互ニ交友シテ戦ハナカッタト云フ。 (maṭhang-aṭh)

十四日 東風、曇。午後、漸次風止ミ雨トナル。

午後一時頃、支庁長来、二時半頃、村吏事務所ニ行カウトスルト、途中デ支庁長ニ逢フ。七時ヨリ学校ニテ活動写真。

○朝、子供達、続き、

十五日 曇、雨。

朝、子供達、続き

午後、子供達、続き、

今晚モ、活動ガアツタガ、失敬シテ行カナイ。

十六日 日曜日 雨。終日止マズ。

支庁長、早朝ガラルトへ出発。

昼、寫田氏ノ処へ招カレ、御馳走ニナル。晩マデ。

十七日 東<sup>□</sup>北風、雨。終日暮方ノヨウニ薄暗クテ、不愉快デイケナイ。

朝、子供達、続き、

午カラ、maṭhang-aṭh ニ来テ貰ツテ話ヲ聞ク。

〔欄外に記す〕  
〔アカ<sup>△</sup>ウルノ Sochodean ノ話。〔16, 17〕〔154 頁参照〕〔16, 81 参照〕〔N1, 109〕〕

Alcholon ノ Tochochōcho ト云フ家ニ<sup>96)</sup> Tochochōchoihonlek (トコココオンレッキ) ト云フ美人ガアツタガ、大キクナツテ方々カラ嫁ニ貰ヒ手ガアツテモ行カナカッタ。或時一人デ、カヌーニ便乗シテアルモノグイニ行キ、次ニア・イミリーキニ行キ、コロールニ渡リ、更ニベリリユーニ渡リ、遂ニ Angaūl ニ入ツテ Tūltaocho ト云フ家ニ行ッ<sup>□</sup>タ。其処ノ婆サンガ何シニ来タノカト聞クト、Sochodean (大擧丸) ヲ探シニ来タノダト云フ。婆サンガ云フニハ、「ソレハ駄目ダ。Olugis — Sochodean ノ名 — ハ Chaliyūs ノアバイニ居ルガ、Mṭhūal ガアバイイッパイデ、人間デハナイニチガヒナイ」トコココオンレッキガ Chaliyūs ノバイニ行ツテ見ルト、婆サンノ云フ通りデ、バイノ中ニ入ル事モ出来ナイノデ、外カラ、Sochodean ノ肩ヲ叩イタ。スルト、何シニ来タト云フ。女ハオ前ヲ訪ネテ来タノダ、妻ニシテクレト云フ。男ガ云フ、オ前ノ云フ事ガ本当ナラバイニ入レ。ソコデ女ハ男ノ mṭhūal ノ上ニ入ツテ一晩泊ツタ。翌朝、mṭhūal

ノ片ハシラメクルト、床ノ上ニクカウダノバナナダノアミーヤカダノ甘イ御馳走ガ沢山アッタ。男ハソレヲ女ニヤツタ。女ハ貰ッテ、 tūtaocho ノ家ニ持つテ行き、村ノモノニ馳走シテ、 Sochodean ノ妻ニナツタ事ヲ披露シタ。処ガアマリ沢山ナ馳走ダツタノデ村ノモノガ女ヲ妬ムノデ、女ハ居ヅラクナツテ、一度アルコロニ婦ラシテクレト男ニ云フ。男ガ云フニハ、婦ルナラバ、 Iriyaklaoil (angaül ニアル石ノ名前) <sup>【欄外に記す】</sup> [海ノ上ヲピクピク飛ブ虫、(足ガチガフ) ノ意、 Iriyak. . . . . アベコベ] ノ上ニ御馳走ヲ運ンデ、自分モ其ノ上ニ乗ッテ居口。女ガ云ハレル通りニシテ居ルト、石ガ動き出シテアルコロニ <sup>【ママ】</sup> アタオニ横ツケニナツタ。女ハ女ハ親ヤ村ノ者ニ馳走スル。一方 Sochodean ハ又□ m̄thūal ラメクツテ沢山ノ金ヲ出シ、大キナ tūūtū (袋) ノ中ニ入レ、自分ハ普通ノ体ニナツテ待つテ居タ。其処ヘ女ガ帰ッテ不思議ニ思ッテ故ヲ尋ネル。是レカラモ一度 alcholon ニ二人デ行ッテ m̄l ラシヨウト云フ。二人又 Iriyaklaoil ニ乗ッテ Alcholon ニ来ル。Sochodean ハ其ノ沢山ノ金ヲ積ンデ m̄l ヲ催シ、女ニ金ヲ全部ヤツテ、自分ハ姿ヲカクシテシマフ。何処ヘ行ツタカワカラナイ。 (maṭharang-aṭh)

十八日 終日風，曇，夜雨。

朝，子供達，続キ，

午後，子供達，続キ，

<sup>【欄外に記す】</sup>

【オコンランガルノ話。】

a-ūdūs ニ ochonranngal ト云フ <sup>子供</sup> □□ 息子ガアツテ、コレヨルノア・イバヴールノ家ニ養子ニ行ツタ。

Shimms <sup>【欄外に記す】</sup> [二十七日ノ所ヲ見ヨ] ヲヤツタ処、a-Ibadūl ノ金ハ浮ビ ochonranngal ノ金ハ沈ンデシマツタ。Alklai 家モ負ケデアル。

此ノオコンランカ<sup>△</sup>ルト云フモノハ、非常ニ乱暴ナ男デ、釜ノ下ニ火ヲクベルノニ、釜ガ焼ケテ真赤ニナル程火ヲ焚イタリ、事々ニ乱暴ナイタヅラガ絶エナカッタ。デ仕方ガナクテ、a-Ibadūl ハ此ノ婿ヲマルキヨクニ婦シタ。処ガカヌーガマルキヨクノ波止場ヘツクト、オコンランカ<sup>△</sup>ルハ皆ノ者ニ「一寸村ヘ行ッテクルカラ待つテ居テクレ」ト云ツテ、自分一人上陸スルト家ニ帰り、臥テ居ル病婆ニイキナリ <sup>【欄】</sup> ビスカンヲ向ケテ「金ヲ出シテクレ、出サナケレバ殺シテシマフ」ト脅ス。病婆ハ仕方ナシニ、隅ノ <sup>【欄】</sup> 櫃ヲ指示ス。オコンランカ<sup>△</sup>ルハ箱ヲ開ケテ、mochochōcho ト云フ abachal ヲ取り、カヌーニ帰ッテ来ルト、ソノママ舟ヲ出サセテコレヨルニ婦ッテ来テシマツタ。

又ソノ金デ shimms ヲヤルト、今度ハ勝ツタ。其処デ相変ラズ乱暴ヲ続ケテ居タガ、一寸シタ云ヒガカリデ、armasacha ト云フ大石ヲ頭ノ上ニ乗セル事ガ出来ルト云ヒハツテシマツタ。オコンランカ<sup>△</sup>ルハ其ノ金ヲ持つテ arabachet ニ行き、Och-ela chalith ニ金ヲヤツテ、力ヲ貰ツタ。而テ婦ッテ来テ、a-len ヲ塗ッテ死ヌ覚悟ヲキメテ、aramasacha

ヲ頭ニノセテ貰ッテ。コレヨルノ村中ノモノガヨッテ大石ヲ頭ニノセテヤッタガ、ochonrangal ハカヲ貰ッテ居ルノデ、軽ク持ち上げて mkütti ノ石ガケノ片隅ニ持ッテ行ッテ置キ、其ノ上ニ座ッテ居タ。

a-Ibadül ノ方デハスンナ者ハ何ウシテモ殺シテ終ハナケレバナラント云フ事ニナリ、村ノ者達ガ相談シテ、marachal デ祝ヲスルカラ来テクレト云ッテヤッタ。ochonrangal ハ殺サレル事ヲ悟ッテ、malekiok ニ通知シテ其ノ日ニ出テクル様ニト云ッテヤッタ。デ、イヨイヨ其ノ日ニナルト、自分ハ女房ニ「今日ハドシナ事ガ□□アッテ金ガ要ルカモ知レナイカラ」ト云ッテ、Chalbochob ヲニツ出シテ貰ッテ、ソレヲ持ッテマラカルニ出カケテ行ッテ。マラカルニ行ッテミルト、大鍋ニ豚ガーパイ煮テ仕度ガシテアッタ。其処デ ochonrangal ハ其ノ傍ニ行ッテ豚ヲ皆バスケニ入レテ、海ヲ見テ居ルト achayap ガ帆ヲハッテ来タ。□□ソコデ、「何処ノ舟カ見テ来ルカラ」ト云ッテ、ピスカン除ケニ鍋ヲサゲテ atao ニ出テ行ッテ。而テ帆モオロサズ atao ニツイタ舟ニ飛び乗ルト、其ママ melekiok ニ逃ゲテカヘッ□□テ、alklai ノ家ニ来タ。melekiok デハ、村ノ者達ガ皆集ッテ大事出来トバカリニ協議ヲシヨウトシテ居ル。オコンランカ<sup>△</sup>ルハニツノ Chalbochob ヲ alklai ノバスケニ入レテ、スマシテ alklai ノ傍ニ座ッテ。alklai ハ其ノ金ガニツ入ッテ居ルノヲ見テ、黙ッテ村ノモノ達ヲイイヨウニアシラッテオコンランカ<sup>△</sup>ルノ罪ヲ許シタ。

(a-matharang-ath)

十九日 終日風烈シ、曇、一二回雨。

朝、子供達、続キ、

午後、アバイノ絵、色ツケ。

コロールヨリノ遠足来ル。

夜、稲氏ノ家ニ行ク。

二十日 風終日烈シ。曇、一時晴レ。

朝、子供達、続キ、

午後、子供達、続キ、

夜、校長ノ処ヘ行ク。

〔欄外に記す〕  
[テ<sup>△</sup>ルコ<sup>△</sup>ールバイトアルコ<sup>△</sup>ールバイ]

ア・イミリーキニテ<sup>△</sup>ルコ<sup>△</sup>ールバイ、アルコ<sup>△</sup>ールバイト云フ姉弟ガアッタ。カ<sup>○</sup>ルテ<sup>△</sup>イノアテ<sup>△</sup>ヤンカ<sup>△</sup>ルヲ作ッテ居ル時ニ、アルコ<sup>△</sup>ールバイガ<sup>(ママ)</sup>根屋ヲ葺イテ居ル処ヲコ<sup>○</sup>レヨルノアタ<sup>△</sup>・ラ イテ<sup>△</sup>ツ<sup>△</sup>ガ殺シタ。(寫民ハモロコ<sup>○</sup>ツ<sup>△</sup>ア エキル……網ガ切レタノデト云フ。コノ事ハ、昔ハ、各酋長間デ契約ガ交サレタノダソウデ、例ヘバ、マルキヨクノアルクライガコ<sup>○</sup>レヨルノア・イバヴァールニ金ヲヤッテ平和ト云フ契約ヲスル



ト、モウ、コ<sup>○</sup>レヨルノ物 [者] ガメルキヨ□クニ来テモ、メレキヨクノモノガコ<sup>○</sup>レヨルニ出テモ互ニ一切殺シ合ヒガナカッタ。而テ反対ニアルクライトイバウルノ間ニ「戦争」ト云フ契約ガ成ルト、互ニイツ何処デ殺サレルカワカラナイノデ、漁ニサヘ遠ク出ル様ナ事ヲシナカッタノデアル。此ノ後ノ場合ニ「契約ガ破レタ」ト云フ意味デ、モロコ<sup>○</sup>ツ△ア エキルト云フノデアル。此処デアルコ<sup>△</sup>ールバイガ□モロコ<sup>○</sup>ツ△ ア エキルヲヤット云フノハ、アルコ<sup>△</sup>ールバイトア・イミリーキノ酋長ダカラデアル。因ニ其ノ姉ノテ<sup>△</sup>ルコ<sup>△</sup>ールバイハ有名ナ女デ、非常ニ強ク、エラカッタト云ハレル。デ昔カライミリーキデハ、女ガ強イ事ヲ誇トシ、戦争ノ時ハ女モ出ル事ヲ例トシタソウデアル。因ニ現ニ酋長家ノ称号ハテ<sup>△</sup>ルコ<sup>△</sup>ールバイト云フ云ハバ、女名ヲ名ノッテ居ルノデアル。)

アルコ<sup>△</sup>ールバイガアタ△・ラ イテ△ツ△ (ア・イバウルノ族) ニ殺サレタノヲ知ルト、姉ノテ<sup>△</sup>ルコ<sup>△</sup>ールバイハアラカ<sup>○</sup>マイスニ行キ、イテ△ツ△ノ女ガ田ニ行クノヲ、「向フニ火ガ燃エテ居ルガ何ダロウ、見ニ行カウ」トダマシテ連れ出シ、イミリーキニツレテ来タ。ソレカラ、カ<sup>△</sup>ラスマオニ遣ッテ Sacharatpūyūch (神々) ニ如何ニスレバイイカラ訪ネタ処、メレキヨクデ殺セト云フノデ、メレキヨクニツレテ来テ殺シタ。

テ<sup>△</sup>ルコ<sup>△</sup>ールバイハアルクライノ妻ニナッタ。テ<sup>△</sup>ルコ<sup>△</sup>ールバイハ或朝、ホラ貝ヲフイテ娘達ヲ集メ、二十人バカリデモコ<sup>△</sup>ルヲ組織シテ、先ヅアルモノク<sup>△</sup>イニ行ッタ。此ノモコ<sup>△</sup>ルノ一隊ハ小サナカ<sup>○</sup>リウウヲ胸高ニメメテ、下ノ方ハマル出シト云フイデタチデ、気心、態度スベテ其ノ意気デ手モツケラレナカッタノデ、アルモノク<sup>△</sup>イノエルウロン、マル□ソルガ沢山ノ金ヲ出シテヤット追ヒカヘシタ。今度ハオキ<sup>△</sup>ワルヘ出サウトシテ交渉スルト、オキ<sup>△</sup>ワルデハ前ノ事ヲ知ッテ居タノデ、酋長アクラン、女ノカ<sup>○</sup>ルヴベケ<sup>○</sup>ル長、オト<sup>○</sup>ロカウ<sup>○</sup>ガ相談シテ、コチラカラ呼ビニヤルカラ其ノ時来テクレト云ッテヤル。

而テ道ト云ハズ、アバイノ中迄スッカリアラムムク (ドブドロ) ニシテ置イテ、マルキヨクニモコ<sup>△</sup>ルヲ呼ビニヤッタ。

今度ハモコ<sup>△</sup>ル達ノ方デ寝ル事モ出来ズ、散々ナ目ニ逢ッテ帰ッタ…… 其後此ノ乱暴ナモコ<sup>△</sup>ルモ何処ニモ出ナカッタ。  
(a-Maṭharang-aṭh)

二十一日 晴レル。風止マズ。  
朝、子供達カプウイヲ切りニヤル。  
午後、六号ニ油絵ヲカク。晩、校長ノ処ヘ行ク。

〔番外に記す〕  
〔ア・イカ<sup>△</sup>スノ二人娘ノ話〕

ク<sup>△</sup>ルボサンノア・イカ<sup>△</sup>スト云家ニ<sup>97)</sup> 二人ノ娘ガアッタ。一人ハア・イミリーキニ、一人ハオキ<sup>△</sup>□ワルニ嫁イダ。オギワルニ行ッタ女ハ毎日神様ノ家ニ入ッテ遊ンデバカ

り居タ。亭主モ亦同ジ様ニ只々二人デ遊ンデ暮シテ居タ。ア・イミリーキノ方ノ女ハ、朝カラ晩迄働キ真黒ニナツテヨク働イタ。亭主モ全ジ様ニ終日働イテ、倦マナカッタ。亭主□ニハ一人ノ兄ガアッタガ、盲目ダツタノデ、二人ハ兄ノ処ニモ、キチンキチント食料ヲ運ンデヤリ、家ノ事カラ一切世話ヲシタ。或時亭主ガ海ニ魚ヲトリニ行クト、軽石ガ流レテ来タノデ、割ツテ見ルト、中カラアルビドールト云フ金ガ出タ。兄ノ所ニワケヲ話シテモツテ行クト、兄ハ話ヲキイテ、ソレハ星カラ来タ金ダト云フ。

ア・イカ△スノ家デ祝ガアルト云フ知ラセガ来タノデ、兄ノ処ニ行ツテ話ヲシ、一寸行ツテクルカラト云フト、兄ハア・レアン (棚) ニ竹ノ壺ガアルカラ、オロセト云フ。夫婦デオロシテ見ルト、ソノ壺ノ中ニ一パイ金ガ入ツテ居タ。兄ハソレヲ皆持タセテ、二人ヲウルボサンニ帰シテヤッタ。二人ハトモタ△ランノ池デ体ヲ洗ツテ、立派ナ腰□蓑ヲ着ケ、バスケニハアボウ々ヤア・カプイヲ沢山持ツテ家ニ帰ツタ。

オキ△ワルノ方ノ女ハ色バカリ白カッタガ、生家ニ祝ガアルト云フノニ持ツテ行ク金サヘナク、亭主ト其ノ為ニ喧嘩ヲシ、椰子ムキノ棒デナグラレテニツ迄瘤ヲデカシテ、汚ナイ腰蓑一ツデ命カラガラ逃ゲテ来タ。髪ハ乱レ足モドロマミレニナツテ家ニ帰り、皆ノ物笑ヒニナツタガ、ア・イミリーキノ方ノ女ハルバクノ仲間ニ入り、エビラタカラバスト云フカ<sup>○</sup>ル<sup>○</sup>ヅ<sup>○</sup>ベ<sup>○</sup>ケ<sup>○</sup>ル<sup>○</sup>ノ長ニナツタ。(a-Maṭharang-aṭh)

二十二日 風風ギ、晴レ。

朝、子供達、続キ、

午後、子供達、続キ、

[欄外に記す]

[カ△スールノ女酋長]

カ△スールニカ△ツ△ールト云フ女ガ<sup>98)</sup>アッタガ、非常ニ美人デアッタ為ニ女ノカ<sup>○</sup>ル<sup>○</sup>ヅ<sup>○</sup>ベ<sup>○</sup>ケ<sup>○</sup>ル<sup>○</sup>ノ者達カラソネマレ、仕方ナシニア・イミリーキニ行キ、サカライムールト云フ者ニマカ△リール (占) ヲシテ貫ヒニ行ツタガ、其ノ子供ト夫婦ニナリ (夫婦ト云ツテモ、モコ△ル式ダツタラシイ)、沢山ナ金ヲバスケニ一パイ貫ツテ、カ△ル<sup>○</sup>キ<sup>○</sup>ックルニ来テ、イル△テ△ルト云フ婆サンノ世話ニナツタ。

イル△テ△ルノ家ハ大変ニ貧シク、屋根モヤブレロクナゴザサヘ無カッタガ、女ハ其ノキタナイ蓆ノ中ニ金ヲカクシテ居タ。スルト、其ノ時カ△スールカラ戦争ガ来テケ△ル<sup>○</sup>キ<sup>○</sup>ックルハ散々ニ破ラレタ。其ノ時、カ△スールノモノヲ引ツレテ大将ニナツテ来タノガサカライムールダツタノデアル。

サカライムールハカ<sup>○</sup>ル<sup>○</sup>ヅ<sup>○</sup>ックルニ居テ、クリルウ(腕輪) ヲヌイテ、カ△スールノ者ニヤッタ。カ△スールノモノハ金ヲ出サナケレバナラナイ処ダガ、唯一人金ヲ持ツテ居ルモノガ無イノデ困ツテ居タ。

ソコデカ△ツ△ールハ汚ナイ腰蓑デ側ニ座ツテ居タガ、古イバスケカラ金ヲ出シテサカ

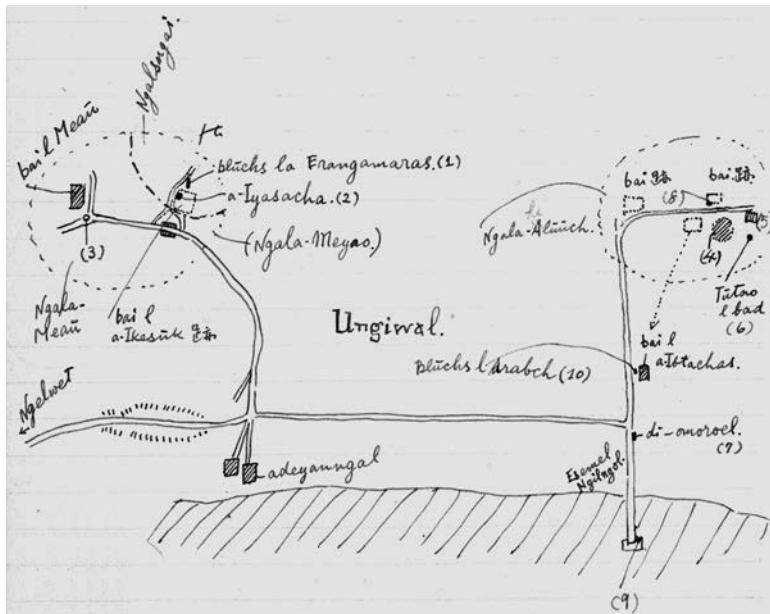
ライムールノ前ニ並ベテクリルウヲ買ヒ取ツタ。

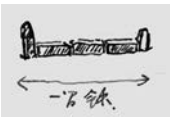
デ、カ<sup>△</sup>スールノカベケルニ乗セラレテ堂々トカ<sup>△</sup>スールニ帰り、更ニ沢山ノ金ヲ出シテア・バイヲ作ツテヤツタノデ、女ノ身デ男ノルバクノ仲間ニ入レラレタ。スルト、村長ノアラカラヤント云フ者ガ或時、カ<sup>△</sup>ツ<sup>△</sup>ールノ寝タ所ライタツラシタノデ、村長ヲ止メサセラレ、カ<sup>△</sup>ツ<sup>△</sup>ールガ女ノ身デ酋長ニ撰バレテ、アラカラボウト名ノッタ。昔カラパラオ中デ女ノ酋長ハカ<sup>△</sup>スールダケダト云ハレル。

(metharang-ath)


二十三日 日曜日 晴,

朝、杉浦君トアボト<sup>△</sup>コ、イツ<sup>△</sup>ップト一緒ニ新道ノ先ノ突堤ニ行ク。サイサンハ既ニカヌーヲモツテ迎ヘニ来テ居タノデ、直グ皆舟ニノリ、オギワルニ行ク<sup>99)</sup>。宿ル。



- (1)  エラカ<sup>△</sup>マラスノ墓、エラカ<sup>△</sup>マラスニ就イテハ長イ話ガアルノデ、後ニ書ク。

A

- (2)  俗ニ Onges l bad ト云ハレテ居ルガ、本当ハア・イヤサカ<sup>○</sup>ト呼バレル。Ngalbchūū (現廃村) ト戦争ヲシテ勝ッタノデ、全村カラ持ッテ来タノデアル。

B



デ現ニ a-Ibai ノ家が, tūtao ヲ支配スル事ニナツテ居ル。

(7)



di-omoroel ト云ハレル。

Baṭh l ūlchāū ノ築材ノーツデアッタノヲ, 此ノ前ヲ通ル時ニ  
エラカ<sup>△</sup>マラスガ引キトメテ, 夜ヲ明カシタノデ, 此処ニアル。

E

(8)(9)ハ共ニリーフノ大塊デアルガ, (8)ノ方ハ径三尺位ノ丸リーフソノママ, (9)ノ方ハ  
径六尺モアルモノデ, ヤップノバラン式ニ丸ク平タク削ツテアル。共ニカ<sup>△</sup>ラルド<sup>(ママ)</sup>ノ物  
ガ朝貢トシテ持ツテ来タ。

◎助役ノ知ツテ居タ Achwon ハ六代デ,

merongol

maṭheṭheril

a-Ichlūch

aūloīth

thilaterekeṭh

Bilūn

此ノ内, 最後ノ二人ハ女デ achwon ノ位ニ即イタモノデ, 女ノ achwon ノ事ヲ  
achwoṭhalachaṭh ト云フ。デ Bilūn ノ後ヲツイデ achwon ニナツタノガ, 現村長デア  
ル。

〔欄外に記す〕

[a-Imiyūns l bad]

一月二十九日ノ記ニアル, Mirāth ノ子ノ a Imiyūns l baṭh ハ今ハ Ngallao ノ廢村ニ  
アル。

昔, Ulwan ノ勢力ガ強クテ Almonogūi ハカナワナカッタ。Almonogūi ハ Ngallao  
ト Ulwan ニ頼ンデ, 助ケテモラッタ。其レデ Ngallao ノ者が a Imiyūns l baṭh ヲ自分  
達ノ村ニモツテ来タノダ。

二十四日 晴,

朝暗イウチニ, サイサンガ起シニ来ル。五時十五分過ぎ, 直チニ出, 六時頃波止場ニ  
着クト, □□□□ボソ<sup>△</sup>コヤイツ<sup>△</sup>ツッ達□ノカヌーハ既ニ出テシマツテ居ル。ヂキニ  
サイサンガカヌーヲモツテ来タガ, ホンノ一人ノリノ小サイカヌー, 併シ外ニ舟ガナイ  
ノデ, 兎モ角三人デノツテミル。アブナイガ, 波ガナイノデ, 無理シテ出ス。突堤ガ切

レルト、僅カナウネリニ水ヲカブツテ、忽チ沈ンデシマフ。三人デ泳イデ押シテ行カウトシタガ、オルクリールガ筏ヲモツテ来タノデ、自分ハ筏ニノリ、サイサン達ハアカラカヘテ、カヌーデコッチノ突堤迄ツケル。歩イテ□八時頃、帰ッテ来ル。

朝、子供達、続キ、

午後、先日ノ油絵ニ手ヲ入レ、□後、学校ニ行ク。

受信 三澤寛、川上親恒、大江安之介先生

〔欄外に記す〕

[Erangamaras ノ話]

(昨日ノ記(1)ニ就イテノ話デアル。)

昔、オキ<sup>△</sup>ワルハ弱クテ<sup>100)</sup>カ<sup>△</sup>ラルドノモノ□ニイツモ攻メラレタ——当時ハカ<sup>△</sup>ラルドハ今ノ所デナク、今ノオキ<sup>△</sup>ワルノ北ノ山ニ居タノデアル——カ<sup>△</sup>ラルドノ者ハオキ<sup>△</sup>ワルノ男ト云フ男ヲ皆殺シテ了ヒ、女バカリノ村ニシテシマツテ、男達ノ遊<sup>△</sup>ビ場位ヒニシテ了ツタ。而テ子供ガ生レルト男ノ見ハ直チニ殺シテシマツタノデ、オキ<sup>△</sup>ワルノ村ハ全ク女バカリニナツテシマツタ。時ニ一人ノ男ノ子が生レタノヲ村ノモノガ皆デカクシテ育テタガ、男ノ子ト云フ事ガ□ワカレバ忽チ殺サレルノデ、大キクナル迄全ク女ノ様ニシテ育テタ。此ノ子ハ Ngalsngai ト云フ所ノ (今墓ノアル附近デアル) Ngamaras ト云フ家ニ生レタノデ Erangamaras ト呼バレタガ、大キクナツテ只一ツ他ノ者ト變ッテ居タ事ハ、他ノ女達ハ皆大キクナルト、二ノ腕迄黥ヲスルノニ、自分ダケハイツマデモ手首ノ黥ダケシカシテクレナカッタ。ソレヲ不審ニ思ッテ或時母親ニソノ訳ヲ尋ネルト、前ノ様ナ次第デ自分ダケハ他ノ者達トチガツテ、「男」デアル事ガワカッタ。ソコデ今度ハ発奮シテ一生懸命ニピスカンノ稽古ヲシテ、強イ立派ナ男ニナツタ。而テカ<sup>△</sup>ラルドノ者ガ来ルトピスカンデ打殺シタ。ダガ、自分ガ只一人デアル事ヲ敵ニ知ラセ□ルノハ如何ニモ不利ナノデ、常ニ色々木ヤ草ノ葉ヲ纏ウテ、イツモ別人ノヨウニ見セカケテ居タ。カ<sup>△</sup>ラルドノ者ハ、何処カラ如何ニシテ急ニ沢山ノ男ガオキ<sup>△</sup>ワルニ湧イテ出タカラ不審ニ思ッタ。ヤガテスルウチニ、エラカ<sup>△</sup>マラスノ勇名ハハラオ全<sup>〔判〕</sup>罵ニ評<sup>〔判〕</sup>サレル様ニナツタ。

話變ッテ当時アンカ<sup>△</sup>ウルトベリリユートハ盛ニ交戦シタガ、当時ハアンカ<sup>△</sup>ウルノ方ガ強ク、其上、時アタカモ、アカ<sup>△</sup>ウルニハ Tēwith l chtor̄th ト云ハレタ七人ノ勇者ガアツタノデ、ベリリユーハ如何トモ勝身ガナカッタ。ベリリユーノ酋長ハ Obakaralūīth ト云ハレタガ、一人ノ息子ト一人ノ娘トガアツタ。其ノ一人息子サヘ Tēwith l chotor̄th ノ為ニ殺サレテ了ツタノデ、娘ノ Obiril ハ悲ミニ堪ヘナイト共ニ、何トデモシテ angāūl ヲ負カシタイ□モノト日夜思ヒナヤンデ居タ。其ノ時ニオギワルノ勇者エラカ<sup>△</sup>マラスノ噂ガオビリールノ耳ニ入ツタノデ、娘ハ单身オキ<sup>△</sup>ワルニ出カケテ来タ。

エラカ<sup>△</sup>マラスガ一人デ海岸デ椰子ノ皮ヲタタイテ居ルト、一人ノ女ガ舟ニノツテ来タノデ、何処カラ来タカト問フト、ベリリユーカラ来タト云フ。何シニ来タカト云フト、

エラカ<sup>△</sup>マラスト云フ人ヲ訪ネテ来タト云フ。エラカ<sup>△</sup>マラスハ大概何ノ用件デアルカ解ツタノデ、女ニ答ヘタ、「一寸此ノ椰子ノ維ヲ洗フカラ待チナサイ、エラカ<sup>△</sup>マラスノ所ニツレテ行ッテアゲルカラ」

デー緒ニ家ニ行ツタガ、女ヲ上ラセテ置イテ、自分ハ魚ノ肉ヲ刺身ノ様ニ切ツテ足ニハリ、結ハヘテカセクス（皮膚病）ノ様ニ見セ、ビッコヲ引イテ家ニ入ッテ娘ニ逢ヒ、自分がエラカ<sup>△</sup>マラスダガ何ノ用デ来ラレタカト訪ネル。スルト娘ハアンカ<sup>△</sup>ウルトベリリユートノ戦争ノ話ヲシ、只一人ノ兄サヘ殺サレタ事ヲ述ベテ、是非助ケテモラヒタイトタノンダ。エラカ<sup>△</sup>マラスハ足ヲ見セテ云フ、「私ハ決シテソナ強イモノデハナイ、ガ折角遠イ処ヲ来ラレタノダカラベリリユーマデオ送リスル事ニシヨウ」。

ベリリユーデハ村ノ者達ガ海辺ニ出テオビリールノ婦ルノヲ待ッテ居タガ、ツレテ来タ□□男ハカセクスノ見ニクイ男デアリ、アタカモ貼リツケタ魚ハ腐ッテ臭クナッテ居タノデ、皆ハオビリールニコナ男ヲ何ント思ッテツレ来タカト散々悪口シテ引上ゲテシマフ。娘モ今更ナガラ情ナクテ泣ク泣ク家ニ帰ッテ来ル。杖ヲツキ、カセクスノ足ヲ引ヅツテ来ル男ヲ見テハ、父ノ酋長モ只々失望シタガ、折角送ッテ来テクレタノダカラ、暫ラク居テ帰ッタラヨカロウト云フ。エラカ<sup>△</sup>マラスハ何クハヌ顔デ酋長ニタノンダ、「私モ戦争ノ有様ナリト見タイト思フカラ、敵ガ来タラカ<sup>△</sup>ルキョックル迄ツレテ行ッテ下サイ」、ソノウチニ、又<sup>(ノ脱)</sup>アカ<sup>△</sup>ウルカラ Tēwith l chothrth ガ来タト云フノデ、皆カ<sup>(理)</sup>ルキョックル迄出向ヘ□□テ戦フ用意ヲスル。ト皆岡ニ居ルノニ、エラカ<sup>△</sup>マラスハ一人デ海ニ入ッテ行ク。見ルト身ヲ洗ヒ、初メテ腐ッタ魚モトツテ綺麗ニナッテ上ッテ来ル。艶々ト滑ラカニ体中ガ光ッテ、木ノ葉デモ何デモ映ッタト云ハレル。愈Tēwith l chothrth ガ近ヅクト、皆ノ者ハ逃ゲテ了ツタガ、エラカ<sup>△</sup>マラスハ一人止マッテ向ツタ。七人ノモノガ<sup>換ル換ル</sup>□□□□交ル交ルナゲルピスカンヲ皆ウケトッテシマッテ、最後ニ自分ノピスカンヲトッテ七人ノモノヲ次々ニ殺シタ。一人ヲ殺ス時ニハ、

maīhal a bai l a-Ibtachas

(イブタカス ノ ア・バイノ前！)

トトナヘタト云フ、而テ更ニ一人一人ヲ殺ス度ニオキ<sup>△</sup>ウルノ名ヲ称ヘテ、次々ヘト殺シタト云フ。

村ノ女達ハ此ノ美シイ勇者ヲ取マイテ酋長ノ家ヘトオシカケテ来ル。酋長ハ今迄ノ粗末ヲ詫□ビテ、娘ノ婿ニナッテ貰フ。

エラカ<sup>△</sup>マラスノ<sup>昔 類ニハ</sup>□□□□アゴニハ一本ノ長イ髯ガアツタガ、伸バストー尋モアツタガ、ハナストチリチリト巻イテアゴノ下ニ玉ノ様ニナッタト云フ。結婚ヲスル時ニエラカ<sup>△</sup>マラスハ云ツタ。「此ノ髯ハ大事ナ髯デ私ハ此ノ髯ガヨゴレル様ナ事ヲコノマナイ、モシモ魚ノ汁デモ此ノ髯ニツク様ナ事ガアツタラ、何ンナ事ニナルカ知レナイカラ、サウ承知シテ貰ヒタイ」

二人ノ仲ハ睦マジカッタ。日ニ日ニ慣レテ□□行クニシタガヒ、女ハ始メニ云ハレタ髯



ノ事ヲ思ヒ、今ノウチトケタ事ヲ思ッテ、モウアノ髻ヲ汚シタ処デ大丈夫ダロウト思フ様ニナル。

或時エラカ<sup>△</sup>マラスガ食事ノ際、オカ<sup>△</sup>ルヲ上ゲテ魚ノ汁ヲ吸ハウトスル時、女ハフイニオカ<sup>△</sup>ルヲ持ち上ゲタ。髻ガ汚レタ。スルト忽チエラカ<sup>△</sup>マラスハオカ<sup>△</sup>ルヲ投ゲステテ云ツタ、「私ハオギワルヘ帰ル」

酋長親子ハ驚キ悔イテ沢山ノ金ヲ出シテ詫ビテ、止マル様ニトタノンダガ、エラカ<sup>△</sup>マラスノ心ハ動カナカッタ。「私ハ何モイラナイ、私ハ只、私ガ始メニ云ツタ様ニ今モスルダケダ」ト云ツテオキ<sup>△</sup>ワルニ帰ッテ了ツタ。

帰ロウトスル時ニ、妻ノオビリールヲ呼ンデ云ツタ。「今オ前ノ腹ニハ子供ガ居ル。ソレハ男ノ子ダ、生レタナラバ、テルメテウ<sup>△</sup>ト呼ブガイイ。ソレカラ一本ノ槍ヲ置イテ、之レハテルメテウ<sup>△</sup>ニヤル。大キクナッタラ此ノ槍ヲモツテアカ<sup>△</sup>ウルノ aülch ヲ取りニ行ケ。

子供ハ大キクナルトオキ<sup>△</sup>ワルニ来テ、父ニツイテ戦術ヲ学ンダ。而テベリリユーニ帰ルト直グニ angaül ヲセメニ行ツタ。angaül デハ皆ガ Olngis ト云フ家ニ集ツテ如何スレバ負ケナイカト mangaril (占) ヲシテ居タガ、mangaril ハ教ヘタ、戦ヘバソレダケ負ケルカラ、女ヲ二人ヤレト。

テルメテウ<sup>△</sup>ハ戦ハズシテ勝ツタ。Angaül ハ其ノ時カラ弱クナツタ——。✓

(15, 190 参照)

二十五日 晴，夕方一寸雨。

朝，子供達，続キ，

午後，子供達，遠足ニ行ッテ了ッテ留守，

夕方，稲氏ノ処ニ行ク。

∨ Erangamaras ガ産ンダ□オキ<sup>△</sup>ワルノ第二番目ノ男ノ子ガ Eraidikir デアルガ、此ノ子供ガ又強カッタノデ、親子シテオキ<sup>△</sup>ワルヲ盛ニシタ。神、Ngilongöl ト Erangamaras 父子トガ三人デ最初オキ<sup>△</sup>ワルヲ支配シタ。

□□□□□□□□□□□□

Ngilongöl ハ人間ノ姿ニナツテカ<sup>△</sup>ラルドニ行キ、何時々オキ<sup>△</sup>ワルニ行クガイイト教ヘ、オキ<sup>△</sup>ワルニ帰ッテ Erangamaras ニ何時々カ<sup>△</sup>ラルドノ者ガ来ルカラト教ヘタ。Erangamaras ハ待ち伏セシテカ<sup>△</sup>ラルドノ者ヲ殺シタ。

□□□ヤガテカ<sup>△</sup>ラルドノ者ハ勢力ヲ失ツタ。カ<sup>△</sup>ラルドノ者ハ朝貢シテ(8)(9)ノ様ナ海石ヲ運ンデ来タ。

ア・カ<sup>○</sup>ラップノ者ガ a büt トシテ (貢ノ様ナモノ) 魚ヲ mekiok ニ持ッテ行ク事ニ



ナッテ居タガ、或時オギワルノ前デ汐ガナクナッテ舟ヲ止メタ。Eraidikîr ガ此ノ a bût ハ何処ニモッテ行クノカト尋ネルト、melekiok ニ持ッテ行クノダト云フ。ヨロシイ、ト云ッテ Eraidikîr ハ其ノ中ノニツノ魚ヲトツタ。ア・カ<sup>○</sup>ラップノモノハ melekiok ニ行ッテ事ノ次第ヲ話シ、其ノ取ラレタニツノ魚ノ分□□ニ対シテモ金ヲメグンデクレトタノンダ。Alklai ガ云フニハ、「ヨロシイ、金ハヤル、ソレカラ是レカラハオキ<sup>△</sup>ワルノモノガ a bût ヲ持ッテ来ルダロウカラ、オ前達ハモッテ来ナイデイイ」

後直ギニ<sup>(ク)</sup> melekiok カラ使ガ来テ、是レカラハ a bût ヲオキ<sup>△</sup>ワルカラ持ッテ来イト云ッテ来ル。Eraidikîr ハ自分ハ魚ガ取レナイノデ、Ngelongöl ガカ<sup>△</sup>ラルドニ行ッテハ戦争ヲ誘ヒ出シ、Eraidikîr ガ之ヲ殺シテ、魚ト全ジニ a bût トシテ melekiok ニ持ッテ行ッタ。斯ウシテカ<sup>△</sup>ラルドノ各村ノ者ヲ一人ツツ殺シテモッテ行ッタガ、最後ニハ別ニア・カ<sup>○</sup>ラップ<sup>(ママ)</sup>ノ者九人ヲ殺シテモッテ行ッタト云フ。

《amiyaka el a Tilai》

(カ<sup>△</sup>ラルド人名)

二十六日 晴,

朝, 子供達, 続キ

午後, 永田氏カラタノマレテ居タ油絵,

受信 土方梅子, 金井新吉,

発信 〃 〃 三島通陽

〔欄外に記す〕

[Tangadek, 占, ウドウド]

パラオニハ□□□□ tangadek (或ハ tangade-dek カワセミ) ノ鳴キ方ニヨッテ占ヒヲスル古習ガアル。

昔カヤンカ<sup>△</sup>ルニカ<sup>△</sup>ルヅブール, アラルールト云フ二人ノ友達ガアッタガ, 二人ガ始メテカ<sup>△</sup>デッキヲ使ヒ者ニシタ。(ソレ迄ハパラオニタカ<sup>△</sup>デッキガ居ナカッタト云フ) tangadek ニハ, 少シ大キイノト稍小サイノト二種アルガ, 小サイ方ノガ二人ノ a-chalm デアッタノデ, 大キイ方ノハ□□二人ガ木デハツツテアソндаモノダト云ハレ, パラオノモノハ小サイ方ノ鳴音ハ本當ニスルガ, 大キイ方ノ云フ事ハキカナイ。

或日, 海岸デタカ<sup>△</sup>デッキガ鳴イテ居タノヲキクト, カ<sup>△</sup>ルール (ヤップノ離島) カラ舟ガ来ルト云フ。又或日聞イテ居ルト, オルワンカ<sup>△</sup>ルカラ舟ガ来ルト云フ。デ海岸ニ出テ居ルト, カブルーク<sup>○</sup> (大カヌー) デカ<sup>△</sup>ルールトオルワンカ<sup>△</sup>ルト両方カラ舟ガ来タ。デ自分達モ舟ニ□乗ッテ皆デ漁ヲシタガ, 魚ガーツモ取レナイノデ, 海デー晩泊ッタ。スルト, コ<sup>△</sup>ロットノ寫 (タマカイノ背) ニノシ上ゲタ。ソコデパラオノウドウドヲスパロニーバイ取ッタ。ソレカラ漁シタモノガ, バラントアルーツ<sup>△</sup>ル (烏帽子貝) ト

a-chasiū (蝶貝) ト、ソレカラバナナダッタ。帰ッテ来テ酋長ノカ<sup>△</sup>ルドコ<sup>○</sup>ールノ家デ漁ノモノヲ別ケタガ、カ<sup>△</sup>ルールカラ来タモノハ、バ<sup>ラ</sup>ントア・カシウトシストヲ取ッタ。今モバ<sup>ラ</sup>ントア・カシウトガヤップノ貨ニナツテ居ル。オルワンカ<sup>△</sup>ルノモノハパ<sup>ラ</sup>ウノア・ウドウドヲ取ッタガ、カ<sup>△</sup>ルドコ<sup>○</sup>ールノ子供ガ皮膚病ノキタナイ子供ダッタノデ——クエイト云フ名ダッタ——スパロカラ少シバ□カリ投ゲアタヘテ帰ッタト云フ。而テカヤンカ<sup>△</sup>ルノワケマヘハバナナトシスデアッタ。(クエイ [16. 7 参照] ト云フノハナリシボ<sup>ー</sup>ノ意デアル)。

クエイハカ<sup>○</sup>イシャルノルバクノ家ニモラハレテ行ッタガ、キタナイノデ別ノ家ニスマハセテ居タ。ルバクガ金ガ要ルト此ノキタナイ子供ガ金ヲツツツクレタガ、後クエイハイヤニナツテ、今度ハ a-Ibchl ノエラソアルト云フ婆サンノ処ニ世話ニナリ、此処デモ婆サンガ金ガイルトヤッタト云フ。

(meṭharang-aṭh 談)

二十七日 晴,  
朝, 子供達, 続キ,

〔欄外に記す〕

[Ngaltok l Alklai]

Ngaltok l alklai ト云ハレハ、ナカナカ偉イ alklai ガアッタ。其ノ子供 [弟] ガ achasel ノ albeshi ト云フ家ニ居タガ、Ochül a kiṭhl (Bai l melekiok ノ旧名) ヘ a Imilik カラ mongol ガ来テ居タノデ、頭ノ虱ヲ見テクレト云ツテ mongol ニ見サセタ。スルト女ガ白髪ヲ一本見ツケタ。デ、ソレヲ父 [兄] ノ alklai ノ所ニ持タセテヤッタ。Ngaltok l alklai ハ其レヲ見テ黙ツテ a Imilik ノ妻ノ□□□□家ニ行ツテシマッタ。一週間タツテモ帰ラナイノデ子供ガ迎□ヘニヤルト、alklai ハ Ngelwicl 迄皆ニツレテ来ラレタガ、□ Tülchodan ト云フ人ノ家ニ行ツテ、自分ノ家ヲ作ラセテ、自分ハ隠居シテ了ツテ、一生 Erachomaran (第二ルバクノ称) ニナツテ過シタ。デ子供 [弟] ハ alklai ニナツタ。デ Erachomaran ガ死ンダ時ハ死体ヲ a Udüs ニ持ッテ来テ葬ッタト云フ。

□ 隠居シタ家ハ Tachamel ト云ハレタ。 (a meṭharang-aṭh)

〔欄外に記す〕

[Shimms]

十八日ノ所ニ書イタオコンカ<sup>△</sup>ルノ話ノ中ニ shimms ト云フ言葉ガアッタガ、ヨクワカラナイノデオギワルノ助役ア・カ<sup>△</sup>ワックルニ聞イテミタ。

shimms ト云フノハ何ノ事カワカラナイ。自分ノキイタ処デハ、a Ibadül ハ brütık (小サイカヌ<sup>ー</sup>ノ競漕) ニタトヘタノダッタ。ト云フノハ、alklai ノ家ニドンナ大キナ金ガ

アルカ見タカッタノデ、Tolūk ノ中ニ水ヲイレテ金ヲ入レ——ツマリ金ヲ小サイカヌー  
ニ見ナシテ brūtk ヲシタイガ、オ前モカヌー（金）ヲ□□□□□出シテ見ロト云フ意ダ  
ッタノダ。ソレデオコンラカ△ルハマルキヨクニ帰ッテ来テ老婆ヲオドシテ大キイ金ヲ  
持ッテ行ツタガ、a Ibadūl ガ見ルト、今度ハ自分ノ方ニ其レヨリモ大キナ金ガナカッタ  
ト云ハレル。

二十八日 晴、

朝、子供達、続キ、

夕方、オケル、ピソップト運動。機械体操ヨリトビ、ソツタ拍子ニ腰ノ筋ヲドウカシ、  
痛ミ堪エズ、校長ノ処ニ行キ、其ママ寝ル。□疼痛ノ為脳□貧血ヲトモナヒシヲ以テ其  
ママ宿ル。

□□□□

### 三月

一日 晴、夕刻、驟雨。

腰痛ク立テズ、終日寝カセテ貰フ。

二日 日曜日 曇、一時晴、驟雨モアリ。

腰痛トレズ、夕方迄ゴロゴロシ、夕刻風呂ヲ浴□ビテ家ニ帰ル。

〔欄外に記す〕

〔(旧慣) Kaldbekel〕

先日、オギワルニ行ツタ時、昔ノア・バイト家トノ関係並ニ□カ<sup>○</sup>ル<sup>○</sup>ヅ<sup>○</sup>ベケ<sup>○</sup>ルノ組織  
ニツイテ聞イテ見タガ、確リシタ事ワカラズ、断片的ナ事一ツツダガ書キトメテオク。

助役 [ア・カ<sup>△</sup>ワックル] ガ若イ時ニハ、男ノ Kaldbekel ガ四ツアツタ。

名称ハ

Ngala Seb

Ngala Kataū

Ngala būthkelei

Ngala chocha<sup>tho</sup>

〔欄外に記す〕

〔〔26ノ73頁〕ヲ見ヨ〕

是等ノ Kaldbekel ハ老ヨリ漸次若ニ及ンデ居ルノデアアルガ、最初ニ出来タ——ツマリ  
現在最モ老人達ノモノガ、人ガ死ンダリ老朽シタリシテ瓦解スルト、次ノ組ガ頭ニナリ、  
最後ノ下ニ更ニ若イモノ達ノ Kaldbekel ヲ作ツタノデ、Ngala Seb ガ亡ビルト共ニ、  
Ngala ol ト云フノガ出来タ。其ノ時分ハ人多カッタノデ、Ngala ol ガ出来タ時ノ会

員ノ年□齡ハ二十五六位ヒダッタ。

〔×を附す〕

一ツノ Kaldbekel ガ新ラシク出来ルト、其ノ新ラシク出来タ Kaldbekel ハ総出デ海ニ漁ニ出ル。ガ是レハ実ハ漁ガ目ノデハナクテ、新ラシイ Kaldbekel ガ出来タ事ノ披露ナノデアル。デ魚ヲ取ルヨリハ人ヲ探スノデアル。デ折ヨク人が出テ居タナラバ、追ヒカケテ行ッテ殺シテ首ヲトッテ帰り、盛ナ踊ガ催サレルノデアル。

— Kaldbekel ノ団員ハ揃ヒノ入〔ママ〕黥ヲスル事ガアル。此ノ黥ノ場合ニモ他村ノモノヲ殺シ、踊ヲモッテ友朋〔邦〕ヲマハッテ披露スル。腕ノ黥ハ年齢ニ達スルト入レルノデアルガ、脚部ノ黥ハ此ノ Kaldbekel ノ徴デアル。

〔欄外に記す〕

[mongol, a-brorobl]

バイニハ、mongol ノ外ニ a-brorobl ト云フ女ガアッタ。mongol ハーバイニ一人乃至二人、a-brorobl ハーバイニ就イテ七人乃至十人位アッタ。此ノ mongol ト a-brorobl トノ相異ハ判然シナイガ、芸者ト女郎位ヒノ差ガアッタモノデハアルマイカ、尤モ貞操觀念ト云フ様ナモノガ全然ナカッタノダカラ、實際上ニハドレダケノ相異ガアッタカ、無カッタノカ？ 兎モ角 mongol ノ食料ハ男カラ出、a-brorobl ノ食料ハ女ノ Kaldbekel カラ出ルノヲ通則トシタト云ヒ、mongol ガ他村ニ出テ得ル金ハ mongol ノモノ（多クハ父ノモノ）トナリ、a-brorobl ノ団体ガ他村ニ出テ得ル金ハ村ノモノデアッタト云フ。

三日 曇，一時晴，一時雨。

朝，子供達，続キ，

四日 晴，

朝，子供達，続キ，

午後，子供達，続キ，

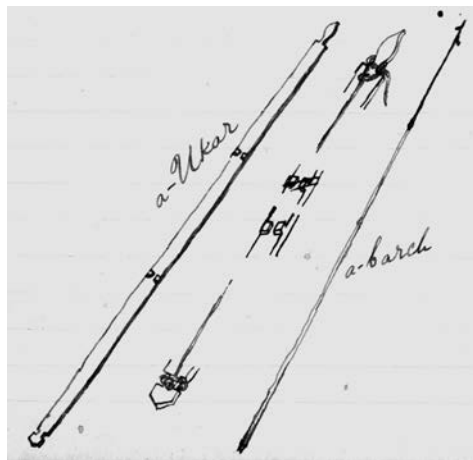
夕方，校長サンノ処へ，竹内氏来。

晩，大寫サンガ見舞ニ来ル。

イブライノ親父ガ弓ヲ持ッテ居タノデ，持ッテ来テ見セテモラフ。

弓ハマングローブノ一種，高イ枝カラオリ□ル根，幅六分，厚四分位角棒，絃，榕樹ノ皮ヲナッタモノ。矢ハ細イ女竹，先八寸程鉄針。

弓長一米内外，矢丈一本ハ丁度弓長ニ全ジク，他ノ一本ハ稍長シ。専ラ鳩ヲウツニ用ウ。



Tobecl

五日 晴,

朝, 子供達, 続キ,

午後, 簡単ナスケッチラー二枚トリタイト思ッテ出カケタ処, 天理教ノ前ヲ通ツタラ呼ビトメラレテ, 一時間モ話シテカラ出, バイ・ル・マルキョクカラ裏ニ出, ウルボサンニ下リ, 海岸カラ廻ッテ帰ッテ来ル。

六日 晴,

朝, 子供達, 続キ,

午後, 子供達, 再ビ, 板, 平彫

晩, エラサカツ△イノ処ヘ行き, □□□トモダツツ〇ノ事ヲキイテミタガ, アマリ伝記のノ事ハワカラナイ。

七日 晴, 日暮前, 驟雨。

朝, 子供達, 続キ,

午後二時頃ヨリ, ウルボサンニ行ク。家々ヲ一軒一軒歩イタガ, 昨日カラボラ取りニ出ハラッテ, 村ニハ女子供バカ□リ, オカ△ルトブークヲ一枚ヅツ買ッテ帰ル。

八日 曇, 雨, 晴,

朝, 子供達, 続キ,

午後, 子供達, 続キ,

四時半, 飯ヲ食ッテ, イラロイス, ルエマヲツレテ出カケル。カイシャルニ入ッタ<sup>101)</sup>ラタ暮ニナツタガ, 更ニ行き, カ△ラカソウデ日ガ暮レタガ, アツ△イヲトモシテカ△ラカ△サン迄入り, 罵民ノ家ニ宿ル。

九日 日曜日 晴

朝, □小宮山君ノ処ニ呼バレテ食事, 直チニ立発,<sup>[ママ]</sup> カ△スールニ入ル。村長エラソツプニ逢ッテ少シ話ヲキイタガ, <sup>[生]</sup>相憎エラソツハオコラオルデマルキョクニ行ツタノデ, ルエマニ案内シテ貰ッテ Ngatmachalノ旧村ヲ見ニ行き, 十一時半下リ, □ルエマノ処ニテ昼食。暫ク休ンデカラ a-mūlonニ行き, 老人ノ家ニ行ッテ少シ話ヲキキ, 引カヘシテ来ル。カ△ラウスノハツレノア・カブルクノ家デー寸休ンデ話ヲキキ, ゲルウイックルニ入ッテエラオゴリブルノ処デー寸休ミ, 日暮, 月影ヲフンデ帰ッテクル。校長ノ処ニバスヲアビニ行ク。

ミラツ△ノ生ンダ村,

Melekiok

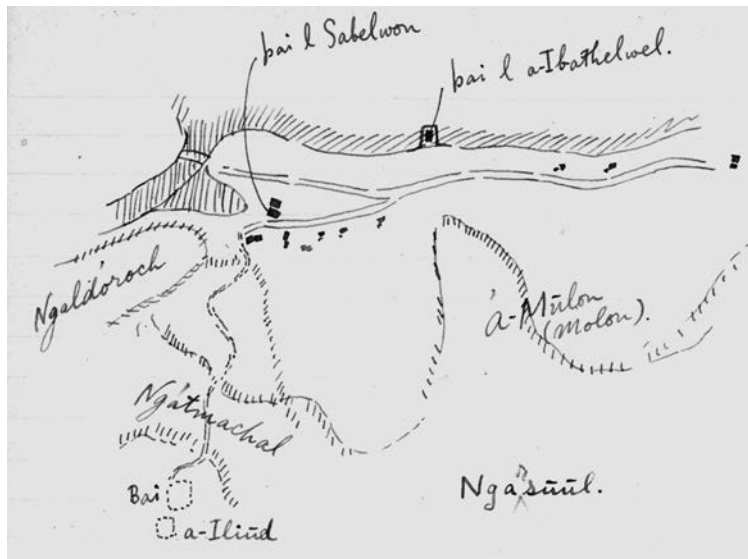
Choleol mkūtti a bai 傍,  
 a-Imirīk ngalcheai 鍋ノ石  
 Ngabiūl (alcoholon)  
 a- Imiyūns

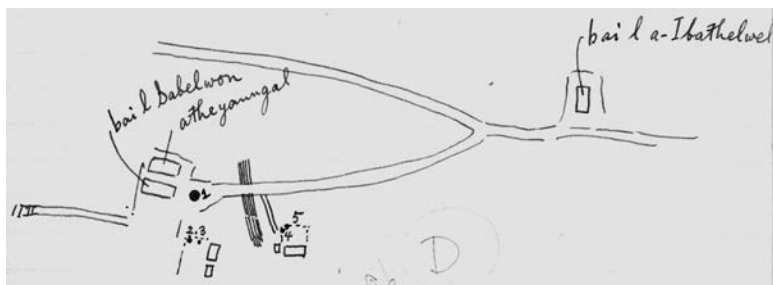
クワップノ生ダ村

|           |           |               |
|-----------|-----------|---------------|
| Ngūlsal   |           | Chonlei       |
| Ngalmīth  |           | Ngeraūs       |
| a- Ineūl  |           | Ngalachabūchl |
| Ngalochol | (Periliū) | ○Ngaminngel   |
| Ngalwikl  |           | ○Ngaldoroch   |
| Uliman    |           | ○mūlon        |
| Achōl     |           | ○Ngarangasan  |

天カラ降ロシタ村

□□□□□□ □□□□□□ Ngardoboch (Natpan)  
 Ngatmel (alcoholon)  
 Ngaliyap (Peliriū)  
 Ngelamms (melekiok)





1. ハ大木ノ根元ノ洞ノ口ニ石 [17, 166] <sup>〔欄外に記す〕</sup> ガーツフサガッテ居ルガ、此ノ石ノ中ノ洞ニ Klīthm ガーツアルノダソウデ、Meyai l bañh ト云ハレ、Obach a la mchūū ガ持ッテ来タモノト伝ヘラレル。

2.

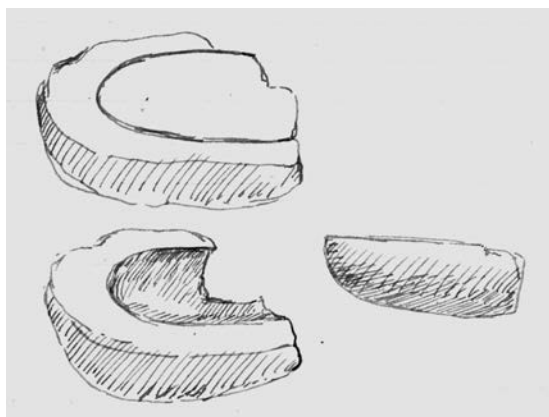


Tkeyok-esūūl ト云ハレル、

3.



4.



a-ñhem

5. 二尺程ノ立石デアルガ、Klīthm ダッタノガヘッタノダト云ハレル。a-lliwei ト呼バレル女神デ、ongil klobosei ノ時ニハ、常ニ食物ヲ捧ゲラレタト云ハレル。

Ngatmachal ノ旧村ハ高イ山ノ頂上デアルガ、エラソップノ家ノ裏カラ上ッテ行クト、細イナガラニ石デ道ガ作ラレテ居リ、上ニハ bai 跡ノ Kaldükl ガアリ、傍ニ a-Iliüd ガ全ジク石デ畳マレテ居ル。此ノ奥ニ立石ガアルソウダガ、エラソップガ居ナカッタノデワカラズ、尚 a-mūlon ノ山ニモ三ツノ Klithm ガアルソウダガ、是レモ所在ガワカラナカッタ。

十日 晴、  
朝、子供達、続キ、

〔欄外に記す〕  
〔プロコノ話〕

ペリリユーノカノコロトカノシヤトノ間ニ<sup>102)</sup> Omiyotl ト云フ処ガアルガ、昔、其処デ鳩ガ女ノ子ヲ産ンダ。ソレヲ、カノコロノ者（〔欄外に記す〕）ガ育テタ。其処ヘアルノクノイノエルノロンガクノクノタノウル（〔Rūbak ノ村訪問〕□□□□□□□□□□）ヲ率キテ行ッテ、踊ガアッタ。カノコロノ者ハ金ヲヤルニ金ガナカッタ。其時其ノ女ノ子ガオルノメルト云フ金ヲ出シタガ、エルノロンハ受ケ取ラナイデ、帰ッテ来タ。スルト、其ノ女ガ鳩ニナッテエルノロンノ後ヲ舞ッテ来テカノルノミノシノカノンノクノスノネノ森ニ入ッタ。而テ其処デ卵ヲ生ンダノヲ、カノルノミノシノカノンノ婆ノサンガ拾ッテ食ベヨウト思ッテトッテ置イテ忘レテシマッタ。スルト、其ノ卵カラ又女ノ子ガ生レタ。其ノ子ハ大キクナッテ立派ナ女ニナッタ。其処ヘエルノロンガ遊ビニ来テ、夫婦ノ約束ヲシテカノイノバノクノルヲ形身トシテ置イテ行ッタ。

其後エルノロンガカノイノシノヤノルニ行ッテア・バイニ宿ルト、鳩ガバイノ屋根ニトマッテ番ヲシタ。其時エルノロンノ身ハ鳩ノ匂ヒガシタト云ハレル。

又エルノロンガコノロノルニ行ッタガ、内所<sup>〔諸〕</sup>デコノロノルノ女ト寝タ。スルト、鳩ノ女ガ来テ〔ア・バカ<sup>〇</sup>ル〕アノバノカノルト云フ大キナ金ヲ渡シテ、自分ハ泣イテ鳩ニナッテ帰ッテ行ッタ。  
(ngasinūil, amūln ノ爺)

十一日 晴、  
朝、子供達、色着ケ  
午後、子供達、色着ケ

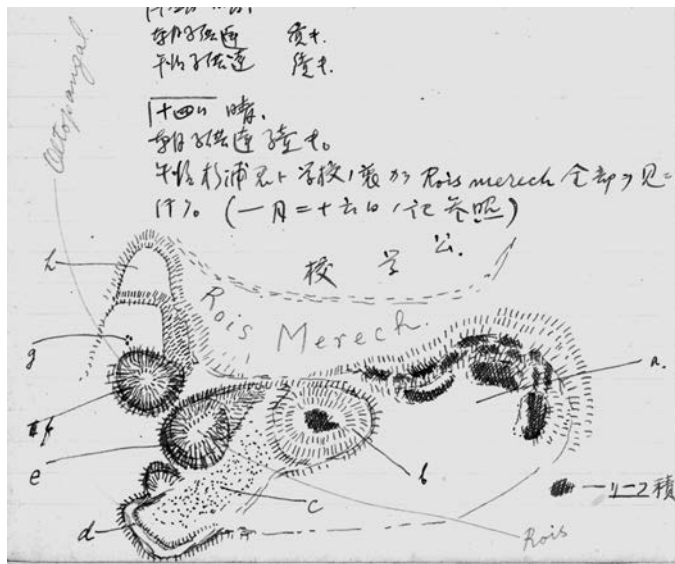
十二日 晴、  
朝、子供達、続キ、  
午後、オカノルニ油絵、




十三日 晴,  
朝, 子供達, 続キ,  
午後, 子供達, 続キ,

十四日 晴,  
朝, 子供達, 続キ。

午後, 杉浦君ト学校ノ裏カラ Rois merech 全部ヲ見ニ行ク<sup>103)</sup>。(一月二十六日ノ記, 参照)



学校ノ裏カラ廻ッテ, 先ヅ a ノ部カラ見テ行ッタノデアアルガ, 図ノ様ニ三ヶ所ニリーフガ大キク敷キツメラレテ居リ, ソレカラ山ノ傾斜面ニ傾斜ナリニ崩レ落チタ様ニ盛ニリーフガアル。ガ, 是等ノ□部分部分ニハ明ラカニ積ミ上ゲラレタ原形ガウカガハレル。デ是レハ山ノ形ナリニ階段形ニ  スシナ風ニツマレテ居タモノト思ハ□レル。其レカラ b ノ部ハ更ニ稍摺鉢形ニ山ニナッテ居ルガ, 此ノ頂ニモ亦リーフガ敷キツメラレテ居ル。兎モ角, 是等ノリーフノ量ハナカナカ大変ナモノデアアル。

タラタラト b カラ c ノ部ニ降リルト, 此処ハ不自然ニ一体ニ凹ンデ居リ, d ノ部ハ稍角形ニ堤ヲメグラシテアリ, d ノ外側ハ急傾斜ヲナシテ降り, 裏ノアケツニ続イテ居ルノデアアル。



ツマリ図ノ様ナ断面ヲ有スル訳ダ。

ソレカラ e ノ部ハ急傾斜ナ築山デ, 頂ハ一坪位ヒシカナイ小サナモノダガ, 図ノ様ニ一方(東?)ニ向ッテ芋ノシッポノ様ナ形ニナリ, 緩勾配ヲ呈シテ居ル。此ノ頂ヲ<sup>掘</sup>テ少シ掘ッテ見タガ, □築山ラシイ柔ラカイ赤土デ何

ニモナイ。恐ラク c ノ凹ンダ土ガ此ノ山ト、 d ノ堤トニ持ッテ行カレタモノダロウト思ハレル。 e ト d トノ間ハ同ジク急斜面ノ小谷ニナッテ居リ、 e ノ麓ニソイテ廻ルト、同ジ小谷ヲヘダテテ f ハ全ク独立シタ小山ニナッテ居ルノデ、 f ノ頭ハ e ト畧全ジ様、 g ノ処ハ一段低クテ平面ヲナシテ居リ、 図ノ処ニ Tētheimuūngūt ノ手足ト云ハレル石ガイクツカアルノデアルガ、 是レハ元ハ小サナカルヴックルニナッテ居タノデハナイカト思ハレル。更ニ h ガ一段低イ平面ヲナシテ居ルガ、 此等ノウチ、 c ノ一部カラ d、 g 及 h ガアケツヲナシテ居ッテ、 他ハ樹木ガ盛ニシゲッテ居ルノデアル。 a、 b ニハ大木ガアルガ、 イヅレモ其ノ根ハリーフヲマキコンデ居ルノデ、 是等ノ木ハリーフノ積敷ノ後ニ生エタモノデアル事ガワカル。

此ノ全部ヲ Rois merech ト云フノデアルガ、 f ノ部ガ Othalmerech ノ山デ、 e ハ後ニ thila melekiok (Mle-el) 女神ニ分ケ与ヘラレタモノダト云ハレルノデ□アル。

色ンナ想像ガ出来ルノデアルガ、 今少シ似タ様ナモノニブツカッテカラ考ヘテ見タイ。 Roisan ノ頂ニモリーフガ敷キツメテアル事モ同ジモノデアルト思ハレル。

十五日 晴、

朝、子供達、続キ、最後ノ一品、

午後、子供達、椰子殻取ツケ物立テ。

夕方、校長宅ニバス。コロールヨリ文書来テ、四月ヨリコロールニテ講習ト決定。

〔欄外に記す〕  
[受信 江波知彰、三島章道]

十六日 日曜日 晴、

朝食後、直チニ元ノアルクライノ処ニ行キ話ヲキク。後一緒ニ出ル。スグ裏ノコワレタアバイ (a Mel bai) ノ側ニ Mangan-achūi ノ石<sup>104)</sup> ガアル。

Mangan-a-chūi



其レカラ Bai I Melekiok ニ行ッテ又話ヲ聞キ、 Ngūlreyong ノ Bsoyocho ノ石<sup>105)</sup> ヲ見ル。是レハ大キナ自然石デアル。

昼前、爺サント別レテ Ngilchnḡil ノ所ニ行ク。mesekiū ノ皮ノ腰糞紐ガアッタノデ、 □買ッテ来ル。

a-Tchūl



tchallek (tachanlek)

tchallem (tachanlem)

帰りニ又、元ノ alk lai ノ処ニヨッタラ、婆サンガ□□□□□□□□ Orīyuch-rūbak  
ヲクレタ。

午後、婆サン来ル。話ヲキク。

晩、爺サン (元 alk lai)、婆サント、エラサカツ△イトキンタロート来ル。話。

十七日 晴、

朝、子供達、続キ、

午後ハ、昨晚ノ話ノ整理、

晩、a-Rūl (元 alk lai) ガ来ル。又、話。

十八日 晴

朝、子供達、続キ、

午後、子供達、続キ、

十九日 晴、

朝、子供達、続キ、

二十日 晴、

朝、子供達、続キ、

午後、子供達、物立終リ、

二十一日 春季皇霊祭 晴、

〔欄外に記す〕  
[カ△ルドック]

今日ハ皆デ Ngaldok ノ湖ニ行ク<sup>106)</sup> 事ニナツテ居タ。デ大工サンニ弁当ヲ作ッテ貰ッ  
テ、集ッタ連中ト早々出カケタ。クルクルノ突堤ニ行ク新道ヲウルリヤンカラガブルク  
ニ過ギテ行クト、太陽ハ高クナツテギラギラト光ヲマシタ。十四五人ノ罵民達ハフザケ  
タリ、サワイダリシテ後ニナリ先ニナツテ行ク。テ△ツ△ルミイヤカ° (iēhlmīyach)  
カラ暫ラク行ッテ、前ニブラキヨスヲ切りニ来タ森ニ入ッテ行ク。此ノ森デ或ル者達ハ  
テンデニ手頃ナ枯竹ヲキツテカツイデ行ク。径四寸位ヒナ、長サ七・八尺位ヒナ竹ヲ。

登リツメテ此ノ暗イ森ヲヌケルト、私達ハ急ニ目ノサメル様ナアケツニ出ル。蔭モナ  
イ、緑ノ草トカサカサニ乾イタ、丈ノ低イ菌朶ノ類トノ中ニ、躑躅ノ様ナ灌木ノ類ガ続  
ク間ヲ、石ノ様ナ赤土ノ道ガウネウネト続イテ行ク。天気ノイイ日ノアケツノ眺ハイツ

見タッテ美シイ。崩レ落チタ山腹ノ赭土ノ色ノ焦ゲタ様ナ赤、ソレヲトリマク一面ノ緑、ドコ迄行ッテモアル斑ラナ蜻ノ樹トワヅカナ灌木ノ群、其ノ上ニ実ニ開ケッ□放シノ吸ヒ込ム様ナ濃イ青空、青空ニチギレテ浮ブ、マブシイ様ナ白イ雲ノ塊リ。静カナ大キサノ中ニ、ワレワレノ声ガ口ノ先カラ出ルダケデ、消エテ行ク。其レトモ残ッテ行クノカシラン。静ケサノ中ニ遠鳴ノ様ナササヤカナ悲シサガ残ッテ行クノカシラン。歌ッテモ叫ンデモアケツノ寂ケサハ決して破レナイ。ソंनाアケツノ上リ降りスルウネリ道ヲ、何一ツ考ヘナイ島民達ノ一群ガ鳥ノ様ニ喋リツツケナガラ、跳ネル様ニ軽々ト歩イテ行ク。見エタリカクレタリシナガラ。ソंनाアケツニ「誰カ火ヲツケタ!」、見ルト目ノ先ノフクラミノ向フニ煙ガ上ッテ□居ル。近ヅクニシタガッテ、パチパチト乾イタ草ノ燃エル音ガシテクル。一月モ降ラナカッタアケツノ草ハ、風ヲオコシテゴウゴウト燃エヒロガッテ行ク。青イ草ノ中ニ黄色イ焰ガ渦ヲマイテ這ッテ行ク。焰ハスグニ白イ煙トナッテモツレル様ニ飛デ行ク。其ノ煙ニ昼前ノ強イ日ガ照リツケテ濃イ陰影ヲノ□タウタセル。アケツノ静ケサハ、少シモ動カナイ、云ハバ懐ノ中ニ蟲デモ這ッテ居ルノダロウ。又!、又々! 私達ノ前ニハ次カラ次ヘト煙ガ上リ、乾キキツタ齒朶ノ類、青草ノ類ガパチパチトハヂケテ燃エヒロガル。処々私達ハムウムウスル煙ノ中ヲ走ッテ通ラナケレバナラナイ。

ダガ私達ハチキニ□□□□□ Engol ノアケツニ出タ。モウ Ngaldok ハ近イ。Engol ノアケツニハ□道ノ傍ニ、渦岩ノ上部ガ風化シ去ッテ、黄色イ岩土ガ径三四尺ニ渦ヲマイテ居ルノ□ガ三ツ四ツアル。寫民達ハ是レニ就イテ斯ナ事ヲ話ス。是レハ Olūikkī (バスケット) デ、コレハ a ngark (芋ヲキル貝包丁) デ、コレハ a Longōl (田ニ行ク時背中ニカブル蜻ノ葉ノ編物) デス。

昔、ブリサンニ一人ノ婆サンガ居テ、此ノ Ngaldok ニ田圃ヲ作ッテ居マシタガ——昔ハ是ノ Ngaldok ハ一面ノ田圃ダッタノデス——イツモ娘ニ云フニハ、田ニ行ッたら決シテ「大キナ田圃」ト云ッテハイケナイ、ト云フノデス。娘ハ或時不思議デシカタガナイノデ、「大キナ田圃」ト云ッテ見タノデスガ、ソウスルト忽チ田圃ニハドン水ガ出テ、今ノ□湖ニナッテシマヒマシタ。

此ノ話ハ色々ニ伝ヘラレルガ、皆一ツ話ノ変ジタモノデ、此ノ水ノ少ナイパラオニ珍ラシイ此ノ豊富ナ水ニ就イテ、何トカ説明シヨウトシタモノデアル。

ブリサンノ婆サンニハ二人ノ娘ガアッタガ、イツモ婆サンハ娘達ニ向ッテ、田圃ニ行ッタナラバ、帰ル時ニハ決シテ後ヲ見テハイケナイト断ク云フノダッタ。娘達ハ何ウシテ後ヲ振り向イテハイケナイノダロウトイツモ考ヘタ。或日妹ノ方ガ田圃ノ帰リニ振りカヘッテ見タ。スルト自分ガ今ノ今ツクッテ来タ田圃ニ大渦ガ巻イテ居テ、芋モ何モスツカリ其ノ渦ノ中ニ沈ンデ行ッタ。娘ハ驚イテ Olūikkī ヤ a Longōl ヲ抛リ出シテ家ニ逃ゲテ帰ッテ泣イテ居タ。婆サンガ故ヲ尋ネルト妹娘ハ其ノ事ヲハナシタ。婆サンハ云フ事ヲキカナカッタ娘ヲ悟シタガ、田圃ハ無クナッテ、今ノ湖ニナッテシマッタ。Engol

ノアケツニアルノハ、其ノ娘ノ抛ゲステタ持物ダト云フ。

Engol ノアケツカラ少シ降りテ行ツタ盆地ノ底ガNgaldok ノ湖ニナツテ居ル。湖ノ周囲ハ葦ノ様ナ□水草ガ茂リ、アヤメ科ノ葉ガ茂リ、種々ノ大木ガ密生シテ居テ廻ル事モ出来ナイ。

私達ガ行ツタ時ニハ、裸ン坊ノ罵民達ハモウ皆水ニ飛ビコンデ居タ。テンデニー一本ツツノ竹ノ棒ヲカカヘテ。私モ着物ヲヌイデ筏ニノツタ。私達ハ水ニ飛ビコンダリ、遊ビナガラ先ヘ先ヘト筏ヲ進メテ行ク。鴨ノ卵ヲ取ル為ニ。

鴨！鴨！（fhroyoch），水ニ浮ブニ三羽ノ鴨ニ島民達ノ血ハ急ニワキタツテ、一向キニ向岸ヘト泳イデ行ク。其ノウチニ樹ニ居タ鴨達ハビックリシテ飛ビ立ツタ。五ツ、十、三十、五十。岸ニツクト鴨ノ糞ノ為ニイヤナ臭ガスル。樹ノ葉ハ糞ノ為ニ白クナツテ居ル。

先ヲ□争フ罵民達ノ目ハ輝キ、自然人ラシク動作ハ本能的ナ注意ト慣レキツタ無雜作トガ錯雜シテ、氣持ヨクキビキビシテ来ル。バンブーカラ岸ヘト次々ニ飛ビ上リ、木カラ木ヘト渡リ歩イテ、巢ノ中ノ卵ヲ取ツテ行ク。アルモノハ、水ニオチテオドオドト逃ゲル雛ヲ追ヒカケテトラヘル。僅カノ間ニアル程ノ巢ハカキムシラレ、罵民達ハ手ニ手ニ卵ヲ持ツテ、或物ハ雛ヲモツテ、又バンブーニノツテ泳ギ出ス。私ノ筏モ鴨ノ卵ヲ二十七・八取ツテ帰ツテクル。湖ノ中ニ十五六本ノバンブーニ□一人一人ノ頭ガツイテ、□元ノ岸ヘト引上ゲテ来ル。引上ゲテ来ルト後レテ来タ小サイ娘達ノ一団モ水ニ飛ビコンデ□□ハシャギキツテ居ル。

私達ハ一ツ先ツ岸ニ上ツテ思ヒ思ヒニ自分達ノ弁当ヲヒライタ。或□者ハ木ノ蔭デ、或者ハ水ノ上ニ出張ツタ大□木ノ幹ニ腰カケテ、或者ハ裏ノアケツノ日ノアタル蜻ノ木ノ間デ、ソレハ明ルイ昼食ダツタ。話デ笑ヒデ其ノ明ルサガ倍ニナツタ。或物ハ私ニ椰子ノ水ヲモツテ来テクレタ。或物ハ互ノオカヅヲ取りカヘアツテ喜ンダ。

食事が終ルト又、一シキリ話ガ咲イタ。或物ハ木ノ枝ノ高ミニ登ツテ歌ツタ。声ガ、管絃音ノ様ニモツレアヒ追ツカケアイ、カスカニ消エテ行キ、再ビ爆発スル声ガ滑ラカナ水ノ上ヲ□迂ル様ニ広ガツテ流レタ。

誰カ一人木ノ上カラ水ニ飛ビコンダ。スルト急ニ話ガ消エテ、アツチカラモ、コツチカラモ、バヂヤバヂヤト裸ン坊達ガ飛ビ込ンダ。私達ハ永イコトタワイモナク水ノ中デサワイダ。筏カラ落シッコラスルモノモアリ、バンブーヲ腹ノ下ニカツテ競漕スルモノモアリ、水ヲカケ合フモノ、何テ乱暴ナ喜ビ方ダ。私モ子供ノ様ニ元氣ダツタ。

騒ギノ最中ニ一番先ニ出テ、一番後レテ来タオクエルガ片手ニボエスヲモチ、片手ニ六七羽ノ鳩ト大キナ蝙蝠ヲ下ゲテヤツテ来タ。オクエルハボエスヲ木ニタテカケ、無雜作ニ鳩ヲ其処ニ置イテ、イキナリ水ニ□飛ビコンデ来タ。皆ハ□□凱旋將軍ヲ迎ヘタ様ニオクエルヲ、明ルイ喜ビノ中ニ引摺リ込ンダ。

婦リノ皆ノテットノ中ニハ、ツ△ロヨコノ雛ガユラレテ居タ。アケアムノ実ガ青イ顔

ヲ出シテ居タ。オルエイノ葉ガサラサラ鳴ッタ。娘達ノ手ニハ綺麗ナ赤イ花ガアッタ。

二十二日 晴,

朝, 子供達, 続キ,

午後, 子供達, 最後ノ仕上, 本日ヲ以テ終了,

夕方, 石井氏, 松田氏, コロールヨリ来ラル。晩, 校長宅ニ行ク。九時帰ル。Rūl 夫婦, エラサカツ<sup>△</sup>イ来, 十一時過ぎ迄話。

〔欄外に記す〕

[テ<sup>△</sup>イラマルコット。カウブソク<sup>△</sup>ル。アブカウ。ミラツ<sup>△</sup>。〔N1,33〕]

✓創成神話参照,

Note 1.1 15.52

Chūap 女神ハ Naliyap <sup>107)</sup> dilamalkotch ト云フ女神ヲ産ンダ。其 dilamalkot ハ海ニ入ッテ海ノ底ヲ通ッテ, カイシャル [ガラウス] ノ Ngatmorowai ト云フ海ノ a-būp ノ中ニ入ッテ居タ。スルト Būcheo ト云フ者が見ツケテ家ニツレテ来テ, 食物ヲ食ベサセタ。スルト其ノ女ハスパロデモ鍋デモ皿デモ何デモ食ベテシマッタ。デ, 其レガ村々ノ評判ニナッテ Ngasūil ノ Obakaramchūū ガ Ngasūil ニツレテ行ッテ物ヲ食ベサセタ。スルト又何デモ食ベテシマッタ。今度ハ Ngaspan ノ Obak ra tichadasao ガツレテ行ッタガ, 全ジ様ダッタ。Almonongūi ノ Eltūron ガツレテ行ツモ全ジダッタ。デ Ngabokd ノ a Mad ガツレテ行ッタガ, 矢張り全ジダッタ。ソコデ, a Mad ハ村中ノモノニ云ヒツケテ, 馳走ヲ作ラセテ一度ニ女ニヤッタ。スルト, 今度ハ女ガ食ベキレナイデ, 御馳走ノオ金ヲ置イテ世話ニナッタト云ッテ出テ行ッテ, Ngipīhal ニ来テ dilachadbsongl ニナッタ。

Dilachadbsongl ハ Mngidabtschūūl, Terecherel ト云フ二人ノ子供ヲ生ンダ。此ノ Terecherel ト云フノガ, Mdūū Ngiptal カラ魚ヲトッテ来テハ Chadbsongl ニ食ベサセタ事ニナッテ居ル。

✓ Mdūū Ngiptal ノ神話参照, 15, 43

Mngidabtschūūl ハオギワルニ行キ, Tūran ト云フ女ヲ持ッタ。女ガ妊ミ, 腹 [帝王切開] ヲワラナケレバナラナイ時, ギプタルニカヘリ, Chadbsongl ニキク。柱ニモタセ, 腰ト肩ヲオサヘテ力マセロト云フ。其ノ通りスル。無事生ル。…… I. 1 参照。Ngiptal 寫沈ム。Chadbsongl ハ Ngalachabokl ニ来テ, □□□□ dila-Apkāū トナッタ。

話變ッテ Ngeraod ノ神ニ Chayos ト云フガアッタガ, Apkāū ノ隣リニ来テ卵ヲ産ンデ行ッタ。其レヲ Apkāū ガ拾ッテ育てタ。其ノ子ハ Chayos ノ卵ト云フ意デ, Ngiserachayos ト云ッタ。Ngiserachayos ハ大キクナッテ Ngeraod ニ行ッテ mongol ヲサガシタガ, 村ノ者達ハ神ノ子ダカラソナ事ヲシテハイケナイト云ッテ追ヒ帰シタ。

デ、Ngiserachayos ハ立腹シテ Tomdokl — aprūül a chan ニ立ッテ居ル番兵□□□  
デ、今其ノ石ハ Periliū ノ Ngaldroroch ニアル — ノ目ヲ取ッテ帰ッタ。Tomdokl ガ少  
シモ話ヲシナイノデ、村ノ者ガ見ルト目ガナイ。其処デ神様が六人ノ神様ニ Ulochoch  
ヲモタセテ、「此ノ Ulochōch ガハゼタ所ニ其ノ目ヲヌスンダモノガアルカラ」ト教ヘテ  
サガシニヤッタ。スルトソレガ Ngalakabokl デハゼタノデ、六人ノ神達ハ Apkāū ノ家  
ニ行キ、meas ヲヤッテ食物ヲ作ッテクレトタノンダ。Aptan ガクカウ□□ヲタイテク  
レタノデ、六人ハ堤ノ先迄行ッテ弁当ヲ開イタ。スルト、meas ガ無イ。六人ノ者ハ其  
ノクカウヲ食ベヨウト□□□シテ割ルト、中ニ meas ガ入ッテ居タ。デ又 Apkāū ノ処ニ  
モドッテ来テ、今度ノ orakilūū ノ夜ニ大洪水ガ来ルカラト教ヘテ去ッタ。[15, 44 参  
照].....。[N1. 42 参照]

□□□□ Apkāū ハ Rois Almonongūi デ呼吸ガ絶エテ居タ。スルト Ochüel a chalid  
ト Mngidabütschūül トガ来テ、□息ヲフキ返ヘサセヨウトシテ相談シタガ、石ヲ飲マ  
セタ□ヲヨカロウト云フ事ニナッタ。デ石ヲ飲マセヨウトシテ居ル処ヘ Terid ト云フ鳥  
ガ来テ、風ヲノマセタライト云ヒナガラ、風ヲノマセテシマッタ。

Mngidabütschūül ハ怒ッテ Ongoched デナグッタノデ、今デモ Teril ノ頭ハワレテ居  
ル。 —

Apkāū ハ息ヲフキ返シタガ、其時石ヲノマセレバ、人間ノ命ハ長カッタノニ、風ヲ  
ノマセタ為ニ、ソノ吹き込ンダ風ガ絶エルト人間ハ死ナナケレバナラナイ。Apkāū ハ息  
ヲフキ返シテ Mirad ニナッタ。.....。

二十三日 日曜日 晴, 昨日カラ水ナクナル。

学校ノ卒業式。

昨日、石井氏来ラレ、急ニ今日講習生ノ修了式ヲスル事ニナリ (実ニ乱暴ダガ)、学校  
ノガ済ンデカラ昼前ニ式ヲスマセ、賞品ヲヤル。

午後、校長来テ暫ク話シテ行カレル。

晩、校長ノ所ニ行ク。帰ッテ、Rül 夫婦、Erasochadūi ヨリ話ヲキク。

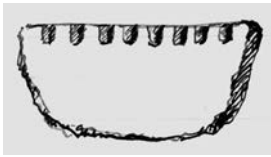
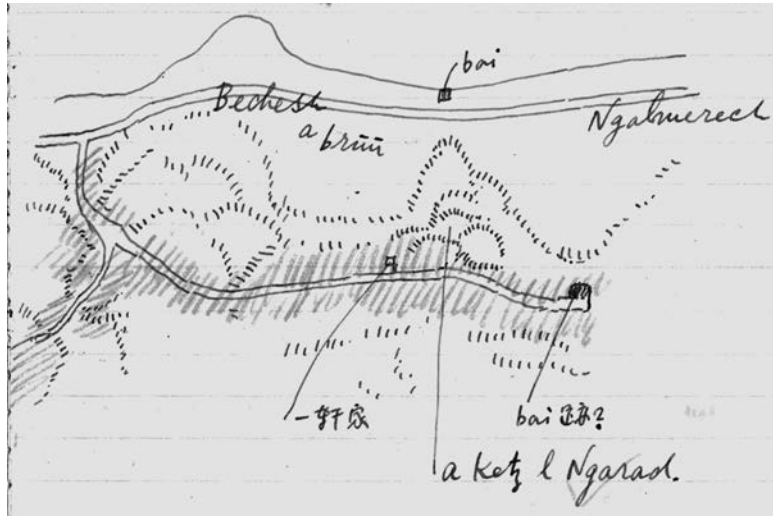
二十四日 晴,

朝、子供達、続ケテ仕上ゲヲサセル。

午後、ウルリヤンノ廢村ヲ廻ッテ見ル<sup>108)</sup>。

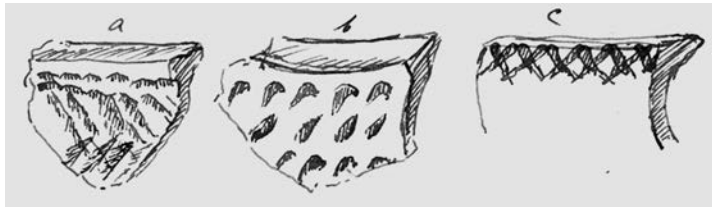
赤線ノ部ガウルリヤンノ廢村デ、中ノ道ハ何処マデモ石ガシカレテ居ル。bai 跡? ニ  
ハ大キナ Kaldükl ガアリ、此処カラ先ハ木ガ茂ッテ居テ一歩モ行ケナイノデ戻ル。裏ガ  
近頃畑ニナッテ居ルノデ、土器ノ片ナド少シ見テミル。盛ニアルガ、穴ノアイタノヲ一  
ツ拾ッテクル。ソレカラ、Ngarad ニ出テクルト、a Kegハ例ノ段々ニナッテ居リ、此処  
デハ文様入りノ土器片ヲ得タ。





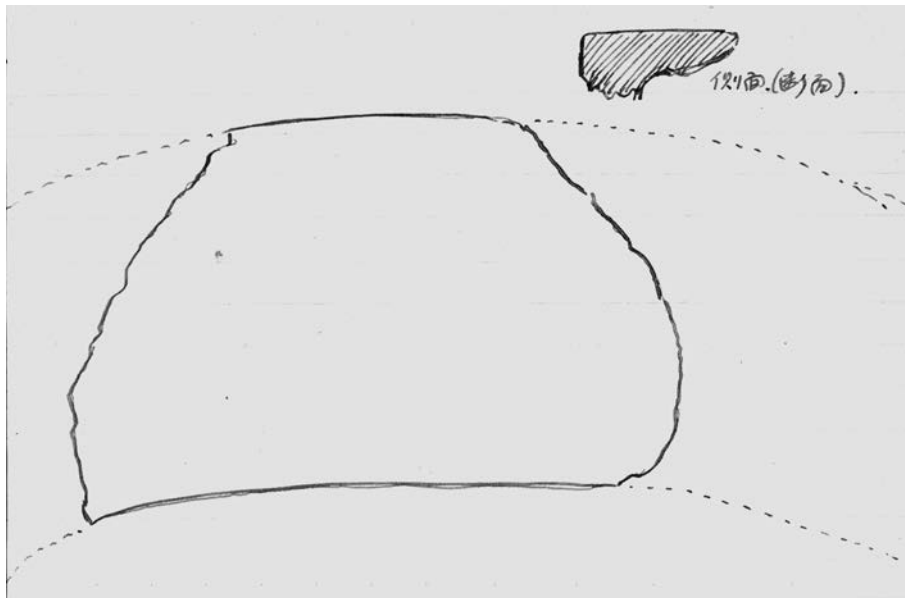
図ノ様ナノデ、一寸珍ラシイ、

次ニ Ngarad ラ村ニオリテクルト、丁度下ノ所ニ、上カラ流レオチタラシイ土器片ガ一面ニチラケテ居ル。此レハ流レオチタト見ルノガ至当デ、少クトモ現在ノ村ハ名モ Bechesh brūū ト呼バレル通り、而テ明カニ日本領ニナツテカラ最近コシテ来タ村デアルカラ、是等ノモノデナイ事ハ明ラカデアル。此ノクズノ様ナ土器片ノ中ヲタンネンニサガシタラ、文様入ノモノガ三ツ手ニ入ツタ。而シテ今一ツハ、途方モナイ大キナ器ノ口ノ部ガアツタ。



図ノ様、a,c ハ篋ノ様ナモノデ押シタ形、b ハ第一段及第三段ハ篋ノ様ヲモノテ幾分廻ス様ニエグリ、第二段ハ篋デ押シツケタ文様デアル。





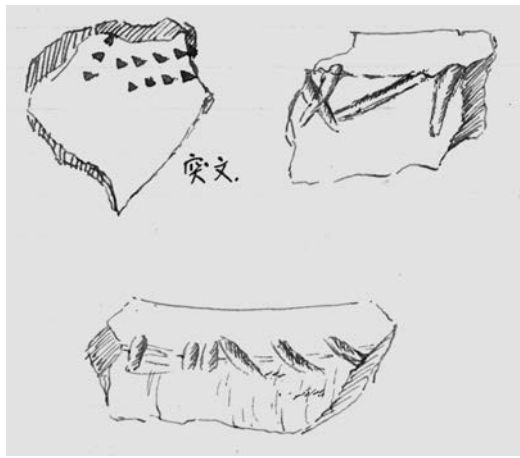
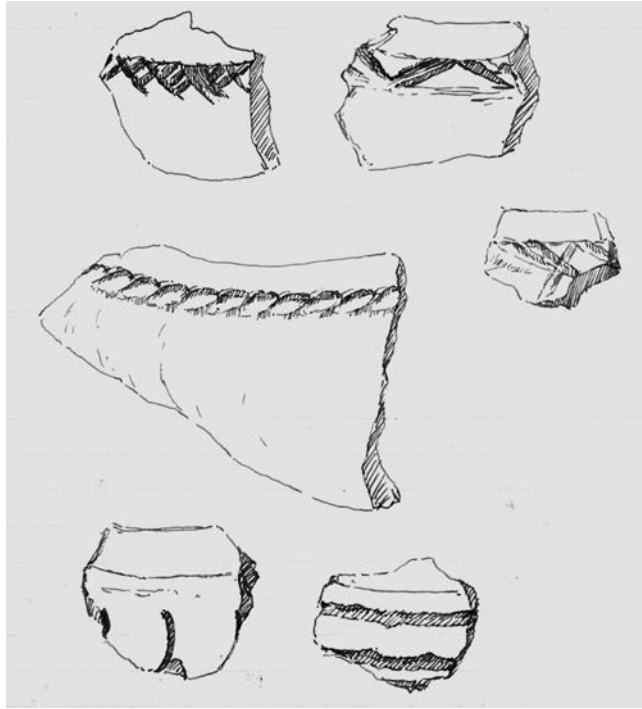
今一ツト云フノハ、上図ノ様ナ（上面ヨリ見ル）大キナ瓶カ何カノ縁デアルガ、上図ハ実ニ実物大ナノデアル。是等ニ就イテハモット正確ニ細密ニ書カレナケレバナラナイガ、今ハ一寸書イテ置ク。他ニ参考スベキ材料ハ山ノ様ニアルシ、ソレヲ片ヅケル暇ハトテモ無イカラ。

二十五日 晴、

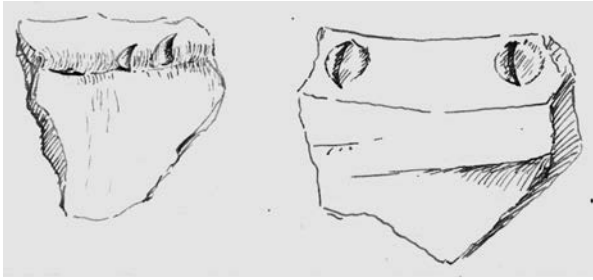
朝、子供達、仕上げ、

午後、昨日土器ヲ拾ツタ、Ngarad ノアケツノ麓ニ行ツテ、又、土器片ヲ拾フ<sup>109)</sup>。今日モ沢山文様ノ入ツタノヲ探ス事ガ出来タ。後、公学校ノ裏ノ畑ニ行ツテモ土器片ヲ拾フ、文様ノアツタノハ僅ニ二個ダツタガ、校長ガ穴ノ通ツタノヲ沢山見ツケテ下サツタ。

晩、Rül ノ家ニ行ツテ十時過ぎ迄話ヲキク。

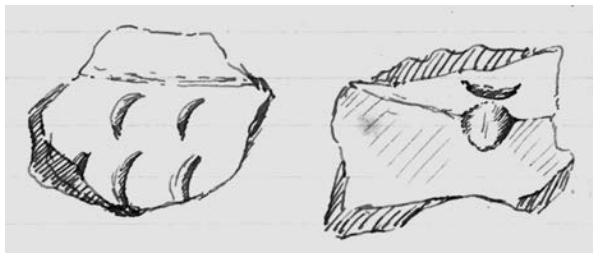


以上，窺跡，□□□□□ Ngarad 麓

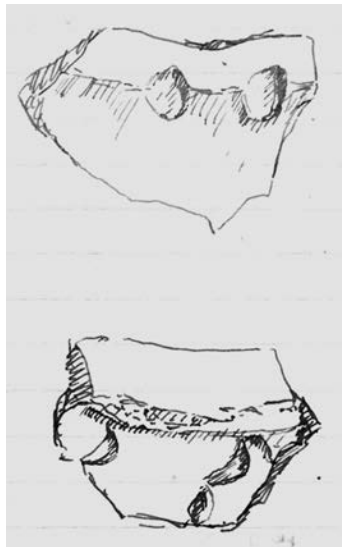


爪押文

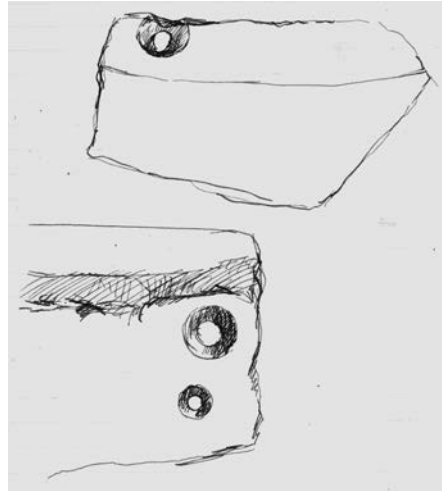
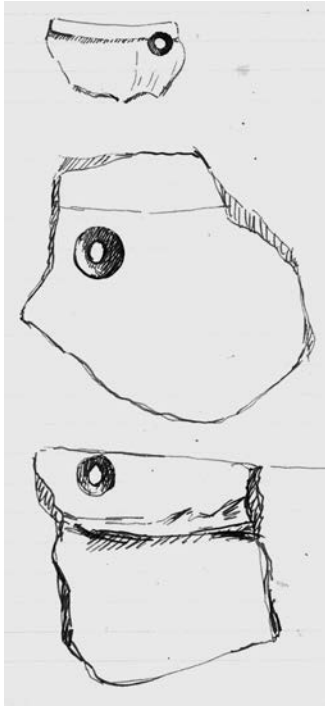
指頭文



以上，爪跡，指跡，Na □□ Ngarad 麓



以上，爪跡，指跡，學校裏，



以上、穴アキ、学校裏、

二十六日 晴、

朝、子供達ニ作品ヲ箱ニ入レサセ、学校迄モッテ来テ置ク。

稲サンノ処デ□夕飯ヲ御馳走ニナル。

夜、久シブリニー一寸雨。

窺押シ文、公学校裏、



二十七日 晴、午後、一寸雨。

朝ノウチ学校ニ行キ、ヂルカイノ箱ノ蓋ヲ打ッテシマフ。

夕方、学校ノ裏ニ行ッテ見タガ、タイシタモノモナイ。

今日ハ、校長カラ古イウドウヴヲニツ貰フ。両方トモ前ニ学校ノ裏ノ畑カラ出タモノ  
ダソーダガ、一ツハ極メテ硬質ノ焼物デクルックノ様ナ形、紫黒色ノ地ニ白ノ□円点ガ  
列ンデ居ル。一ツハブラウン レッドノ石デ楕円形、是レハ縦ニ半分ニワレテ居ル。

寫民ニ見テ貰ッタガ、焼物ノ小サイ方ハ非常ニイイ物ダソーデ、カルブクゾト同ジ程

ノ価ガアルト云フ。

夜、裏ノ家ニ、エラサカツ<sup>△</sup>イ一家、チカダサオ夫婦ヲ呼ビ、皆ニ夕飯ヲヤル。後又エラサカツ<sup>△</sup>イカラヴルッウクノアソールス講義ヲ聞イタガ、実ニムヅカシクテ、半分モ出来ナイ。

二十八日 曇、一時雨。又々東風吹き寒クテ陰気ナリ。

午前中デア□ラマシ荷造り。

晩、校長ノ処ニ呼バレテ食事。

二十九日 晴、小驟雨。

ビナスニテコロールニ帰ル。

朝ハ、マルビクノ家デ馳走、弁当——バスケ作ッテクレル。荷物モ波止場ニ持ッテ行ッテクレル。校長夫妻、稲氏、波止場ニ送ッテ下サル。

三時、コロール着、アヤオノ処ノ行ッタガ、如何ニモ家ガコワレテ居テ棲メナイノデ、方々サガシタガ、駄目、

夕方、荷物ヲ安達サンノ所ニハコビ、宿ル。

三十日 日曜日 晴間アレド、終日驟雨何回トナク来ル。

□□朝ノウチ、キサウルノ処ヲ借リル事ニ定メ、荷物ヲハコブ。

三時半頃出カケ、石井氏ヲ訪ネル、留守、高松氏ノ処ヘ行ク、バスヲ貰ヒ、夕食ヲ御馳走ニナル。

金井氏ヲ訪ネ、支庁長ノ所ニヨリ、安達サンノ処ニ行キ、九時半頃帰ル。

三十一日 晴、驟雨度々アリ。

朝、役所ニ行キ、——明日カラ又、公学校デ講習ノ事、但シ、□講習生ハコレカラ集メル——三時頃学校ニ行キ、ウチアハセ。夕方帰ル。夜、エラサカツ<sup>△</sup>イ来ル。マリユル家ニトマル事ニナル。

## 四月

一日 晴雨、不定、

朝、役所ニ行ク。十一時、波止場ニ荷物ヲ（マルキョク作品）ヲ取りニ行ク。荷車来ズ、一時半迄モ待ツ。役所ニ帰り、五時過ぎマデ。夜遅ク、エラサカツ<sup>△</sup>イ来ル。

二日 晴, 暑

朝, 役所, 直グ帰り, 絵具ヲモツテ又出カケル。終日<sup>(倉)</sup>創庫ニ入ッテ, 子供達ノヤリカケニ色着ケ。

三日 神武天皇祭 晴

朝カラカ<sup>△</sup>ルミツ<sup>△</sup>ニ行ク。アヨブク, テ<sup>△</sup>ベルボルトトカヌーヲ出シ, セイロヲカケテ走り, 少シ魚ヲ取り, 汐ガ引クノデ帰ッテ来テ, テ<sup>△</sup>ベルボルトノ所デ刺身ヲ作り, タマカイヲ煮, 南京米ヲ焚イテ食事。後寝テシマフ。

夕方, コロールニ帰ッテ来ル。

四日 晴,

講習開始ナノダガ, エットロントアヨブクシカ来ナイ。後, イリラオトアリヨムドトガアイライカラ出テ来ル。今日ハ帰り, 月曜ヨリ出ル由, 後ガラルドカラボウメルト, ギラヘシンムル, オルゲンレイガ出テ来タガ宿ナシノ由,

午後, 学校子供ノ講習始メ, ツ<sup>△</sup>ウルニ切りニ行ク。後, ギラヘシンムル, カラーデルヲツレテ役所ニ行ク。食料ハ村カラ出サセ, アバイニ宿ラセル事ニスル。帰り菅原氏ノ所ニヨル。

五日 晴,

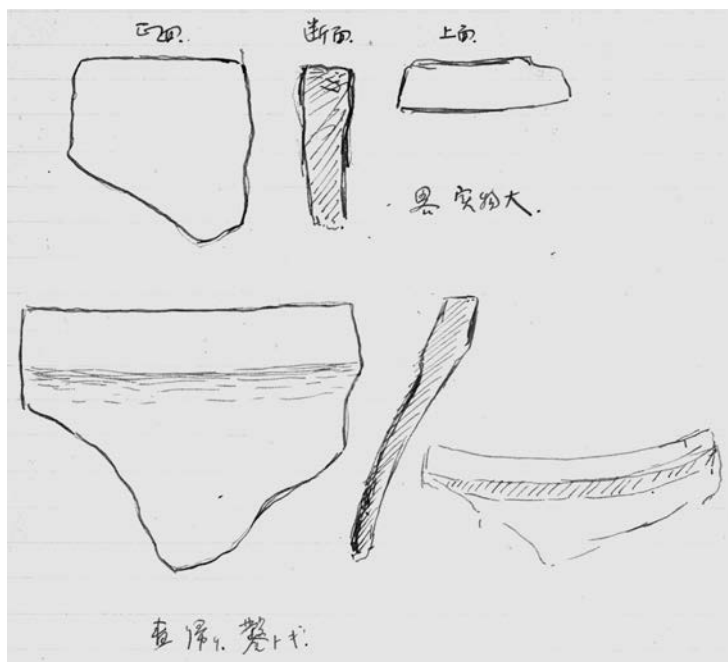
午前, カプウイヲ切りニ行ク。

午後, 筆立。

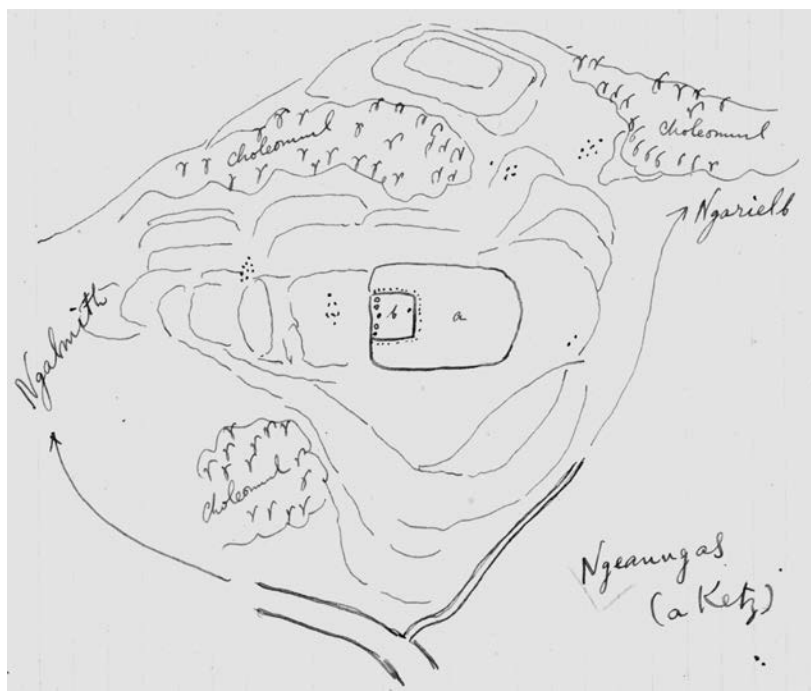
夕方, モドロニ来ル。

六日 日曜日 晴,

朝早く, マリユルヲツレテ, カ<sup>△</sup>ルミツ<sup>△</sup>ノアケツニ行ク<sup>110)</sup>。カ<sup>△</sup>リエルプヘ別レル道カラ真直グニ登ッテカ<sup>△</sup>ヤンカ<sup>△</sup>スノ頂上迄行クト, 頂上ハ a ノ様ニホボ長方形ニ平ラニナッテ居テ, b ノ所ガ更ニ方形<sup>(欄外に記す)</sup> [三尺位高ク] ニ一段高クナッテ居ル。b ノ周囲ノ傾斜面ハ小サイ岩石ノ破片デ作ラレタ様ニ綺麗ニ被ハレテ居ルガ, 人工的ノモノデアルカ何ウカ<sup>□</sup>ハ確カニハワカラナイ。只, b ノ<sup>個</sup>□縁ニ黒点ノ様ニ二個石ガアリ, 白<sup>□</sup>點ノ処ハ石ガアッタノヲ, 最近起コシテモッテ行カレタモノデ, 明ラカニ石ノ形ニ凹ンデ居ルノデ, 半分位ヒハ人工ノ加<sup>□</sup>ハッタモノ<sup>□</sup>ト見テヨカロウ。他所ト全ジク, 此ノ頂上ニモオロカンノ破片ガ相当ニアル。私達ハ道ノ方カラ真直ニ上リ, カ<sup>△</sup>ルミツ<sup>△</sup>ノ方ニ下リタノデアルガ, 下ノ方ニ行クトオロカンノ破<sup>(片脱)</sup>ハ益々多クナリ, 麓ニ於テハマルデ新ラシイ様な破片ガアリ, 明カニ家跡モ知ラレル。頂上デハ土器片ヲ十個程モ拾ッタガ, 中二個ハ上縁ノ部ガアルカラ, 参考迄ニカイテオク。



昼帰り，鑿下ギ。



七日 晴,  
朝, 普通  
午後, 続キ,

八日 晴,  
朝, 続キ,  
午後, 続キ,

九日 晴, 昼驟雨。夜, 驟雨,  
朝, 続キ,  
午後, 板, 平彫,

十日 晴, 曇, 朝豪雨, 夜驟雨,  
朝, 続キ,  
午後, 続キ,  
夜, 月美シ, アラカマイニ行キ, ヤップノ踊ヲ見ル。

十一日 晴,  
朝, 続キ,  
午後, 続キ,  
夜, 月ヨシ。ムットックノアキオノ処ニ遊ビニ行ク。

|             | 称号                             | 家名                              | 家神          |
|-------------|--------------------------------|---------------------------------|-------------|
|             | 1. Aibadūl.                    | a Idīth                         | Rūmen       |
|             | 2. Eraikelao.                  | a Ikelao                        | Ridwoi (女神) |
| Ghoreol     | 3. Iriyōriliṭh<br>[Iriyō Idid] | Ngariyōriliṭh<br>[Ngariyō Idid] |             |
| emiṭh Rūbak | 4. Erattakangī                 | a Takangī                       |             |
|             | 5. Chotraol                    | Ngūlsūblūch                     |             |
|             | 6. Eraketēt                    | a Ketēt                         | Risoiso     |
|             | 7. Rūbasach                    | a Ingeyaol                      |             |

Ibadūl ハオルワンカ<sup>△</sup>ルガ沈ンダノデ, コブリールヲ率キテ本島ニ移ツタ。アルコ  
ロンカラガラルドニ入り, カ<sup>△</sup>ラスマオニ行キ, アルモノグイニ行キ, アイミリー<sup>〔欄外に記す〕</sup>キニ  
入り], ガウキップニ来テ後, コロールニ入ッタノダッタ。



時ニ既ニコロールニハ支配者ガアッタガ、ムクッティーカーラノ向フ、現在ノ町ノ方ハ Rūbasach ガ□□□□□□□□□□第一ルバクトシテ□治メ、□□□□□□コウウラオルガ第二ルバクトシテ反対側、ムクッティーカーライブクルノ方ヲ治メテ居タ。Ibadūl ハ沢山ノ金ニヨッテ、第一ルバクトナリ、全コロールヲ支配スル事ニナッタノデアル。因ニ七人ノルバクノ内、第二位ノエライケラオハペリリユーカラ入ッテ全ジク金□持ナル故ニ第二ルバクトナッタノデ、第三ルバク以下ガ<sup>前</sup>□在来ノコロールノルバクダッタノデアル。

コロールハミラ□ツ△ノ子、コレオル・バツツ△、村ノ神ハ Och-ela-rak、神家ハコレオル・バツツ△ノ向ヒノ Erachal 家。コレオルニハ Kliīhm l baīh ナシ、只イブクルノ方ノアフ△ウル・ラ・カ°ンニカ°スク°ノ石アリシガ今ナシ。

---

A ūron ノ絵、Tabarakl (Ngalmiīhiū) ノ絵ハ Arabachet ノ前ノ絵ハ Orachal。— Bsoyoch ノ子— ガカキ残シタト伝ヘラレル。ガルミツ△ノ向ヒノ Ongolongl ノ岩山ニモ全ジ様ナ絵ガアル由。

---

産□ヲスル女ハ五ヶ月ノ間、次ノモノヲ食ベナカッタ、a Keam (樹実)、amanīh (海魚)、pabi 及ビ brochol。

---

Omkan ニアル Chōla-al-ikelao 及ビ Orūktabl ニアル Ī-ra-al-ikelao ノニツノ ĩ ハ Eraikelao ガペリリユーカラ来ル途時泊ッタ廻ダト云ハレル。

十二日 晴，昼小雨。

朝，続キ，

午後，続キ，

エラマスプトガ腹ヲ病ンデ病院ニ居リ，ヒドク悪イトノ事ダッタノデ，夜，杉浦君ト見舞ニ行ッテヤル。

十三日 日曜日 曇，度々雨。

朝雨，霽レタノデ十時頃，チキ近クノトコベイ人ノ所ニ行ッテトコベイノ様子ヲキク。帰り，昼食後アラバケツニ出カケタガ，モドロノハ勿論，ルバク達全部アルモノク△イニ遊ビニ行ッタソーデ，留守。仕方ガナイカラアタオニ降りテヤッブノバイニ行□ッテミル。雨ニフラレ，止ミ間ヲ見テ帰り又雨。帰ッテ一寝入り。

一番悪イ日曜日、気ノキカナイ一日、

十四日 終日曇。

朝、続キ、

午後、続キ、平彫終リノモノカヌー。

夜、石井氏ノ処ニ行ク。

十五日 終日、曇、

朝、続キ、

午後、続キ、

夜、九時半過ギ、小浜君酔ッテ酒ヲモツテクル。一時頃迄相手ス。

十六日 曇、朝、昼、驟雨。

朝、続キ、

午後、続キ、

十七日 晴、

朝、続キ、

午後、カヌー駄目、アリュウニテ簡単ナル丸彫。

夜、ペリリュウカラ来テ居ルモノ三人ヲ呼び話ヲキク。

十八日 晴、

朝、続キ、

午後、続キ、

夕方、役所ニ行キ、金井氏ノ所ニ行ク。太田君モ来テ居テ、夕食ヲ馳走ニナリ、九時半頃帰ル。

十九日 晴、

朝、続キ、

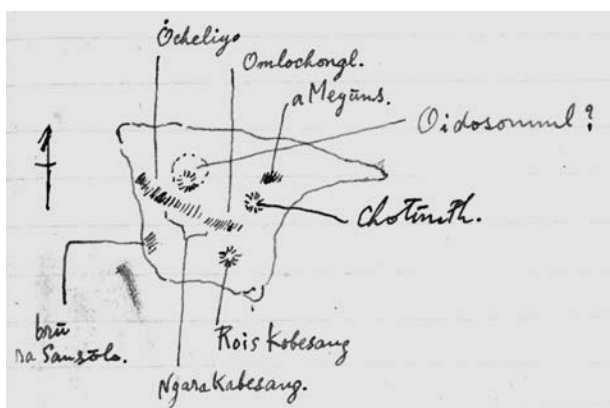
午後、続キ、

夜、ア・イバヴァールヲ訪ネ、話ヲキク。(ノートニアリ)。

二十日 日曜日 晴、午後四時、小雨。

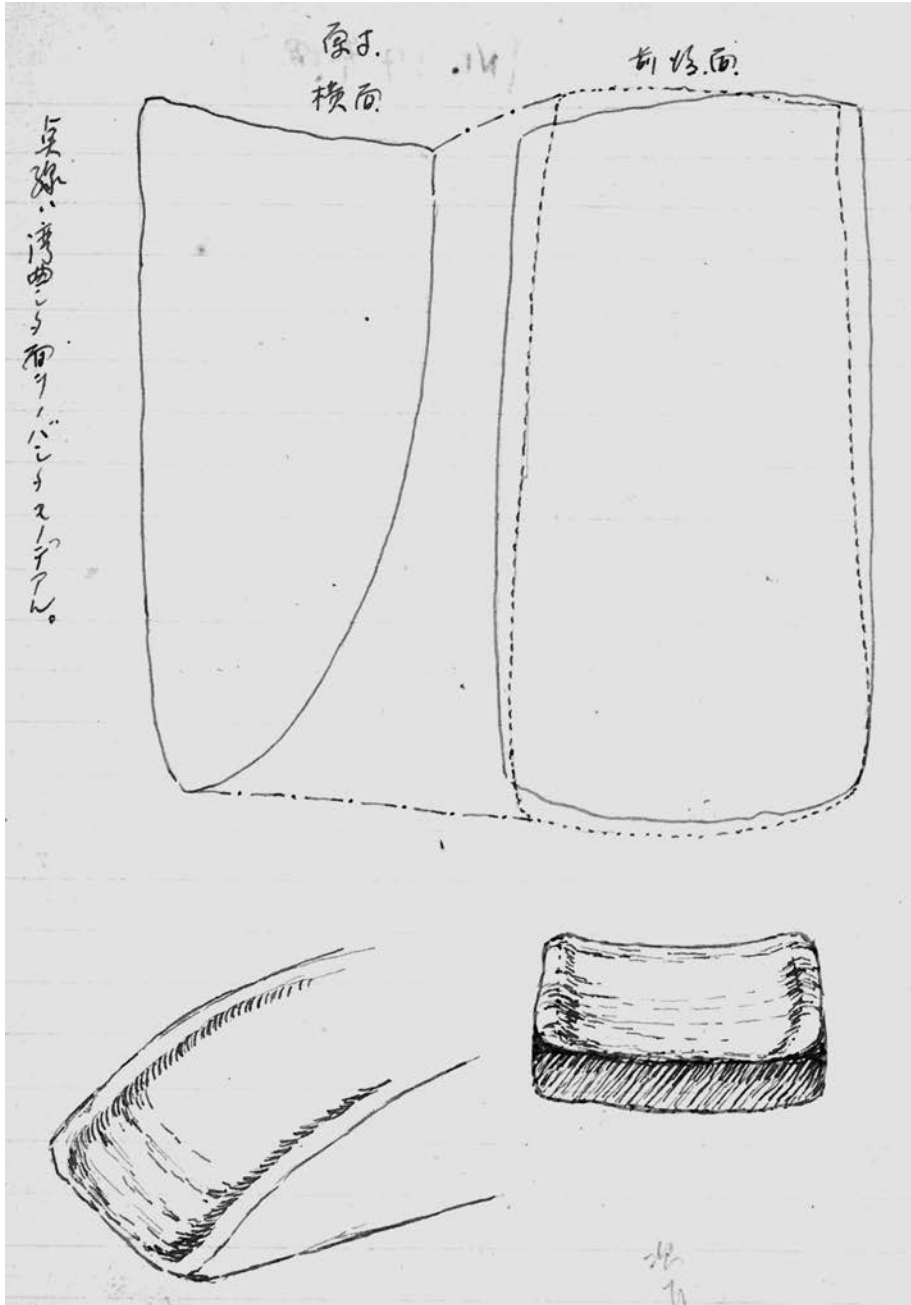
昨晚頼ンデオイタノデ、七時半ニハカ<sup>○</sup>タ<sup>△</sup>カ<sup>○</sup>ロイ、キ<sup>△</sup>リミドル、アルマカ<sup>△</sup>サオノ三人ガ来ル。デ、テットノ中ニ紙、鉛筆、其他ノ七ツ道具ヲ用意シテ弁当ヲ持ッテ出カ

ケル。カヌーハイバヴールカラ借りテアル。イバヴールノ所ニヨッテヴルイノアタオニ  
 行ッテ居ルト、ヂキニアイバヴールガヤッテ来テカヌーヲ用意シテクレル。汐ハ上ゲテ  
 居ル。天気ハイイ。五人ガカヌーニ乗ルトキ<sup>△</sup>リミドルトアルマカ<sup>△</sup>サオガ棹ヲ持ツ。ケ  
 レドモ是等ノ三人ハ、チグハグナ有ッタクモノヲ着飾ッテ教会ニ集ッテ、裸デ働クモ  
 ノヲ一段低イ位ヒニ見テ居ルアバズレ達トチガッテ、裸デ働ク方ノベリリュノ田舎者  
 デアル。ダカラアイバヴールノアタオヲ出ル迄ハ、座ッタママデ、静カニ棹ヲサシテ、  
 決シテ立タナイ。ソウシタ礼儀ニ就イテハ、屢々古イ者達カラ聞イテ居ルガ、今是等ノ  
 乱暴盛リノ若者達が、コノ古イ礼儀ニ従ッテ、素直ナ心ニナッテ居ルノヲ見ルト、ハツ  
 カナ美シサヲ覚エル。振り返ッテ見ルト、古式ナ人柱ヲモッタ大キナアテ<sup>△</sup>ヤンカ<sup>△</sup>ルガ  
 一キワ偉大ニ見エル。アタオヲ出ルト日ガーキワ明ルクナッタ。若<sup>□</sup>者達ハ立上ッテ棹  
 ニカヲ入レタ。舟ハ勢ヨク進ンダ。アラカベサン<sup>III)</sup> ハーパイノ朝日ヲアビテ、私達ノ  
 前ニ長ク横タワッテ居ル。



Ngirchobchobon ヲ訪ネ、Ngaspangal ヲ訪ネテ、後、十時過ギテ、私達ハ、Rois  
 Kabesang ニ登ル。Rois Kabesang ハアラカベサンノ鎮守デ、Aüchel-Kebesachel  
 [Kebesathal] <sup>〔欄外に記す〕</sup>ノ鎮座所デアルガ、bノ所ハaKet<sup>g</sup>デ、例ノ如ク幾段ニモ段ニナッタ廢  
 村デ、ドノ段ニモ無数ニ土器ノ破片ガ散乱シテ居ル。少ナイ乍ラ、アキムノカケラモボ  
 ツポツアル。一ツハ明ラカニ貝包丁ト思ハレル<sup>□</sup>モノモ拾ッタ。bノ一番上ノ段ニ行ッ  
 テモ、土器ノ破片ハ盛ニアリ、縁ノ部ノ形モ殆ド各所ニ見ル何ノ形モアルシ、厚手カラ、

三耗位ヒノ薄手ノモノ迄アルガ、全時ニ非常ニ古イラシイボロボロトコボレルモノモアル。





[是等ノ石ハ兎モ角長イ間、兩ザラシ、日ザラシニナツタモノト見エテ、ヒワレテ、プツケルト直グワレル。]

[欄外に記す]  
[此ノクルムト云フハ、□□□地ニ穴ヲウガチテ火ヲ焚キ、上ニ石ヲ入レ、石ガヨク焼ケルヲ待チテ、芋其他ヲナラベ、蒸シ焼キニスルモノナリト。故ニ此ノ石畳ノ名ハ、又、別ニアルベシ。]

珍ラシイ遺物トシテハ、図ノ様ニ四五寸カラ七八寸位ヒノ石ヲ平タク円形ニナラベタモノガ二個所ア

ッタ。一ツハ径二尺位ヒ、一ツハ径四尺位ヒアルガ、是レハ Chadacharoi ノ説明ニヨルト、klüm ト云ツテ、昔火ノナイ時分ニ、クカウヲ二ツニ切ツテ断面ヲ上ニ向ケテ、此ノ上ニナラベ、<sup>火</sup>□日乾シニ焼イテ食ベタノダト云フ。因ニ石ハ何ノ石デモイイト云フノデハナクテ、此ノ石デナケレバナラナイト云フ。砂岩ノ様ナ目ノアライ石ダガ、水成岩デハナイラシク、中ニ燧石ガ所々ニ含マレテ居ル。此ノ石畳ハ幾ツモアツタモノラシク、最近畑ニサレタ此ノ辺ノ所々ニ沢山ヨセカタメテアル。尤モ此ノ山ニ自然ニアルノカ、ドノ段ニモ畑ノ傍ニハ沢山抛リ出サレテ居ル。

ソレカラ、瀧ノ様ナ急傾斜ヲ a ニ登ル。a ノ部ハ草木ガスツカリ茂ツテ居テ倒木、葛草ノ間ヲヌケテ登ラナケレバナラナイガ、是レガ即チ Rois デ、上ニハ Malekiok ノ Rois Merech 又 a-Chalap ノ Roisan ト全ジク、此ノ高イ頂上ニハリーフガ敷キツメラレテ居ルノデアアル。ソシテ、ソレカラ一方ニハ石ガ一列ニ並ンデ居リ、裏ノ方ニハ石ノ Kaldükkl ラシイモノモアル。而テ Rois Merech ト全ジ様ニ裏ノ方ニハ<sup>少シ</sup>□□傾斜面ニモリーフガアルガ、是レハ急ナ斜面ヲ摺リ落チタモノカモ知レナイガ、Rois Merech ノ様ニ、或ハ段形ニ築イタモノカモ知レナイ。



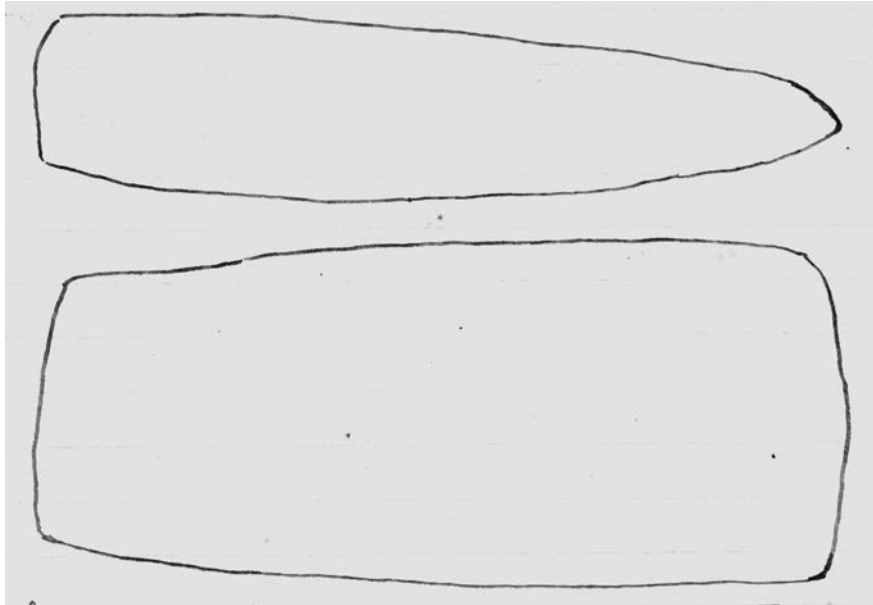
リーフノ畳ノ上ニ図ノ様ナ八寸位ヒナ石ガアツタ。寫民達ハ Klithm ダト云フガ、丁度此ノ鼻ノ部ニハ此ノ形ノ石ガ入ツテ居ルノデアアリ、一方ノカケテ居ル方ニハ、目ノクボミが見ラレナイカラ、何トモワカラナイ。兎モ角 Aüchel-Kebesäthel ノ石トシテハ貧弱デアリ、Arakabesang ニハ他ニ Klithm l bath ハナイソウデ、現ニ下ノ道傍ニアル Obocha<sup>欄外に記す</sup>h [Uloi ra üraroeh [N1.41]] ノ石ト云ハレルモノモ自然ノ岩デアアルカラ、一寸人工的ト思ヘナイ。

何ウカシテ模様ノ入ツタ土器ヲサガサウトシテ氣ヲツケタガナイ。帰ツテ来テ Chobochobon ノ家ノ前デ、石製ノ図ノ様ナ□□楕形ノモノヲ見ツケル。是レハ元ノ方ガイクラカ割レタモノラシイガ、刃ノ部ガ一寸変ツテ居テ、図ノ様ニ□□両耳ガ高ク通ッ

テ残シテアル。石器ハアマリ見ナイガ、ガラスマオデ見タ石ノカイバツクル等トハ少シ造リガ違ッテ居ル。石質ハ小サイゴマノ様ナ黒イ石ガ入ッテ居ル灰青ノ石デ、極柔ラカイモノデ、アマリ大シタ役ニ立チソウニハ思ハレナイ。ガ磨製デ形ダケハ立派ナモノデアル。

ソレカラ、ギラコ°ボコ°ボンノ家ノ前ニ鶏ヲヨビアツメ、Chadalchaloiガボエスデ一羽吹キトメ、キ^リミドルトアルマカ^サオトガ料ッテ鶏ガ煮ラレル。二時半頃弁当ガ開カレ、空腹ニ舌鼓ヲナラス。

Miyūnsノ方モ行キタツカノデアルガ、汐ガヒクノデ帰ッテクル。——バスケノパパ<sup>イ</sup>ヤト大キナバナナノ総ト、クダモノトケイヲニツオミヤゲニモッテ。



是レハNgaratmaoノ前村長ガモッテ居ル石製ノカ^イバツクルノ図デアルガ、参考迄ニ此処ニウツシテオク。石質ハ堅クテ黒イ。磨製、現寸。

二十一日 晴，スバラシク暑イ。

朝，続キ，

午後，続キ，

杉野君ガカ^ラクオカラ出テ来，夕食，

二十二日 晴

朝，続キ，

午後、続き、  
夕方、アルバヴァールが遊びに来ル。

二十三日 晴、  
朝、半数木ヲ切りニヤル  
午後、続き、  
受信 兄、弟、三寫通陽。

二十四日 晴、暑、  
朝、続き、  
午後、続き、  
晩、佐藤君ガ来、消燈後迄話シテ行ク。

二十五日 晴、暑、  
朝、続き  
午後、続、  
一高觀光団来ル。  
発信 柴山梅子、兄、弟、島田恒久、

二十六日 晴、夜、雨アリ、  
朝、続き、ガラルドノ者、帰りテ来ズ、  
午後、続き、  
夜、カダカロイ、アルマガサオ、ギリミドル来ル。

二十七日 日曜 晴、  
彩影会名作展、朝、菅原氏〔宗助〕ヲ訪ネ、十時過ぎ、一緒ニ倶楽部ヘ行ク。一時、菅原氏ノ  
処ニテ中□食、蓄音器、四時、村山氏〔丈夫〕ノ処ニ行ク。夕方帰り、食後、後藤氏ノ処ニ行ク。

二十八日 曇、雨二三□度。  
朝、板彫。  
午後、続き、

二十九日 天長節 晴、午後、雨二三度、  
朝、学校、後、役所式、十一時ヨリ昌南倶楽部ニテ園遊会、夜、安達サンノ処ニ行ク。  
発信 柴山昌生、本田讓二、土方愛子、

三十日 曇，雨。

講習生，皆村ニ帰ル。朝，役所，午後，小学校，支庁，後再ビ□□小学校。夕方帰ル。

## 五月

一日 晴，午後，曇，雨降ツタリ止ンダリ，

朝，役所，十一時，小学校，

午後二時頃，公学校，道具整へ。

二日 晴，

朝，佐藤氏ノ処ニ一寸，公学校ニ行き道具ヲ借り，昼帰ッテ食事ヲシテ居ルト，林氏が支庁ヨリ電話デ直チニ来レトノ事，直チニ行ク。高等学校ノ生徒<sup>△</sup>ルカイヲ買ヒ度キ由，価額付ケ，説明。二時半過ギテ小学校ニ行ク。今日ヨリ小学生ニ手工科外トシテ木工ヲヤル事ニナリ。直チニハジム。

話，道具説明，砥物。

夜，一高ノ人，話ヲ聞キニ□□来ル。

遅ク，塩山クン，財務ノ若イ人ヲツレテ来ル。此ノ人，彫物ヲ始メタキ由，消燈迄話シテ行ク。

三日 朝，雨。後，晴。夜，驟雨。

午後，小学校，ブラキョス板ニ浮彫。

四日 日曜日 朝，晩驟雨。晴，

朝，杉浦君ト Arakasoal ニ出テ行ツタガ，雨ニ降ラレタダケデ，肝心ノ Arakasoal ニハ二軒シカ家ガナクナリ，一軒ハ留守，ト云フ有様。アタオ迄オリテミタガ，アテ<sup>△</sup>ヤンカ<sup>△</sup>ルサへ，<sup>[ママ]</sup>根屋ガベツタリツブレ落チテシマッテ居ル。

十時頃，コウラオルノ所ニ行き，少シバカリ話ヲキク。

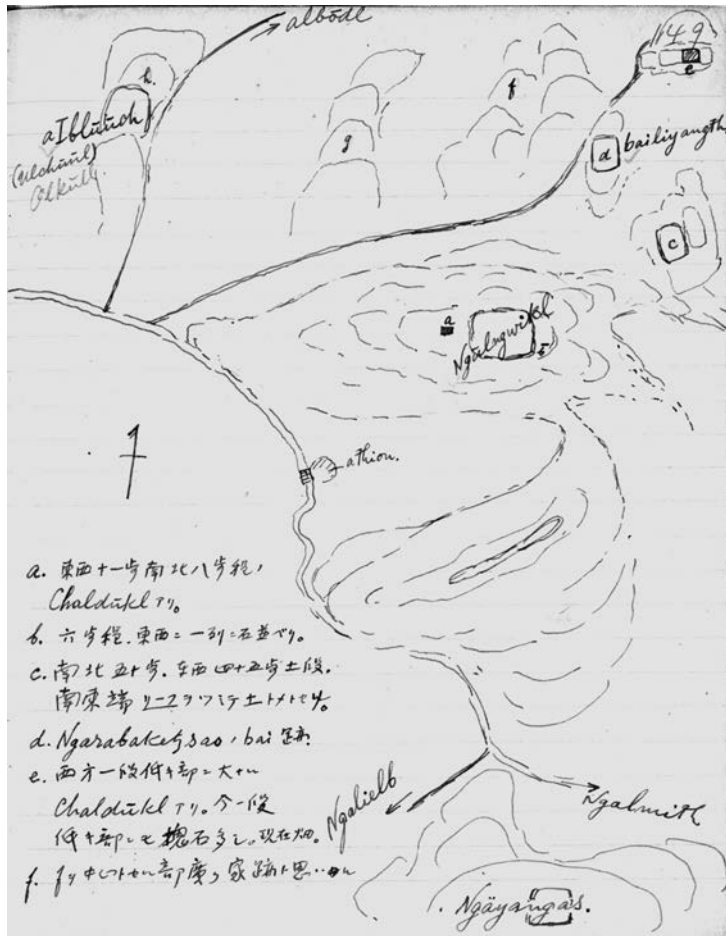
<sup>[欄外に記す]</sup>  
[ルバク制度]

Rūbak ト Kōbril ニ就イテマルキョクデ聞イタノガ，不完全ダッタノデ，タダシテミル。

各村ニ定マッテ居ル tēwith Rūbak ナルモノハ，村政上ノ権力者ト云フ意味トハ其ノ原意ヲ異ニスルノデアッテ，元是等ハーツノ Kōbril ノ代表者トシテ他ノ其々ノ代表者等ト合議，協議ノ特権ト義務トヲ託サレタ<sup>[ママ]</sup>ノモナノデアル。即チ tēwith Rūbak ナルモノハ，日本ノ源平藤橘ノ如キ『大氏』ノ長<sup>[位]</sup>ナノデ，一村（一邦）内ニ於ケル Rūbak ナルモノハ，Rūbak ノ願意ニハ不拘，自分ノ Kōbril ニ属スルモノ総テヲ統率シタノデ







- a. 東西十一歩南北八歩程、Chaldükl 7%。
- b. 六歩程、東西一三、石並 7%。
- c. 南北五歩、東西四二歩程、南東端より二ツツエトナセ。
- d. Ngarabakeg, sao, bai 塚。
- e. 西一一段何ヶ部々大々 Chaldükl 7%。今一段何ヶ部々掘石多し。現在地。
- f. f 中何ヶ部々、家跡と思ふ。

〔欄外に記す〕  
 [コ<sup>○</sup>レオル, アラバケ<sup>○</sup>ツ]

杉浦君ハ午後、エラマランノ所ニ行ツテ話ヲキイテ来テクレル。

Arabakeg<sup>○</sup>ノ前住地タル<sup>112)</sup> Ngoronchol, Ngaroncholニ来ル前ハ Ochül a brüü (現砂浜)ニ居タ。其ノ時分ニハ Ochül a brüüハ現在ノ様デナク木モ茂リ、立派ナ寫ダツタ。ソレガ陥落シタノデ、村ノモノハ Ngaroncholニ来タノデアル (67頁ノ記参照)

Ngaloncholニハ人ハ居ナカッタガ、既ニ人ガ住ンダ跡ガアッタノデ、此処ニ落ツイタノダト云フ。而テ、14, 23頁, 及 29頁ニ書イタ洞穴葬跡ハ其ノ前住民ノ遺跡デ, Arabakeg<sup>○</sup>ノモノハ Ngaloncholニ於テモ既ニ Chaldüklヲ造リ、家ノ前ニ死体ヲ葬ッタモノデ、現ニ幾モノ blüchsガアルト云フ。

当時コ<sup>○</sup>レオルハ西ニ Arakabesang, Doshokel<sup>□</sup>ノ強邦ヲ控ヘ、東ニ Ngarabakeg<sup>○</sup>saoノ大邦ヲ控ヘテ常ニオビヤカサレ続ケテ居タ。折シモ Ngaloncholノ酋長 Obakalasekereいハ Arakabesang程ノモノヲ討ツハ何デモナイト豪語シテ居タノデ、a Ibadülハ

Ngalonchol ニ謀ッテ Arakabesang 討伐ノ援ヲ得ヨウトシタ。丁度 Ngalonchol デハ、既ニ人口ガ増シテ、小サナ Ngalonchol デハ食料ニ窮シテ来テ居タノデ、交換条件トシテ、Arakabesang ヲ討伐シタ暁ニハ Doshokel ヲ討チタイガ、援ケテクレルカト云ツテヤッタ。A Ibadūl トシテモ Doshokel ハ強敵デアリ、放置シテオク□ハ不利ト考ヘタノデ、早速承諾シタ。当時ノ Doshokel ハ山崎ノ atao カラ以西、マダライ迄全部ニ渡ッタ大邦デアッタノデアル。

其処デ、アラカバサン討伐ニカカリ、首尾ヨク成功シテ、次ニドショケルヲモ討チオホセタノデ、約ノ如ク、Ngarabake<sup>g</sup>ノモノハ、Ngalonchol カラ入ッテ茲ニ住ム事ニナッタノデ、始メハ Doshokel ノ村跡、今ノ無線電柱ノ下ノ広イ処ニ入ッタノデアルガ、大戦ノ跡トテ女達等ノ怖エルモノ多ク、一軒又一軒ト今ノ arabake<sup>g</sup>ヘ引サガッタモノデ、当時ハ、今ノ arabake<sup>g</sup>ハ Choreonml ダッタト云フ。因ニ Choreol ハ元 Chotraol ガ Rūbasach ヲ平ゲテ後ハ、全ク Chotraol ノモノデアッタノデ、a Ibadūl 家ハ Rūbasach ヲ討ツニ際シテ、Chotraol ヲ援ケタ功ニヨッテ、Choreol ノ政治ヲ Chotraol カラ託サレタモノデアッテ、Chotraol 家ハ隠居格ニハナッタモノノ、第何番ノ Rūbak 家ト云フ如キモノデハナク、a Ibadūl 家ノ上ニ構ヘテ居タモノデ、Chotraol ガ反対スル事ハ Ibadūl ト云ヘドモ、左右スル事ハ出来ナクッタノダソウデアル。ソコデ後顧ノ憂ガナクナッタノデ、Choreol ハ arabake<sup>g</sup> ト共ニ□東方ニ手ヲ延バシ、Arabake<sup>g</sup>sao ヲモ伐ッテ、全 Choreol 寫ヲ征服シタノデアル。 [エラマラン談]

コウラオルノ談ニヨルト、コウラオルガ入ッテ始メノ家跡ハ昔ノアプウルラカ<sup>o</sup>ン、今ノイブクルニ曲ル道ノ向フ隣リ、向フ側デ、Olsbüch ト云ハレタ処ダト云フ。

ソレカラコウラオルガ最初ニ入ッテロバサカ<sup>o</sup>ガ後カラペリリユーカラ来タト云フガ、コレオル バウモ向フニアリ、神家ノエラカル家モ向フニアル処ヲ見ルトロバサカ<sup>o</sup>ノ方ガ草分ケデハナイカト思ハレル、是レハロバサカ<sup>o</sup>ノ方ノ伝承ヲモ一度、□確メナケレバナラナイ。

67 頁ニヨルト、Ochūl a brūū ノ者ハオルワンカ<sup>△</sup>ルカラ来タ事ニナッテ居ルガ、62 頁ニヨルト Ngalonchol ノ大将ノ名ハ Ochūel a chaliṯh デアッテ、ペリリユー系ラシイ。オルワンカ<sup>△</sup>ル系ト云フハウルボサンノ者等ガ祖先ヲ伴ッテ居ルモノト思ハレル。

五日 晴，朝，晩，驟雨。

朝，役所，

午後，土瓶敷，

六日 晴, 朝, 晩, 驟雨。  
朝, 公学校ニ行き, プラブラ。  
午後, ア・バイ人形刳抜キ。

七日 終日, 雨。  
午後, 続キ,  
夜, 財務課ノ人来, 消燈迄,  
受信 三寫通陽,

八日 晴, 午後, 驟雨,  
朝, 中畑氏, 来,  
午後, ア・デアンカ<sup>(広)</sup>ル人形刳抜キ,  
夜, 財務氏, 来, 夕方永田氏ノ所ヘ行ク。絵二枚所望サル。

九日 朝, 晴, 昼ヨリ雨,  
午後, 子供, 続キ,  
晩, 中畑氏, 来

十日 朝, 曇, 昼ヨリ雨  
午後, 小子, 続キ,  
晩, 中畑氏, 来,  
毎日ヒドイ雨デ, 湿ッポクテ, 不愉快ナリ。

〔欄外に記す〕  
[[70頁参照] [N1, 109参照]]

十一日 日曜  
〔欄外に記す〕  
[ムデキイペラオノ話, [N1, 41]]

Angeaol ニ Orngis ト云フ者アリ<sup>113)</sup>。辜丸大ニシテアバイニーパイト云フ事□。バラ  
オ中ニ評叛<sup>〔判〕</sup>, 其レヲ Ngatpan ノ女, thilakabian ト云フ美人キキ, Ngäyaol ニ尋ネテ行  
□キ, thila masach (Orugis ノ母) ノ処ニ行ク。母云フ, 食料ヲモツテアバイニ行き,  
ヨカッタ夫婦ニナレ, 悪ケレバ帰レト云フ。其ノ如クシテ行ク。而テ妻ニナリ度キ旨  
ヲ告ゲシニ,<sup>〔舉脱〕</sup>丸ノ上ニアガレト云ヘバ, 女其上ニ上リテ寝ル。夜ニナルト辜丸ト穢ナイ  
皮ヲヌイデ立派ナ男ニナリテ一緒ニ寝ル。朝ニナルト,<sup>〔物〕</sup>又ヌイダ者ヲ著, 大辜丸ヲツケ  
テ座ツテ居ル。

夫婦仲ヨク暮ス。Mül ヲスル為, 二人デ Olngotokl ニ乗リテ<sup>〔ママ〕</sup> Natpan □□□ノ入口迄  
来, 水道ノ大小ヲ訪ネ, 家ガ大キイカ小サイカ, アバイノ大小ヲモキキシニ, 女曰ク,

皆小サシト。即チ皮ヲヌギテ入ル、ヌギシ鞏丸ガ Natpan ノ前ニアル岩山ニシテ、今ニ Almdūū ト呼バレル。(mdūal ハ鞏丸ナリ) ガspanニテ Mūl ヲス。

ソレヨリ Airai ニ行ク。airai ノ ochūūl-angas (海岸ノバイ) ニ行ク。(m̄thekī belau ニナル)。彼ハ Ngaldwais ヲ好ンダノデ、皆ヲ集メ、石ナゲヲ提議シ、岩山迄トドキシモノガ、Ngaldwais ノ mrēthel タラント云フニ、他ノ者ノ石ハ皆海中ニ落チル。彼ハ「俺ハ tūbachal ヲ投ゲルカラ」ト云ツテ、Shishibaniao ヲ投ゲルト舞ツテ行ツテ Ngaldwais ノ木ノ枝ニトマル。デ遂ニ自分ノ寫ニスル。

Ngaldwais ノ酋長ニ Semthiū ト云フアリ。ナカナカノ幅キキニテ高イ火ノ見台ノ□如キモノヲ造リ、其ノ上ニテ法螺貝ヲ吹クト、食料デモ何デモ全部ノ者が運ンダモノデアッタ。Mthikī Belao ハ如何ニカシテ其ノ位置ニナリタク思ヒ、其ノ Smthiū ヲ Akolth ト云フ石ノ処ニ呼ビ来リ殺シテ了フ。而テ自分ハ Airai ニ歸ツテ来ル。而テ thila Airai ト云フ婆ノ処ニ行ク。Phil-airai ハ將ニ Smthiū ノ馳走ヲ造ツテ運バントシテ居タノデ、「Smthiū ハ Akold 石ニ殺サレテ居ル、俺ハ Akolth — Alkolth — □ダ。デ其事ヲ知ラセル」ト云□フ、婆行クト Smthiū 死ンデ居ル。Alkolth, Airai ノ酋長ニナル。

Phil-airai ニハ子ガナカッタノデ、Biboycho-ngeyom ト云子ヲ子ヲノマシテ子供ヲ産マセル。

M̄thekī Belau ハ或時ハハイノ独木舟デ競漕ヲシタ。Ngayangal ノ angas ノ枝ヲキツテ来ルノガ其ノ競漕ノ里程ダツタ。而テ自分ハ Airai ヲ出ル時 Angas ノ枝ヲキツテカクシテ持ツテ居タ。Alcholon ノ向フノ Koshol ノリーフニ行キ、自分ハ一番後ニナリ、マストノ先ニ angas ノ枝ヲククリツケテ歸ツテ来ル。他ノカヌーハ Ngayangal 迄行ツタノデ皆後ニナル。

次ニハペリリユーニ競漕ヲスル。ペリリユーノキワノ toi (寫ト寫ノ間ノセマイ処) ニ Ochūel ngbald ト云フ神様が居□テ、其処ヲ通ルカヌーノ Kramangt (セイロヒクropp) ヲキツタ。Kayūi (長柄ノ鎌) デ。

七ハイノカヌーハ皆キラル。M̄thekī Belau ノカヌーハ其ノロップヲ八本□□□ツケテ居タノデ、一本キラレレバ他ヲ持チシテ七□本キラレタガ、最後ノ一本デ遂ニ其処ヲ通りヌケル。

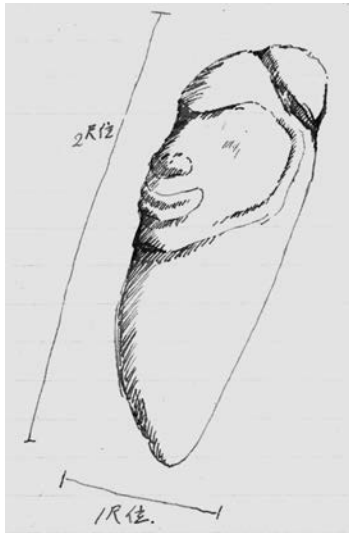
M̄thekī Belau ハ Ngabei ノ Eraidmai, clionlei ノ Erailūwon, Achol ノ krachomchūū, Ngaratmao ノ Sacharat pūyūch, ナリト云フ。M̄thekī ハ□□□ [ヒツタクル, ヒツツカム] 或ハ□□□□□ [タタキトル] ノ意ナリ。 (エラマラン談)

(欄外に記す)  
[m̄thengi]

今日ハ朝カライイ天気ダッタノデ、杉浦君トアラバケツニ出カケル<sup>114)</sup>。エラマランノ処ニ行ク。エラマランハ町ニ出ナケレバナラナイノデ、少シ話ヲキイテ石神ヲ見セテ貰フ。

モドロノ家ニアルニツハ全クノ自然石デ、一ツハ一尺二三寸位ノ稍丸イ石、一ツハ三尺モアル太イ柱ノ様ナ石、共ニ Ochüel a chaliñ □□ノ石ナリト云フ。

今一ツハエラマランノ Ulongang ノ中ニアルガ、之ハ堅イ石ノ Kriñm デ、図ノ様ナモノ。



厚サハヤット五寸位ヒノモノデアルガ、堅イ石ナノデ細工ハ極浅イガ、カナリ丹念ニヨクナサレテ居ル。Ochüel a chaliñ デアルト云フガ、元 Doshochel ノモノデ、Albarashis ト云ハレタアバイ (今長官邸ノ所) ノ側ノ Ulochöch ト云ハレタ Kaldükl ノ上ニノッタノヲ持ッ□□テ来タノダト云フ。

ドレモコレモ□□□□ Ochüela chaliñ デアルト云ハレルノハ、コテ△ツツ流ナ云ヒ方デ、昔ハ其々ノ名ガアッタモノガ忘レラレタカ、カクサレタモノデアロウ。

#### Arabachet ノ Tewiñ Rübak

| 称号            | 家名               |
|---------------|------------------|
| 1. Mürimaran  | Ngiribüchül      |
| 2. Eraiboüch  | a Ibüüch         |
| 3. Erachochül | a Chalchül       |
| 4. Eramürían  | a Mrian          |
| 5. Thengiriüs | Engattanga-eñhon |
| 6. Ngiripchal | Ngalñhals        |
| 7. Ilütngilī  | Ngülütngilī      |

其レカラエラマスブウヲ見舞ッテヤル。オギワルヘ行ツタガ、病院カラ中途デ行ツタノデ、Padelei カラコトワラレタ由、是非オギワルヘ行キ度イト云フノデ、病院ニ行ツテ西川サンニ逢ッテ話シテ来テヤル。

松本君ノ所ニ寄ル。一所ニ官房ノ□<sup>[緒]</sup>近藤サンノ家ニツレテ行ッテ貰ッテ、モルトロツ

クノ仮面ヲ見セテ貰フ。松本君モ一<sup>〔續〕</sup>所ニ、アラバケツニマハリ、エラマスブウノ所ニ行キ、四時過ぎ帰ッテクル。

夜、エラマラン来ル。

驟雨。ペリリユーノ三人出テ来ル。浪ガ荒ラクテ貝ハ取レナカッタ由、パパイヤトアコオルトヲモッテ来テクレル。

十二日 終日、雨。

朝、公学校、オレアイ人形、

午後、小学校、木葉形小皿。

帰り役所ニヨル。晩、松□本氏来、エラマラン来。

十三日 晴、夜、雨。

朝、公学校

午後、小学校

十四日 晴、夜雨アリ。

朝、公学校

午後、小学校、絵葉書額、

晩、エラマラン来、安達サン来。

十五日 晴、

朝、公学校、

午後、小学校、—

晩、中畑氏来、

十六日 晴、カラットシテ気持ヨク暑イ。

朝、公学校

午後、小学校—三時デ切上ゲマダライへ行ッテ泳ガセル。

夜、松本君、来。

〔欄外に記す〕  
[オクェル ンク△バルヅ]

Ochüel ngbald, カ△シャスニ<sup>115)</sup> 二階立ノ家ヲモッテ居タ。而テ二階ニ上ッテ法螺貝ヲフクト皆ガ馳走ヲモッテ来ル程勢力アリ。

achūōdl ト Kūōdlalma Fhalachaliṯh ノ二人ガ軍舟（大舟）ニ乗ッテペリリユーニ着イタ。其ノ□□舟ノ石ト云フガ、ペリリユーノ前ノ Ichül ト云フ岩山ナリト云フ。二人

ハ Balan ト云フ Ngardroroch ノ婆サンノ処ニ行タ。スルト其ノ婆ガ Ochüel ngbald ノ  
 処ニモッテ行ク食料ヲ一生懸命ニ作ッテ居タ。デ、其ノ食料ヲモッテ行ク時ニ二人モツ  
 イテ行ク。而テ Ochüel ngbald ト戦フ。ngbald 逃ゲテ Itharach ト云イノ中ニカクシテ  
 シマッタ。Ochüel ngbald ハ Ulwöchon 家ノ家神トナリシノミニテ、他ノ二神ガ村ノ<sup>家</sup>  
 神ニナッテ居ル。(156 頁参照)

十七日 晴，誠ニヨキ晴。

朝，公学校，ガラルドノモノ来ル。

午後，小学校，二時ニ切上ゲ，支庁，チ<sup>△</sup>ルカイ値段付ケ。

夕方，永田氏ノ処ニ一す。

寫田氏，トラック，月曜寫ニ転勤ノ為，出テ来ラレ，昼前訪ネテ来ラレ，一時間程話  
 シテ行カレル。

夜，エラマラン来。

〔欄外に記す〕  
 [ビルメヤイ]

Bilmeyai ハ天ニ在ッテ<sup>116)</sup> 人ノ魄ヲ支配スル。人ガ死スト arngüth (心，精神) 或ハ  
 Ngaren (魂) ガスケデテ天ニ昇リ Bilmeyai ノ所ニ行クノデアアルガ，其処デ Bilmeyai  
 ノ支配ヲ受ケルノデアアル。

- ( arengüth (心，精神……生キタ人ニ就イテ)  
 Ngareng (魂，魄……生キタ人，死ンダ人，共ニ用フ)  
 a Deleb (魄，或ハ人<sup>△</sup>ダマノ「タマ」，死ンダ人ニ就イテ)

Kom thil ノ時，死因ヲ巫ガタダスノハ，此ノ Bilmeyai ニ聞クノデアアッテ，ソウスル  
 ト Bilmeyai ニ使ハサレテ，Deleb ガ巫ニ来テ歌デ教ヘルト信ゼラレルガ，其ノ歌ハ巫  
 ノミガ聞クノデ，他ノ者ニハ聞コエナイ。

Bilmeyai ハ中性ト云フノデナクテ，男女両性ナノデアアッテ，巫ニ現ハレル様ナ場合ニ  
 ハ女デアリ，男トシテハ戦神トナルト云フ。

(オボカ<sup>△</sup>ツ<sup>△</sup>神話ニハ関係ナク，Latngi chai ガ海ニ居タ時ニハ既ニ天ニ在ッタト云ハレ  
 ル。下界ニ留ッタトサレル処ハ，アルコロンノ Ngafheche ノ akeḡ及ビベリリユーノ  
 Ngaliyap デアル) (ア・イバザール伝)

〔欄外に記す〕  
 [ ? ]

a・reng ハ<sup>117)</sup> 本来我々ノ中ニアル魂デ，生キタ人間，死ンダ人間ニ就イテ共ニ用サ  
 ラレルガ，ソレハ魂魄ソノモノデアリ，一方智能感情方面ニ拡大シテ心，乃至氣持ヲモ  
 表ハス語トナッタ，



deleb ハ此ノ reng ガ人体ヲハナレテ (死人), シカモ其ノ元ノ人間乃至 (恐ラクハ動物ノ場合モ) 動物ノ, 普通ニハ見エナイガ特別ナ時ニ見エル形ヲトッテ独立シタモノヲ云フノデアロウ。

〔欄外に記す〕  
〔山彦〕

アイライノ Ngāthi-ūl ニ<sup>118)</sup> sakasabal ト云フ者ガアツタガ, 夜 metangara Ongos ノ Chaldū bechel ヲ使ッテ魚トリヲシタ。

而テ Ngarangel-ochūlūl ト m̄hatoū mlochoth ト云フ二匹ノ魚ヲ取ツタガ, 明方帰ッテ来テ舟ノフタヲ開ケルト, Ngarangel-ochūlūl ノ方ハ忽チ逃ゲテ岩山ニ行ッテシマツタ。而テ人ガ呼ブト, 同ジ事ヲ答ヘタ。魚ガ逃ゲタト云フト, 向フデモ魚ガ逃ゲタト云フ。何ウシタンダト云フト, 何ウシタンダト答ヘル。是レガ山彦, コダマノ元ダト云ハレル。(バラオニハ山彦ト云フ言葉ガナイ。デ山彦ガ聞エルト Ngarangel-ochūlūl ガ居ルト云フ)

M̄hatoū mlochoth ハ片方ノ目玉ガ Chalbūchūb ダツタト云フ。其ノ chalbūchūb ハ今, Peliriū ノ Eramūsngēi ガ持ッテ居ルト云フ。 (エラマラン)

〔17, 52 参照〕

十八日 日曜日 晴, 午後ヒドイ雨。

朝, 天気ガイイノデ Almīth ニ出カケ, カ<sup>○</sup>タ<sup>△</sup>ルバイヲ訪ネテ夫婦カラ Arakabesang ニ就イテ色々話ヲキク。昼ニ帰ッテ来テ暫ラク昼寝。起キルトヒドイ雨ニナル。晩, 佐久間氏ノ処ニ寫田氏ヲ訪ネル。寫田氏不在, 奥サント話シテルト, 九時頃ニナッテ寫田氏帰ラレ, 十時半頃マデ居テ帰ル。

十九日 曇, 昼雨, 晩雨。

朝, 公学校,

午後, 小学校, ボート,

夕方, 帰ッテ来ルト, 途デ寫田氏ニ逢フ, 家ニ来テ待ッテ居ラレタ由, 一緒ニ邦人会ニ行ッテ夕食。

二十日 雨。イヤニナル雨。

朝, 公学校,

午後, 小学校

役所ニ行ク。

二十一日 晴，雲多ク一時雨。

朝，公学校，

午後，小学校

帰り役所ニ行キ，チ<sup>△</sup>ルカイ値段ツケ。

夜，エラマラン来。

島田氏ノ奥サンガ乗船スルノデ，昼オ別レニ行ク。

二十二日 晴，

寫田氏，今日乗船サレルノデ，朝早クオ別レニ行ク。

朝，公学校

午後，小学校

夜，松本君来ル。

二十三日 晴，氣持ノイイ晴，

朝，公学校

午後，小学校，版画

杉浦君ガ先日カラヤッテ居タ酒飲台ガ出来タノデ，晩，安達サンヲ呼ンデ台開キニ酒ヲ飲ム。

受信 寫田恒久

二十四日 晴，何テ真蒼ナ暑サダ。

午前，公学校，アルドコール，エラロイス来ル。

午後，小学校，板ヲ与ヘ最後ノ自由作。

軍艦来ズ，二十八日頃ニナル由，明日ノ日曜ヲ遊ブ為，アイバザールノ所ニ行キ，舟ヲカリ□ル。講習生等ノ所ニ行クト，向フカラ出テ来ル。皆遊ビニ来ル。

Ongil Klobosei

|                  |                   |
|------------------|-------------------|
| A kikki          | 植付後ノ祭             |
| Asols            | モノノ出来上ツタ時ノ祝ヒ      |
| mūl              | 結婚披露（但シ結婚後暫クシテ行ク） |
| terochol         | 勢力アルモノノ大結婚披露，     |
| mngūl brūū       | 組合仕事後ノ慰労交歓，       |
| olongasach mreka | <u>ア・バイノ</u> 出来祝， |
| chalshiml        | 小サナ結婚披露           |
| Ochoraol         |                   |

二十五日 日曜日 晴，気持ノイイ，

朝早く，カ<sup>〇</sup>タ<sup>△</sup>ルコロイトバウメルトガ来テケル。

八時過ぎ，弁当ヲモッテア・イバヴールノアタオカラカヌーヲ出ス。空ガ思イキッテ晴レテ，引キカケタ海ガ手ノトドク様ナ白イ底ヲギラギラト光ラセル。

マタ<sup>△</sup>ライイノ前デ私達ハカヌーヲ止メ，膝程ノ海ニオリテ，足ノ裏デ底ヲ搔イテ幾ツカノ貝ヲトル。キコイト\_\_\_\_\_ト。ソレカラ岩山ノ間ノtoiヲスケテマラカルニ出ル。マラカルニ上陸ハシタモノノ，海岸ヲ暫ラク向フヘ廻ッタダケデ，見ルモノモナイカラ，再ビカヌーヲ出シ，途デ小サナ岩カラウブツ<sup>△</sup>ルラー一本トッテ向ヒ側ヘ行キ，30番水道標ニカヌーヲツケ，ウブツ<sup>△</sup>ルノ皮デ釣ヲイハエテ，貝ノ餌デ釣糸ヲ垂レル。三十分モカカッテ，私ガ赤イノヤキイロイノヤ四尾釣り上ゲタキリデ，他ノ者達ハ一尾モトレナイ，デ，チキニ飽キテシマッテ，河童ノ様ニ海ニ飛ビコンデシマフ。私達ハシバラク遊ンダガ，杉浦君ガカイバックルデチギッタ様ナ刺身ヲ作ッテクレタノデ，<sup>〔酢〕</sup>酸ト醤油デオ弁当ヲヒラク。

ソレカラ二十八番道標ニ場所ヲカヘタガ，此处デモ私ガ二尾ツリアゲタ他ニハボウメルトガ一尾ツツタキリ，デ又々皆海ニ飛ビコンデシマフ。

ソレカラ，オコ<sup>△</sup>ロンク<sup>△</sup>ルノ方ニ廻リ，カヌーヲ流シナガラ糸ヲ垂レタガ，一向ヒカナイノデ，——モウ釣ハ二本シカ残ッテ居ナカッタ——糸ヲカ<sup>〇</sup>タ<sup>△</sup>ルコロイトボウメルトニモタセテシマヒ，私ト杉浦君ハ泳イデ岩山ニ上ッテシマフ。釣りハ一向駄目ダガ，私達ノ体ハモウヒリヒリスル様ニ焼ケテ，健康其物ノ様ニ浄メラレテ。

密林ノ下ノ石灰岩ノ上ニチョコント裸デ蹲ッテ居ル私，上ノ方ヲ大キナ蝙蝠ガフワフワ飛ンデ居ル此ノ景色ハ，確ニアマリ現実的デハナイニ違ヒナイ。

カヌーノ方デハトウトウツレナイデ，私達ノ方ニ寄セテケル。私ガ舟ニ泳イデカヘルト，二人ノ寫民ハ變ッテ岩山ニ上ツタガ，浜モナイ岸ニ，本寫ノ岩山ニ，<sup>〔得力〕</sup>餌物デモ居ナイカトばかり，注意深クナッテ居ル裸ノ寫民，大キナ石ヲ拾ッテハ，何かネラッテ投ゲル寫民——イツモハ小倉カ何カノ黒イズボンヲハキ，シャツナンカ着込ンデ，ダラシナクブラブラ通りヲ，店ノ前ヲ歩イテ居ル中途半バナ寫民トハマルデ違ッタ此ノ寫民ノ中ニハ，何テ立派ナ美シサガアルダロウ。黒ン坊ハコノ様ナ背景ノ前ニ此ノ様ニ置カナケレバ，決シテ彼等ノ美ハ現ハレナイノダ。

其処ニアルノハ着コナシモ出来ナイデ居テ，其ノ上ニモ趣味ノ練レナイ処カラ，只々派手々々シイナリヲシタモダーンノ——云ハバロートレク式ノ皮肉ナ美，露骨ナ劣情トチグハグニ糊塗サレタ無智デハナクテ，野蛮デハアルケレドモ，生キルモノ□ニ与ヘラレタイミジクモ生キルベキ本能，生命アルモノガ正シク生カシテ行ク生命，刻一刻ト握マレテ行ク，□□波マレテ行ク処ノ——ソんな命ノ泉ノホトバシリデアリ，自然ノ中ニ自然ガ動イテ生キテ行ク処ノ力デアル。

二十六日 晴,  
朝, 公学校,  
軍艦入ル。  
午後, 小学校,  
夜, 後藤氏ヲ訪問。

二十七日 晴, 美シイ暑イ,  
九時ヨリ海軍<sup>(記)</sup>記念日トテマタ△ライイニテ海軍ノ運動会, 十一時, 佑サン<sup>119)</sup>ガ訪ネテ  
クレル。

明日, 軍艦ニ訪ネル約束ヲシテ波止場デ別レル。午後, 公学校ノ連中ト一緒ニ講習生  
等ヲツレテ, 軍艦那智見物。

二十八日 晴,  
朝, 公学校,  
支庁ヨリ電話, 九時半支庁ヘ行ク。  
十一時半ノランチニテ罵民五人ツレ, 足柄ヘ行ク。佑サンガ食事ノ用意ヲサセテ置イ  
テクレタノデ, 直グニ昼食, 後デッキニ出テ二時迄ユックリ話シ, 二時十分ノランチデ  
帰ツテクル。支庁ニ行キ, 四時ヨリ市場□ニヂルカイヲナラベル。五時, 佑サン出テ来  
テ園遊会ニ行ツタノデ, 六時過ギ迎ヘニ行キ, 一緒ニ邦人会ニ行キ, 夕食, 寝ル迄ユッ  
クリ話シ, 泊ル,

二十九日 晴,  
八時, 佑サン艦ニ帰ル。  
公学校,  
午後, 小学校,

三十日 晴,  
朝, 公学校  
午後, 小学校  
夜, カダルコロイ, アルマガサオ, ギリミドル, バウメルト, エレエル来。

三十一日 晴,  
朝, 公学校, 十時ニヤメ支庁ニ行ク。明日ヨリ, 小学校ヤメ, 公学校生徒ノ筈ノ所,  
支庁長ヨリ一週一回デモ, 小学校ヲ続ケル様トニテ, 土曜日ダケ小学校ニ行ク事ニスル,  
午後, 小学校,

三時、学校ヨリ直チニ村田校長ト一緒ニカヌーヲ出シ、マラカル迄行き、校長、網ヲ打ッテ鱒ヲ五六十トッテ来ル。一寸波止場ニ帰ルトカ<sup>△</sup>ダルコロイ、ボウメルト達、弁当道用ヲ持ッテ来ル。向フハ潮ノ上ゲルノヲ待ッテボートヲ出スカラ、先ニ行ッテクレトノ事デ、スグ30番水道標ニ出テ糸ヲ垂レル。小サナ魚ニツトリシノミ。ボートクル。28番ニ行ク。駄目。トツブリ暮レル。競漕シナガラオコ<sup>△</sup>ロンク<sup>△</sup>ルノ中ニ来ル。駄目、再ビ30番水道標ニツケシモ更ニヒカズ、

十二時過ギ引返ス。

## 六月

一日 日曜 晴、

二日 晴、朝一寸雨、

今日カラ、午前、午後共公学校、但シ土曜日ダケ午後、小学校。

午後、子供達二人宛組デカヌー

三日 晴、朝小雨。

朝、公学校

午後、公学校

四日 晴、小雨、

朝、公学校

午後、〃

晩、講習生等来ル。

五日 晴、小雨。

朝、公学校

午後、〃

晩、中畑氏来。

六日 晴、小雨。

朝、公学校

午後、〃

大宜味ト云フ人訪ネテ来テ、色々パラオノ事ヲキイテ行ク。

夜、カ<sup>○</sup>タ<sup>△</sup>ルコロイ、長イコト話シテ行ク。

七日 晴

朝, 公学校

午後, 小学校,

八日 日曜日 晴, 夕方, 驟雨。

朝, カ<sup>○</sup>タ<sup>△</sup>ルコロイ, アルマカ<sup>△</sup>サオ, キ<sup>△</sup>リミドル来ル。弁当ヲ造り出カケ, アルボ  
ーヴルニ行キ, エルウロンヲ訪ネ, 椰子ノ水ヲ貰ッテ暫ラク休ミ, 皆デ一緒ニカ<sup>△</sup>ルミ  
ツ<sup>△</sup>ニ行ク。少シ遅クナッテ汐ガ干テシマッテ居テカヌーガ出ナイノデ, 皆デ歩いて魚  
トリニ出カケル。散々泳ギマハツタリ, 浅イ所ヲ駈ケマハツタリシタガ, アヒニク一尾  
モ魚ガ居ナイ。デ, アキムラーツニツツッテ, 酢醤油デ弁当ヲヒラク。一時泳イデ遊ビ,  
アバイニ帰ッテ来ルト間モナク, エルトロンガカ<sup>△</sup>ピンク<sup>△</sup>ンカラサバヲ六七尾モッテ来  
テクレタノデ, 鍋ヲカリテ来テ醤油デ煮, 頭ダケ皆デ食ベル。コンナニシテ食フト, 粕  
ノ様ナ魚ノ頭ガナカナカウマイ。身ノ方ハ弁当箱ニ入レテ帰ル。途中アチ<sup>△</sup>ヨンデ水ヲ  
アビ, アケツノ風ニ吹カレテ帰ッテクルト, 氣持ヨク勞レテ□居ル。一寸寝テタ食, 九  
時半早寝。

九日 晴,

朝, 公学校

午後, ♪

夕食後, 支庁長ノ所ヲ訪ネタガ留守, スグ帰ル。エルウロン, タカ<sup>○</sup>ラックルヲ持ッ  
テ来テクレル。

天気ツヅキデー一夜一夜ト月ガ美シクナッテクル。今夜ノ月ハ空ガ深イノデーシホ明ル  
イ。ダガコロールデ家ノ中ニ引込<sup>(折)</sup>ンデ居テハ, 切角ノ月モ無イヨリイ位ヒニ思フダケ  
ダ。マルキヨクアタリデハ, 此ノ上天氣ノ毎日, スッカリ汐ノ干タ白浜ニ, 薄暮ノ様ナ  
月影ノ砂浜ニ二十人モ三十人モノ子供達ガ出テ歌ツタリ踊ツタリ, ハシャギキッテ, 夜  
ノ更ケルノヲ忘レテ居ルダロウニ。

十日 晴,

朝, 公学校,

午後, ♪, 長官ガ帰ツタノデ, 子供達出迎ニ出, 後集ラズ。

夕食後, 邦人会デ大宜味ト云フ人ノ講演会ガアルト云フノデ行ッテミタガ, ツマラナ  
イ。

十一日 晴, 夜驟雨。月誠ニ明ルシ。

朝, 公学校

午後、ク

夕食後、支庁長ノ所へ行ッタガ、留守、

十二日 晴，朝，夕驟雨。

朝，公学校

午後，ク

夕食後，支庁長ノ所ニ行キ，此ノ六月デ役所ヲ止メサセテ貫フ様ニ話シテ来ル。<sup>[辭]</sup>

夜，大沢君来テ遅ク迄居ル。

十三日 晴，昼驟雨，

朝，公学校

午後，ク

晩，大宜味氏来。後，□□松本君来，一時頃迄モ話シテ居ル。

十四日 晴，昼驟雨。

朝，公学校

午後，小学校

夜，カ<sup>○</sup>タ<sup>△</sup>ルコロイ，デルタン来テ，消燈前迄遊ンデユク。

十五日 日曜

カタ<sup>△</sup>ルコロイ，アルマカ<sup>△</sup>サオ来ル。九時頃，皆デアアルミツ<sup>○</sup>ニ行ク。アヨブク<sup>○</sup>ノカ  
ヌーヲ借りテ海ニ出ル。魚居ズ。アキムノ大キナノヲ得タノデ，柱ヲ□酢醬油ニシテ弁  
当ヲヒラク。帰ル頃ニナッ□□テレウノ二尺五寸モアルノヲトル事が出来タノデ，持  
ッテ帰ル。

帰り，例ノ池デ水ヲ浴ビテ上ルト雨ニナリ止マズ，ビチヨ濡レニナッテ帰ッテ来ル。

十六日 晴，

午前，公学校

午後，ク

十七日 晴，夕方雨。

午前，公学校

午後，ク

十八日 晴, 夜, 小雨,

午前, 公学校

午後, ヶ

四時ヨリ学校ニテ林氏ノ送別会。

発信 三澤寛, 稲,

柴山梅子, 大江安之介, 青田幸吾, 大橋慶竜, 東郷吉太郎, 中澤佑,  
田辺保男。

十九日 晴, 昼, 小雨,

午前, 公学校

午後, ヶ

二十日 晴, 晩, 暫ラク雨。

午前, 公学校, 着色

午後, ヶ

発信 本田伊萬子, 小城タカ子, 上原小菊, 島村米子, 上原寿造, 平寫雄一郎,

川上親恒,

受信 寫田恒久,

二十一日 晴, 小雨。

午前, 公学校,

午後, 小学校,

婦り金井サンノ所ニ寄ッテ来ル。

晩, ア・イバヴァールトビルントイラケツノ婆サント呼ンデ飯ヲヤル。

オギワルニ行ツタエラマスプトカラ野鷄ヲトドケテ来ル<sup>120)</sup>。

二十二日 日曜日 晴, 夜, 小雨。

モウ一週間デ講習ガ終ルノデ, 子供達ガ皆デ遊ビニ行カウト云フノデ, 出カケル。ア・イバヴァールカラ舟ヲ借りテ置イタノデ, ツ<sup>△</sup>ルイノアタオカラ出タガ汐ガ干テ居ルノデ, 皆デ独木舟ヲカツイデアタオノ外マデ出ナケレバナラナカッタ。アタオノ外迄出テモ, 舟ガヤット浮クダケナノデ, 私ダケノッテ, 皆ハ舟ヲ押シテ行クノダ。少シ深イ所ニ行クト皆ノリ, 浅イ所ニ行クト降りテハ舟ヲヒイテ。

カ<sup>○</sup>タ<sup>△</sup>ルコロイトアルマカ<sup>△</sup>サオトギリミドルトハタオツ<sup>△</sup>デ魚ヲ追ヒ追ヒ行ク。天気ハ上乘, 浅イ汐ヲ三人ハ魚ヲ追ッテバシャ□バシャカケマハッテビスカンヲ投ゲタガ, 三人ガ一尾ヅツア・ブツ<sup>△</sup>ク<sup>○</sup>ヲトツタシ, 外ニ小サナ魚モトツタノデ, マタ<sup>△</sup>ライノ先



ヲアラカベサンノ方ニ渡ッテ、更ニカ<sup>〇</sup>タ<sup>△</sup>ルコロイガ<sup>〔鮎〕</sup>尻ヲツト鯛ヲ何尾カトル。海ガ  
イイノデ私トエレエルトデルタントハ舟カラ降りテシマッテ潜ッテ見ナガラ泳イデ行ク。  
私ハ<sup>リ</sup>ーフノ間ニ沢山ノ魚ガ游イデ居ルノヲ見ルノガ何ヨリ好キダ。砂地ニアル美シイ  
色トリドリノ角<sup>リ</sup>ーフノ所モイイガ、支那ノ庭園カ山水ノ画ノ様ナゴツゴツト盛り上ッ  
タリ、深イ谷ニナツタリシテ居ル大キナ<sup>リ</sup>ーフノ間ヲ、綺麗ナ魚ガヒラヒラ游イデ居ル  
ノハ実ニイイ。先ニ舟デ行ッテ連中ハ、スグ先ノ石浜ニ上ッテ、モウ石ヲツンデ爐ヲコ  
シラヘテ居タ。一人ハ釜ノ米ヲ洗ッテ居タ。或者ハ薪ヲ拾ッテ来タ。ハムトロースト・  
ビーフノ罐詰ヲアケテ、御飯ノ中ニ焚キコム様ニ云ヒツケテ、トツタ魚ト<sup>〔鮎〕</sup>刺身ニ  
サセ、酢醤油ヲ造ラセテ、私ハ<sup>イ</sup>ラロイスヤカ<sup>ラ</sup>ラデルト其ノ間又海ノ中ヲ泳ギマハッ  
テ遊ンダ。飯ガ出来タ。私ノ<sup>プ</sup>ラト<sup>ン</sup>ハ釜ノ蓋ダ、刺身ハ<sup>バ</sup>ナナノ葉ニナランデ居ル。  
アキ罐ニハ酢醤油ガアル。子供達ハ皆デ三四人ツツニ御飯ヲワケ、魚ヲ火デ焚イテ競争  
ノ様ニムサボリ食フ。皆腹イッパイ食ッテシマフト、一寸□休ンデ又舟ヲ出ス。其シテ  
□<sup>ソ</sup>コ<sup>△</sup>ツルノ村ノアル砂浜ノ方ヘ舟ヲ□廻ス。皆ガ砂浜ノ方デ又魚ヲ追ッテ居ル間ニ、  
私ハ<sup>イ</sup>ラロイスト二人デカヌーヲ棹サシテ前ノ小島ニ行キ、頂上ヘ昇ッテミル。コンナ  
寫ニモ誰カ蜻ノ葉デモトリニ来ルモノカ、草ノ中ニ小サナ道ガツイテ居ル、而テ一番高  
イ平地ニハ一間四方程ノ休□ミ場、四本ノ柱ノ上ニ椰子ノ葉ヲ葺キ、下ニモ亦椰子ノ葉  
ヲシキツメテ休ミ場ガ拵ヘテアル。一寸此處デ休ンデカラ又海ニ降り、舟ヲ<sup>リ</sup>ーフノ方  
ニ引イテ行ッテ<sup>〔遊〕</sup>遊イデ居ルウチニ、皆モ魚ガトレナイデ、帰ッテ来ル。長イコト此處デ  
遊ブ。汐ガスッカリ上ゲタ。<sup>〔魚〕</sup>漁ヲトルモノ、角力ヲトルモノ、鬼ゴッコヲスルモノ、潜  
リッコヲシテ石コロヲ拾フモノ——私ハ土人達ガ黒イ体ヲ軽々ト水ノ底ニ潜ッテ行クノ  
ヲ見テ居ルノガ一番好キダ。足ノ裏ダケガ黄色クハッキリト見エル——帰り又一寸竹ヲ  
切りニ舟ヲ寄セテ上ツタ所、カ<sup>△</sup>ラルドノ子供達ガトコ<sup>△</sup>ベイノ畑カラ砂糖黍ヲ三四□本  
モヌスンデ逃ゲテ来タノデ驚イテ居ルト、直グニ砂浜ノ方カラ舟ヲマハシテトコ<sup>△</sup>ベイ  
ノモノガ沢山ニ集ッテ来ル。舟五六艘モ<sup>〔ママ〕</sup>抑シ寄セテ来テシキリト抗議ヲハジメタガ、私  
ガ中ニ入ッテヤツタノデ何ノ事モナク済ミ、トコ<sup>△</sup>ベイノモノハ其ノ儘夕方ノ教会ヘト、  
コ<sup>〇</sup>レヨルノ方ヘ舟ヲナラベテ漕イデ行ッタ。

二十三日 曇、晴、

朝、公学校

午後、公学校

夕方、松元氏、金井氏来。

二十四日 雨、晴、夜、小雨、

朝、公学校

午後、々

夕食後、金井氏ノ処ニ行ク。

二十五日 雨、降ッたり止ンダリ、  
朝、公学校、支庁ニ行ク  
午後、  
夕方、五十嵐氏来。

二十六日 晴、夕方ヨリ雨  
朝、公学校  
午後、  
夕方、アイバドール来。

二十七日 雨、降ッたり止ンダリ、愈々本物ノ雨□季、十一月ノ様ニ寒ク、島民達皆鼻ヲスクスクヤッテ居ル。

朝、公学校  
午後、

二十八日 晴、午後、小雨、  
朝、公学校  
午後、小学校、本日ニテ講習終ル。

二十九日 日曜 曇、小雨。  
朝十時、書記官訪問、松本君ノ訪ニヨリ中昼、  
長官訪問、玄関バラヒ。金井氏訪問、共ニ支庁長訪問、

三十日 風、雨。  
朝早く、役所へ行き、賞品ヲ揃ヘテ公学校ニクル。  
十一時ヨリ木彫講習生、修了式。  
午後、作品ヲ支庁ニ運ブ筈ナリシモ、雨ハゲシクテ止メ。

## 七月

一日 曇、雨少シ時々、風、  
早朝、支庁ニ作品ヲ運ブ。支庁、刑務ニ挨拶ニ廻ル。愈々今日ヨリ、役所ヲ止メル。  
園遊会ニユキ、三時頃、帰ル。

受信 大野達之助, 本田讓二,

二日 カラウジテ晴,

役所ニ行ク, 道具ヲカヘシ, 方々ニ挨拶シ, 十一時, 長官ノ所ニ挨拶ニ行ッテ, 一時  
間程モ話シテ来ル。金井氏ノ所ニ行キ昼食, 午後, 作品値段ヅケ。

夕方, 村山氏ノ処ニ行キ,

晩, 講習生等ヲ家ニヨンデ, 飯ヲ食ハセル。

消灯後, <sup>〔忽カ〕</sup>悠チ篠ツク様ナ瀧ノ様ナ雨ニナ□□ル。

三日 晴, 午後雨, 烈シ。

役所ニ一寸行ッテクル。帰ルトチキ雨ニナリ, 烈シクナリ, 夕方, 観測所カラ暴風ノ  
警告ガ出タガ, 間モナク又, 暴風ハアルミツノ先ヲ通ッタトモ云ハレタ。雨ハ風ハ静カ  
ニハナッテ行クガ, マダ止マナイ。

ベリリユーノ三人ガ朝カラ手伝ヒニ来テ居タガ, 杉浦君ハ出タキリ雨ニアッテ帰ラズ,  
終日降りコメラレテ, 「ダマン」ヲヤッタリ, トランプヲヤッタリ。

発信, 本田讓二, 大野達之助, 寫田恒久,

四日 晴, 雲多ク, 時々驟雨烈シク, 風吹ク。

朝, 一寸役所ニ行キ, 直グ帰ル。

チキニ雨ガクルノデ出ル事モナラズ, 家ニ引込ンデ居ル。

晩, 松本, 中畑氏来。

五日 晴レルカト思ヘバ<sup>〔忽カ〕</sup>風雨悠チ来, 終日引込ンデ居ル。夜, 五十嵐氏ヲ訪ネル。

六日 日曜 晴, 雨, 風, メチャクチャ,

夜, 荷物ヲ造ッテ不用ノモノヲ安達サンノ家ニ運ンダガ, 未ダ緑丸ハカ△クラオカラ  
帰ッテ来ナイ由, 松本君来ル。

七日 晴, 何回トナク驟雨。雨, 何回トナク晴レト云フ方ガイイ,

朝, カモメ丸ガ迎ヘニ行ッテ, 緑丸ト一緒ニ二十時頃帰ッテ来ル。緑ハ少シ具合ガ悪イ  
由, 修繕シテ明日十一時ニ出航ノ由, 夕方, 荷物ヲ緑丸迄運バセテオク。

夜, 中畑氏, 松本氏来。

## 八日

雨、九時家ヲ出、波止場ニ出ル。十一時前出航、シケ、岩山ノ間ヲヌケル間ハ静カダツタガ、出ルトユレル。雨上ッテコロール本郷方面ノ山トハチガッテ、平タイ低イ嵐々が見エル。四時頃、カ<sup>△</sup>ルコ<sup>○</sup>ル着、今日ハココデ宿ルツモリダツタノデ、カ<sup>△</sup>タルコ<sup>○</sup>ロイトアソコ<sup>○</sup>ルヲ拾ヒニ行ク。空気銃デ□ソコ<sup>○</sup>ソー羽トル。竹内氏、大隅氏共ニ宿ル。

## 九日

早く三人ガ空気銃デ□バタ<sup>△</sup>オトキュイツヲトッテ来タノデ、昨日ノ□ソコ<sup>○</sup>ソト共ニ煮テクカウデ朝食、竹内氏ハ早くカ<sup>△</sup>シャスニ向ケテ出、大隅君ハビナスデコ<sup>○</sup>レオルニ帰ル。

九時頃、カヌーニ荷物ヲパイツミ、大工サントアルマカ<sup>△</sup>サオニハ陸道ヲ歩イテ貫ヒ、自分達ハカヌーデアシャスニマハル。砂浜ノ向フノロイス・カミヤンカ<sup>△</sup>ル、青イ低イ木々ノ間ニ白イ枯木ノ林ハ長イ長イア<sup>△</sup>タオ、嵐ノアトノヒョウリョウタル朽木ノ埋積、所々ニ緑ガ少シバカリ、其間ヲ□ソコ<sup>○</sup>ソガタカ<sup>△</sup>ディディックガバタ<sup>△</sup>オガ、ソコ<sup>○</sup>ウガ、荒ラサレタ事ノナイ、ノドカナ馬鹿達ガ、空気銃ノ音ヲ机ガ転ンダ位ニ思ッテ居ルノハ、□ソコ<sup>○</sup>ソヲ五羽、蟹ヲ一ツ。一時半ア<sup>△</sup>タオニ着キ、コ<sup>○</sup>テコ<sup>○</sup>ヲ貫ヒ、皆焼イテ食事。

三時頃、村ニ入ル。カ<sup>△</sup>タルコ<sup>○</sup>ロイノ小サナ家、学校ニ行キ、駐在所ニ行キ、帰ルトカ<sup>△</sup>タルコ<sup>○</sup>ロイガ野鶏ヲ二羽トッテ来テケル。夕食後、長氏ノ処ニ行キ、十一時頃迄話シテケル。月ヨシ。

## 十日

朝、三人ガ野鶏ヲ二羽ウツテケル。長氏来リ、何デモ助教員ノ処ガアイテ居ルカラウツレトノ事、何処ヘ行ッテモ人ノ親切デ縛ラレタル如クニテキュークツナル事、寝具ダケ運ンデオク。

九時頃ヨリ皆デフックラブルーヘ出カケル。

若イ椰子ノ道、バ□パイヤノ畑、カ<sup>○</sup>ラマル等灌木ノ林、平ラナ道ヲ二十分モ行クト、エルウト云ハレル古イリーフノ垣ガアル。左右ノ袖ハ山ノ中マデ続イテ居ルトノ事ダガ、草木ガ深イノデ行ク事ヲアキラメル。(N1.188ヲ見ヨ)

[欄外に記す]

[エル・ウー Ibelao]

此処カラ一寸行クト、チキニ村ニ入ル。家ハ十四軒、村長ノ家ニ一寸ヨリ、海岸ニ出ル。涼台、大キナメリケン松(アカ<sup>△</sup>ス)ガ三四本アッテイイ影ヲ作ッテ居ル。近イリーフノ中ハ水ガ干テビチャビチャニナッテ居リ、藍色ノ外海ノ向フニ、アンカ<sup>△</sup>ウルガ静カニ横ハッテ居ル。春野ノ様ナ草ト枯木ト(此ノ枯レタ立木ハスベテ暴風ノ名残りダ)涼シ過ギル風ト、

五月ノ様ナ青草ノ上ニ昼寝。

ルレウヲ取りニ出、ルレウ三尾ト魚ト貝トヲトッテ来ル。

遠藤氏来、暫ラク木ノ下デ話シテ帰ル。

ルレウヲ煮、貝魚ヲ焼き、アルマカ<sup>△</sup>サオノ家カラビスヲモッテ来テ貰ッテ食ベル。

村長ノ処ニ話ヲ聞キニ行ッタガ、マルデ駄目、

日暮マデアバイデ休ミ、——今日ハオラキルーダ——村ノ子供達、娘達二十人バカリト一緒ニ浜ニ出ル、アルクンヲトリニ行ク。バスケヲモッテ割竹ヲ曲ゲタ鋏ミヲモッテ、一寸ツカムトバリバリト鋏足ヲモギトッテハバスケノ中ニ抛リコム。何テ騒々シイハシヤギ方ダ。ダガ又、此広叫ビガ、タツタ村迄デモカスカニデモキコエタロウカ。只□<sup>リ</sup>一フニウツ浪ガ、□□□□椰子ニ吹ク風ガキイタダケダ。而テ此ノ気持一パイノハシヤギ方ダッテ、遠イ遠イ静カナ月ガ見下オロシタダケダ。向フデ休ミ、長イコト唄ヲ唄ッテ帰り、鋏バカリヲテケ<sup>△</sup>リックニイッパイ貰ッテ、九時頃アシヤスニ帰ッテ来ル。三人ガ先ニ帰り、野鶏ヲトッテ来テ煮テ置イテクレタノデ、空腹ヲ充分ニ満タシテ、十一時頃寝ニ引上ゲル。

#### 十一日 (金)

晴、早ク家ヲ出、カ<sup>△</sup>ルドロロコ<sup>○</sup>ニ向フ。

蚊、大変ナ蚊ダ。カ<sup>△</sup>ルドロロコ<sup>○</sup>デー寸休ミ、カ<sup>△</sup>リヤップノ廢村ヲ通り、カ<sup>△</sup>ッタンカオノ廢村ヲ通ッテ、ケ<sup>△</sup>リックルノ浜ニ出ル、椰子ノ水ヲノンデ勢ヲツケ、弁当ヲヒライト元氣ヲ呼ンダガ、昨日ノフクラブルトハ反対ニ、風ガ少シモ通ラナイデ暑イ。杉浦君トキ<sup>△</sup>リミドルハ裸ニナッテ砂ヲカブッテ寝テシマフ。此処ハ砂ハ僅カデ岩バカリ、カ<sup>△</sup>タ<sup>△</sup>ルコロイト二人、凸凹ノ岩ヲトンデ子安貝ヲ沢山ニトッテ来ル。三時頃カ引上ゲテ来ル。カ<sup>△</sup>ルドロロコ<sup>○</sup>ノ堺ニ来ルト、一寸引カヘス様ニ折レテカ<sup>△</sup>イスノ池ニ行ク。長ク人ガ来ナイト見エテ、一面ニ青イ藻ガ浮イテ居タガ、ハラハセルト下ノ水ハ清水ノ様ニ綺麗ダ。裸ニナッテ皆デ飛ビコム、深イ水底カラ大キナ岩ガ所々ニゴツゴツトモチ上ッテ居ル。四方ハ鬱蒼タル森ニカコマレ、上ニハ丸ク蒼空ガ開イテ居ル。魚ガ少シ。サッパリ□シテ上ッテ来、四時過ギカ<sup>△</sup>ルドロロコ<sup>○</sup>ニ出ル。バイデ馳走ニナリナガラ、ルバク達カラ少シ話ヲキキ、——驟雨が来ル——夕方暗クナッテ、カ<sup>△</sup>シヤスニ帰ッテ来ル。晚、長氏ノ処ニバスマラヒニ行ク、遠藤氏モミエ十時頃マデ話シテ帰ル。

✓ Ngaldroroch . . . . . 神 chūōdl

Teurth Rūbak

adūi

blai

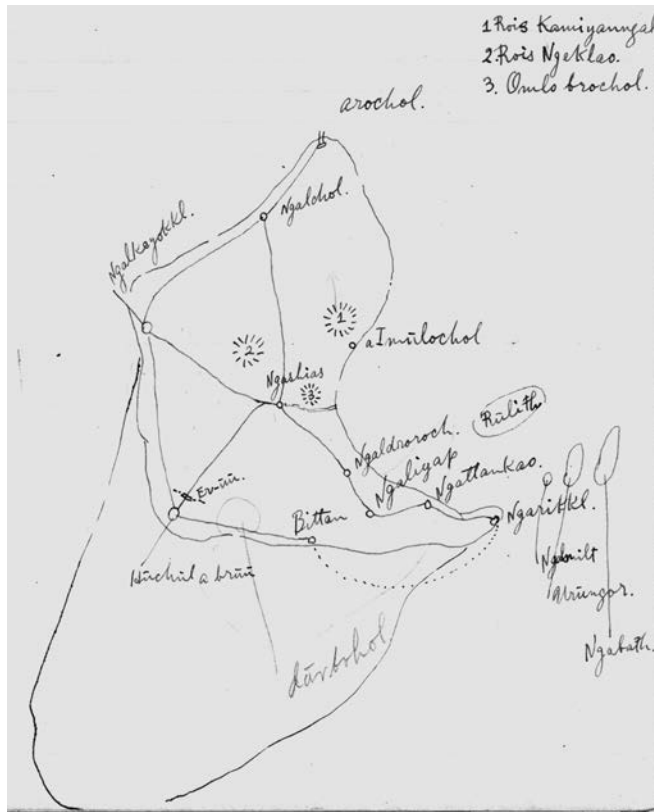
1. Chobak la lūiith

Lūiith

- |               |             |
|---------------|-------------|
| 2. Itherech   | Ngelchelao  |
| 3. Itpiki     | Ngeshilion  |
| 4. Itheshial  | Ngūlūngan   |
| 5. Asmao      | a Ithelchei |
| 6. Machocheū  | Hosēcheṭh   |
| 7. Ngilngaban | a Sūwei     |

✓ Hūchūl a brūū . . . . . 神 Ngira ṭhe ṭhemonoi

- |     |                    |          |              |
|-----|--------------------|----------|--------------|
|     | adūi               | Kereomal | blai         |
| 1.  | Rūngor             |          | Ngirimidol   |
| 2.  | Rūngūrkel          | ←        | Ngelchoron   |
| 3.  | Aṭhemesep          |          | a Lei        |
| 4.  | Iyakaṭh            |          | Kliṭṭarūngol |
| 5.  | Ongeim (Katbongan) |          | Imaṭherian   |
| 6.  | Rūngūlbrūū         |          | a Irūlch     |
| 7.  | Ongewiṭh           |          | a Lei        |
| 8.  | Ongeai             |          | Klittarūngor |
| 9.  | Ongettiū           |          | Ngirimidol   |
| 10. | Ongtrūyūch         |          | a Irūlch     |



◎ Hühül a brüü ハ<sup>121)</sup> 旧 angeaol ノ Ngebeyangth ト云フ村ダツタ。今ノ Hühül a brüü ノ隣リニ Fhlobochol ト云フ古イ村ガアツテ、ナカナカ強カッタノヲ、Ngashias ト Ngebeyangth ト結び合ツテ、Ngashias ノモノガ Fhlobochol ノ者ヲ誘ヒ出シテ居ル留守ニ、Ngebeyangth ノモノガ攻メテ村ヲ亡ボシタ。而テ Ngebeyangth ノ者が半分入ッテ Hühül a brüü ヲ起シタ。Fhlobochol ノ者モ半分入りコンデ居ル、□□

(Nang San)

◎ Ochüel ngbard 神ガ<sup>122)</sup> 始メ Kamiyangal ニ居リ (Ochüel Kemiyangal), Ngichül ニ来リ, Rois alchööch ニ来リ, Ngalbeyö ニ移リ, Ngüllükon ニ移リ, 而シテ Ngaldroroch ノ Balan ト云フ machas ノ所ニ行キ, Omküttoi ト云フ家ニ入ッテ a chüödl ニナリ, 田ヲ作り木ノ実ヲ作り, 戦ノ予言ヲシ大風ヲ止メタト云フ ( )

十二日 (土)

朝, Irrool ニ行ッテ出カケタガ, 山ハケワシク, 暴風後上ツタモノモナイノデ, 道モナク大木ハ倒レ葛草ハ深く茂ツテ昇リ得ズ, □止ムナク帰り, Irül ノ i ニ行ク。

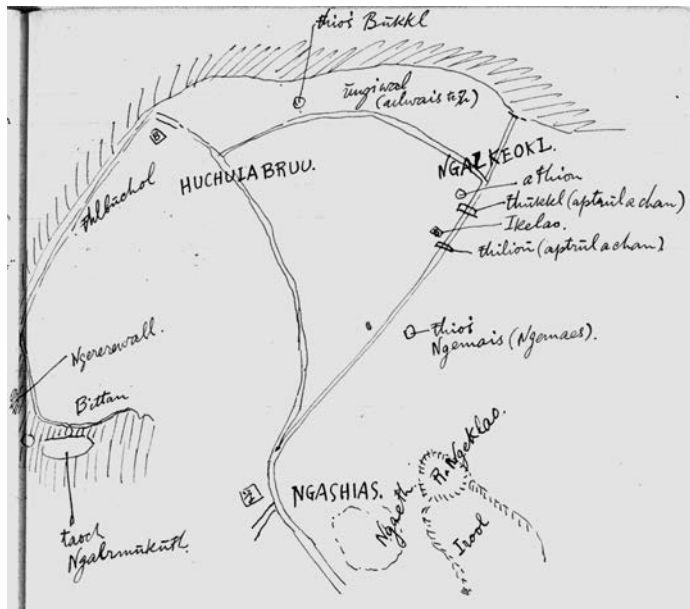
Ngashias ノ神□□ Ahuathal a cheliith ハ Ngardroch ノ神 a Chūōdl ノ弟デアツタガ、Ngashias ノ者等ガ悪クナリ、神ノ言フ事ヲ少シモキカナイノデ、Trül ニ居タ Mrū a thlchūūl ニタノンデ村ヲ暴ラシタノデアツタ。(N1. 45 参照)

是ヨリ先、airai ノ Mdekibelāū ガ<sup>123)</sup> ココニ来テ Nga-eth ノ Ongoshibochob ニ居タガ、当時 Ngardroch ニ天迄トドク山ガアツタノヲ、ダマシテ崩サセ、Ngashias ニ Omlobrochol ノ Rois ヲ造ツタ。— Mthekipelaū ハ後、再ビ来リ、ai (カマス)、tkūū (マグロ) ガ多イノヲ喜ンデ此処ニ居テ移シタノデアツタ。

午後、昼寝、夜、校長宅、

十三日 日曜 晴、雲多シ。

朝、九時頃ヨリ出、カ<sup>△</sup>ルケヨックルニ行ク、途中 Ngemais ノ thioš ヲノゾキ村ニ入ツタガ、此処ニキリスト教ガー村ニ広ガツテ居ルノデ何ノ家ニモ寄ラズフクラブルーニ廻ル。



カ<sup>△</sup>ルケヨックルカラフクラブルーニ行ク途中<sup>124)</sup>ガ、ūngiwal ト呼バレル処デ Erangamaras ガ来タノハ此処デアル、(15, 85 参照) 古名ヲ Ulwais ト云ツタ。✓

フクラブルーカラ少シ行ツタ処ガ昔ノ thlbochol デアルガ、(前々頁参照) 此処ニハ昔、Oūchelkmūl athen ト云ハレテ、人間デ鮫デアツタモノガアツテ、海ニ出テハ athen



ニナリ、村ニ帰ッテハ人間ニナリ、夜ニナルトフクラブルーニ出沒シテハ女ヲ犯スノデア  
 アルガ、海ニ出ル時ハ足跡ヲ村ニ向ケテ居リ、村ニ上ル時ハ足跡ヲ海ニ向ケテツケテ歩  
 イタノデ、<sup>海</sup>□皆ハ Oūchelkmūl ガ村ニ居ル時ニ海ニ出ルト思ヒ、海ニ出タ時ニ村ニ居ル  
 ト思ッタノデ、何時迄モ何ウスル事モ出来ナカッタ。ダガ遂ニくらげニササレテヤラレ  
 タノデ、皆ハ歌ヲ造ッテコンナ風ニ歌ッタ。

A maot ra ſhlbochol mei

(海ヲ越エル事) 海ヲ越エテツロボホルニヤッテ来テ

erūmt a bkel ongekāth クラゲノ女陰ニヤラレタヨ

(ヤラレタ) (kikil) (くらげ)

↘ Erangamaras ガ女ト別レテ Ongiwal ニ帰ッタ時、村ノ女達ハ皆惜シンデ砂浜ニ出テ  
 腰蓑ヲ上ゲテ蔭部ヲ示シテ、Erangamaras, a kei! ト云ッタト云フ。而テ歌ヲ作ッテ歌  
 ヲツタ。

Markiei Ngilngmaras bkeo.

(居タ時)

eng dimnak a mo soli ya chalo-chol olwais

踏 地名,

私達ハ海岸ニソウテドンドン行クト、先ノ方ハ砂浜ガ切レテ岩ニナリ、angas ノ大木  
 ガ何本トナク高く立チナランデ居ル。浜ハ此ノ辺カラ左ニ曲リ、海ニハ二ツノ寫ガアッ  
 テ、先ガ又砂浜ニナル、此処ガ Bittan ダ。

此処ト此ノ向ヒノ ngeyaol ノ端トガ昔 Deleb ガ住ンダ処デ、色々ナ話ガ伝ヘラレテ居  
 ルノデア。人が死スト、ngeyaol ノ Ngeſtheroch ニ行クトモ云ハレ、或ハ Deleb ハ  
 ayangſh ニ行ク迄ノ間必ズ此処ニ来ルノダトモ云ハレルノデア。

今ハ気味ノ悪イ Deleb ノ問答歌ヲ上ゲル事ニスル、

○

Deleb rmūūikſh mūreūūl al

(Ngarmūūikth) (寄コシナサイ)

mehit-ūt l mei (ルムクツ幽霊ヨ、弱蟲トモヲ寄来シテクレヨ)

ト Bittan ノ Mata-aſh — Mata-aſh ハ人が死ンデ、マダ Deleb ニハナラナイモノヲ  
 云フ — ガ rmūūikſh ノ Deleb ニ斯ク呼ビカケルト、Rmūūikſh ノ Deleb ハ次ノ様ニ答  
 ヘル

(半幽霊ヨ、オ前聞イテヤレヨ、弱蟲トモガ頼ミガアルトサ)

Mata-aſh mrēnges aikan

mere meliül al mehit-üt.

頼ミヲキケ

スルト又 Mata-ath ハ次ノ如ク重ネテ小言ヲ云フ。

(ムゾルミヤウルノ幽霊ノ奴ハ、ルムカツノ山ノ凹ミニチットバカリノ卵ヲノセテ行ッチャッタヨ)

Deleb l a mñhōlmiyaol a

ili kotkil a ngais  
(既) 行 ノセル

a telkip r a meñtheo l Rmūükñh  
谷 (山ト山ノ間)

斯クシテ人間達ノ弱イ魂ヲ無気味ナ Deleb 達ガ呼ビ寄せ、奪ヒ合フノデアッタ。

(Mñhōlmiyaol ハ ngeyaol ノ此処ニ向ッテ突出タ処ノ名デアル)

ダガ此処ハ砂ガ美シク白クテ明ルクテ、Deleb ヲ考ヘル何モナイ処ダ。私達ハ寫トノ間ニ深く入込ンデ居ル□干潮ノ澄ミキッタ潮ニ、水眼鏡ヲカケテ長イ事ヒタリ、白浜ニ寝ソベリ、弁当ヲヒライテ、長イ事遊ビ過ゴシタ。ケレド此ノヨゴレーツナイ様ナ美サノ向フハスグリーフデ、中ノ静ケサトハ反対ニ、此ノ頃ノ様ナ西風ニハ浪ガ白々ト崩レ、絶エル間モナク、夜ト云ハズ、昼ト云ハズ、ゴウゴウト叫ビ続ケテ居ルノデアル。夜ニデモナッタナラバ、本当ニ Deleb デモ醒メテ気味ノ悪イ欲望ニ憑カレ、奇怪ナ享樂ヲ貪ルノカモ知レナイ。此処ハコンナニモ明ルイノニ、ngeyaol ハ□蒼黒ク霞ミ、墨ノ様ナ厚イ雲ガ其上ニ被ヒカブサッテ居ル。

廻リ道シテ Ngemaes ノ ðhioš デ水ヲ浴ビテ、日暮ニ帰ッテ来ル。夜、校長宅。

Ngalmokoñh ニハ、マダマダ色々ノ話ガアル。

Ngaliyap ノ Otbisach ト云フ男ガ、Ngalmokoñh ニ蜻ノ木ノ葉ヲ取りニ行ッタ。スルト沢山ノ老人達ガ御馳走ヲスルト云ッテ騒イデ来タノデ、Otbisach ハ恐レテ木ニ登ッテ見テ居タ。スルト皆ハ其ノ木ノ下ニ来テ沢山ノ御馳走ヲ持ち出シテ座ニツイタ。スルト中ノ髪ノ長イ一番ノ老人<sup>(欄外に記す)</sup> [Iyachañh rū mokūñh] ガ木ノ上ニ二人ガ居ルノハ面白クナイ、アレヲ下スガイイト云ッテ、下ノモノニ Otbisach ヲ降口サセタ。Otbisach ハ益々恐レテ隅ノ方ニ小サクナッテ居ルト、又老人ガ云フニハ、アノ男ニモ馳走シテヤルガイイ、スルト Otbisach ノ前ニ Oruyotokl ニーパイノ芋ト大キナー串ノ Kalanlan 魚トガ運バレタ。Otbisach ハ頭ニノセテ帰ッテ来ルト、Iyachañh rū mokūñh ガ又下ノ者ニ、「アレヲ持ッテ帰ラセテハイカン、取ッテ来イ」ト云ッタノデ、下ノ者ガトッテ来タ。□□ Otbisach ガ知ラナイウチニ魚ヲ取ラレ、芋ヲトラレ Orngotokl ノ足マデー一本一本トラレテ村ニ帰ッタ時ハ、手ニシッカリト持ッテ居タ□ Orngotokl ノ脚ガ一本ダケデアッタ。此ノ一本ノ脚ヲ後 Ideñh ノ家ニモタセテヤッタ事ガアル。

